

荒砥諏訪西遺跡 I

昭和58年度県営圃場整備事業荒砥北部
地区に係わる埋蔵文化財発掘調査報告書

《竪穴住居遺物観察表編》

2002

群馬県教育委員会
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

荒砥諏訪西遺跡 I

昭和58年度県営圃場整備事業荒砥北部
地区に係わる埋蔵文化財発掘調査報告書

《竪穴住居遺物観察表編》

2002

群馬県教育委員会
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

目次

1区1号住居	1	3区36号住居	31~34
2区1号住居	1	3区38号住居	34
2区2号住居	1・2	3区39号住居	34
2区3号住居	2・3	3区40号住居	34~39
2区5号住居	3	3区41号住居	39・40
2区7号住居	3・4	3区42号住居	40
2区8号住居	4	3区43号住居	41
2区9号住居	4・5	3区44号住居	41
3区2号住居	5	3区47号住居	41・42
3区4号住居	5・6	3区48号住居	42・43
3区5号住居	6	3区49号住居	43・44
3区6号住居	6	2区4号住居	44
3区7号住居	6・7	2区6号住居	44
3区8号住居	7・8	3区1号住居	44
3区12号住居	8	3区3号住居	44・45
3区14号住居	8	3区11号住居	45~47
3区17号住居	9~12	3区13号住居	47
3区22号住居	12・13	3区15号住居	47・48
3区24号住居	13・14	3区16号住居	48・49
3区25号住居	14・15	3区19号住居	49・50
3区28号住居	16~22	3区21号住居	50
3区29号住居	22~27	3区23号住居	50・51
3区31号住居	27・28	3区26号住居	51
3区32号住居	28	3区27号住居	52
3区33号住居	28~31	3区30号住居	52
3区35号住居	31		

凡例

- ・土器とそれ以外の遺物の観察表については別体裁となっている。
- ・表のNoは、挿図・写真図版中のNoと一致する。
- ・器種は第5章の分類に示したとおりである。
- ・出土状態の項の②床直は床面直上からの出土を、+6.5は床面から6.5cm遊離した上層の位置から出土したことを表す。
- ・法量の項の口は口径、底は底径、高は器高を表し、()のあるものは復元値を表す。
- ・焼成時の炭素吸着による器面の黒斑（黒色部分）については、大半の土器にその状況が認められたことから、色調等に影響を与えた場合を除き特記していない。

1区1号住居 (第13回、P.L22)

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)		①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考		
			残	量					
1	土師器 器 台	①北西隅寄り と北東隅 ②床直	残 1/2 口 9.4 底 11.7 高 11.2		①灰、1mm以下の黒色鉱物粒を含む。②酸化・硬質③よい橙	受部内外面、脚部外面はいいいな磨き。脚部内面は上平がナダ。下平が噴ナダ。			
2	土師器 壺	②柱穴3内	残 胴~底部 底 3.5		①1mm前後の砂粒を少量含む。 ②酸化・硬質③明赤褐色	外面は下位の一部にナダ。他は磨き。内面はナダ。	口縁部欠損後も使用か。胴部下位に焼成前穿孔あり。孔の径0.5cm。		
3	土師器 壺 (二重 口縁)	①西部 ②+6.5	残 口縁部破片 口 (20.8)		①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③橙	内外面、全面におたるへう磨きにより光沢を持つ。			
4	土師器 壺 (二重 口縁)	①北西隅寄り ②床直	残 1/2 口 (20.2) 底 (7.6) 高 32.0		①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③橙	外面へう磨き。内面下平へうナダ、上平ナダ。	口縁部は器表面が粗れている。胴上復元。		
No.	器 種	残存状況	材 質	計 測 値			特 徴	出土状況 ① 平面 ② 垂直	
				全長 (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)			重量 (g)
5	軽石製品	残 完形	軽石	8.1	5.6	2.5	60	扁平な形状。各面とも磨耗を受けている。正面に上幅3mmの沈線状の磨痕がある。砥石として使用か。	①埋没土

2区1号住居 (第15回)

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)		①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
			残	量			
1	土師器 罌	①埋没土	残 胴下平~ 底部1/2 底 9.9		①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③よい橙	底部から胴部外面へうナダ。砂粒の移動少ない。内面彩色磨きが多いが、器面少し粗れている。	内面に3段輪痕が残る。
2	土師器 台付罌 (S字状 口縁)	①埋没土	残 脚上部 底 9.2		①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・軟質③よい黄橙	脚部外面上平は刷毛目、下平指ナダ。内面指ナダ。	砂の多い粘土は薬部にはあるが脚部天井部にはない。

2区2号住居 (第17回、P.L22)

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)		①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
			残	量			
1	土師器 鉢	①北部 ②床直	残 ほぼ完形 口 15.9 底 4.4 高 7.8		①鉱物粒を多く含む。②酸化・硬質③よい黄橙	口縁部は横ナダ。一部に指頭正痕。体部外面は刷毛目後ナダ。	破損後二次火焼。
2	土師器 鉢	①北部 ②床直	残 ほぼ完形 口 13.1 底 5.0 高 7.4		①黒色鉱物粒②酸化・硬質③橙	外面は一部に刷毛目を残すが横ナダ、ナダを施す。	
3	土師器 埴	①北部と北東隅 ②+18	残 ほぼ完形 口 13.4 底 2.6 高 8.3		①砂粒を多く含む。②酸化・軟質③よい黄橙	口縁部外面は刷毛目後横ナダ。体部は上位を削いてへう削り。	

2区2・3号住居

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備 考
4	土器器 壺	①東部 ②+16	残 口縁~胴 部上位破 片 口 (14.6)	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③に黄褐色	胴部外面上半へう割り、上端に刷毛後ナデ。 胴部内部刷毛目、上端へラナデ。	
5	土器器 壺	①南壁寄り ②床直	残 ほぼ完形 口 14.8 底 7.1 高 13.4	①1mm前後の砂粒を少量含む。 ②酸化・軟質③橙	成形が粗雑である。口縁部は横ナデ。胴部 外面はナデを施す。	
6	土器器 台付壺 (S字状 口縁)	①埋没土	残 口縁~胴 部小破片 口 (17.8)	①1mm前後の赤色粒をやや多く 含む。②酸化・軟質③に黄褐 色	胴部外面刷毛目、内面刷毛目と指ナデ。	火熱を受け てる。
7	土器器 台付壺 (単口縁)	①北部 ②+4	残 口縁~胴 部2/3 口 11.1 底 (10.4) 高 18.8	①1mm以下の砂粒、白色鉱物粒 を含む。②酸化・硬質③に黄 褐色	外面は口縁部横ナデ。胴部は上位に刷毛目 を残す他はへラナデ。脚部には弱い刷 毛目。	器形は多少 歪みを生じ ている。
8	土器器 壺	①中央部北寄 りと北部 ②床直	残 口縁~胴 部下位 2/3 口 10.9	①1mm前後の砂粒。②酸化・硬 質③に黄褐色	成形は全体に粗雑。胴部外面は一部に刷毛 目を残す他はへラナデ。内面には指頭圧痕 を多く残す。	破砕後、皮 素吸着。被 火熱の破片 あり。
9	土器器 壺	①北部 ②床直	残 2/3 口 16.6 底 4.7 高 29.9	①1mm以下の砂粒を含む。鉱物 の混入多い。②酸化・硬質③明 赤褐色	成形は粗雑である。口縁部は横ナデ。胴部 外半は上半に刷毛目、下半にナデを施す。 胴部内面はへラナデ。	
10	土器器 壺	①中央部東寄 りと北壁隅 ②+4	残 口縁~胴 部上位破 片 口 (26.6)	①1mm以下の小破片を多く、1 mm前後の赤色・白色粒を少量含 む。②酸化・硬質③に黄褐・ 黄灰	胴部外面へう割り、上半刷毛目。胴部内面 刷毛後、中段付近へう割り。	
11	土器器 壺	①中央部東寄 り ②+11.5	残 2/3 口 11.9 底 (5.2)	①1mm以下の砂粒。②酸化・軟 質③に黄褐色	口縁部横ナデ。胴部外面は刷毛目を施す。 内面はへう割り、刷毛目を施す。	図上復元。
12	土器器 有孔鉢	①枳内 ②+13	残 胴~底部 3/4 底 5.0	①1mm以下の黒色粒を多く含む。 ②酸化・硬質③に黄褐色	胴部外部刷毛目後、ナデ。内面へう割り。 底部の孔は上下、内面から穿孔されている。	
13	土器器 台	①埋没土	残 胴部1/3 底 (11.4)	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③明赤褐色	台部外面全面へう磨き、内面ナデ。皿部外 面へう割り。内面ナデ。	3孔を配す る。
14	土器器 台付壺 (S字状 口縁)	①南壁寄り ②+6	残 脚上部	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・軟質③に黄褐色	脚部外部刷毛目、内面上端砂の多い粘土。 下部ナデ。	

2区3号住居 (第20図、P.L22)

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備 考
1	土器器 手捏ね	①埋没土	残 1/2 口 (3.4) 底 2.0×1.8 高 3.5	①鉱物粒を少量含む。②酸化・ 硬質③灰黄褐色	内外面とも指頭による指押きえ。ナデ。	
2	土器器 高 杯	①北西隅と北 部 ②床直	残 杯部 口 22.3	①1mm前後の砂粒、礫石を含む。 ②酸化・硬質③に黄褐色	内外面とも磨き。	破砕後、皮 素吸着の破 片あり。
3	土器器 鉢	①北部 ②+7	残 口縁~胴 部上位破 片 口 (9.5)	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③に黄褐色	外面の器表面粗れており整形痕不明。内面 指ナデ。	

No.	土器類別 器種	出土状態 ①平面 ②垂直	残存状況 法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
4	土器器 壺	①中央部束寄り ②床直	残 口縁下位 1/2-底部 底 3.0	①1～2mmの砂粒を含む。②酸化・硬質③よい橙	外面はていねいな磨きを加えられたと考えられる。胴部の内面は中位以上に刷毛目が、下位にナデが施される。	口縁部内外面、胴部外面に赤色塗料。器面の剝離顕著。
5	土器器 壺	①南西隅寄り ②+5	残 胴中位～ 底部 底 6.0	①1mm以下の白色粒を大量に含む。②酸化・硬質③よい黄橙	器部外面ヘラナデ。胴部外面、胴下半刷毛整形。部分的にヘラ削り。上半ナデ。胴部内面ヘラナデ。	
6	土器器 壺	①北西隅 ②+13	残 口縁部破片 口 (17.0)	①1mm以下の砂粒を多く、2～3mmの白色粒を少量含む。②酸化・硬質③よい橙・明赤褐	胴部から口縁部刷毛目、その後ナデ。刷毛目のない部分も多い。口縁部内面の一部刷毛目、他ナデ。	
7	土器器 壺	①埋没土	残 口縁部破片 口 (13.4)	①1mm以下の砂粒を大量に含む。②酸化・硬質③よい橙	胴部外面粗く雑な刷毛目。口唇部ナデ。口縁部内面刷毛目、胴部内面ヘラ削り。	破砕後皮剥き後着。

2区5号住居 (第22回、P L 22・23)

No.	土器類別 器種	出土状態 ①平面 ②垂直	残存状況 法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土器器 壺	①西壁寄り ②+11.5	残 3/4 口 14.2 底 (4.4) 高 14.9	①1mm弱の鉱物粒・赤色粘土粒。②酸化・軟質③橙	口縁部横ナデ。胴部外面は縦方向の刷毛目。最下位にヘラ削り。胴部内面は刷毛目。	
2	土器器 壺	①埋没土	残 胴～底部 1/3 底 4.7	①2～3mmの砂粒を少量含む。②酸化・硬質③よい黄橙	内外面全面磨き。	器内の薄いつくりのていねいな蓋である。内面磨耗著しい。
3	土器器 台付壺 (甲口縁)	①北西隅 ②+11	残 口縁～胴 部下位 1/2 口 15.2	①1mm以下の砂粒、軽石を含む。②酸化・硬質③褐	口縁部横ナデ。胴部外面は上半が刷毛目。下半がヘラ削り。内面はナデ、ヘラナデ。	
4	土器器 壺	①埋没土 ②土坑内	残 胴部下半 4/5 底 5.7	①1mm以下の砂粒を多く含む。②酸化・硬質③よい橙	胴部外面と内面下半、半乾線段際においてヘラ削りに近いヘラナデ。一部に光沢を持つ。内面上半はナデ。	全体に雑な整形である。
5	土器器 台付壺 (S字状口縁)	①北西隅 ②+4.5	残 口縁～胴 部中位 1/4 口 (17.0)	①密、1mm以下の砂粒を多く含む。②酸化・軟質③よい橙	胴部外面刷毛目。内面に指通圧痕。	器上復元。器内が非常に薄い。
6	土器器 台付壺 (S字状口縁)	①埋没土	残 胴1/4～ 脚台部 1/2 底 9.2	①1mm以下の砂粒。②酸化・軟質③残黄橙	胴部外面には刷毛目を施すが、下位の一部には調整面を残す。内面はナデ、指通による押えが施される。	

2区7号住居 (第23・24回、P L 23)

No.	土器類別 器種	出土状態 ①平面 ②垂直	残存状況 法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土器器 壺	①北西隅寄り ②+15	残 口縁～胴 部下位 口 18.6	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③淡黄	口縁部は横ナデ。胴部外面は下位をナデ、その他は刷毛目。内面はヘラナデ。	炭化物付着。
2	土器器 器台	①北西隅寄り ②+15	残 3/4 口 10.0 底 (12.9) 高 9.3	①精選、鉱物粒を含む。②酸化・硬質③よい黄橙	器面は脚部内面を除いて、ていねいなナデを施し、その後磨きを重ねる。脚部内面は刷毛目。	基部は接合部分で剝離している。

2区7・8・9号住居

No.	土器類別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
3	土師器 甕	①北西隅寄り ②+15	残 口縁~胴 部下位 1/2 口 (12.6)	①1~2mmの砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③に赤褐色	胴部外面へラ削り。多くの砂粒が移動し器表面が粗い。内面はへら削り。	
4	土師器 甕	①北西隅寄り ②+15	残 頸~胴部 中位1/2	①1~3mmの砂粒を少量含む。 ②酸化・硬質③浅黄褐色	胴部外面へラ磨き。肩部ナデ。胴部内面上半へラ削り。下半ナデ。	

2区8号住居 (第25回、P L 23)

No.	土器類別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土師器 高 杯	①中央部北寄り ②+7	残 杯部 口 12.5	①1mm以下の白色粒を多く含む。 ②酸化・硬質③に黄褐色	杯部外面へラ削り。内面胴部整形後へラ磨き。	台付甕の白部に似ているが、高杯として扱った。
2	土師器 壺	①南部 ②+18.5	残 頸~底部 2/3 底 5.0	①やや粗、1mm前後の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③に赤褐色	外面下端へラナデ。中央へラ磨き。上半ナデ。内面ナデ。2箇所接合痕が残っている。	
3	土師器 壺	①北壁寄り ②床直と2区2住居直	残 口縁1/4 ~底部 口 (15.1) 底 5.1 高 19.8	①1~2mmの砂粒、軽石を含む。 ②酸化・硬質③に黄褐色	口縁部横ナデ。胴部外面はナデ。中位と下位の一部分のみへラ削り。内面はいいねいなへラナデ。	
4	土師器 壺	①北壁寄り ②+8	残 胴下位~ 底部 底 5.2	①1mm以下の砂粒を大量に含む。 ②酸化・硬質③に黄褐色	底部ドーナツ状。胴部外面ナデ。内面ほぼ全面にわたり刷毛目。その後一部をナデている。	胴部と底部との接合痕が明瞭である。
5	土師器 台付甕 (S字状 口縁)	①埋没土	残 口縁部破 片 口 (12.3)	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・軟質③に黄褐色	胴部外面刷毛目。内面ナデ。指面圧痕が残る。	

2区9号住居 (第26・27回、P L 23)

No.	土器類別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土師器 鉢	①北壁寄り ②床直	残 ほぼ完形 口 10.0 底 3.5 高 4.5	①1~3mmの砂粒を少量含む。 ②酸化・硬質③明赤褐色	底部外面は凹状でなくほぼ平坦。内外面全面にわたりへラ磨き。	器表面は密であるが、大きな砂粒が目立つ。
2	土師器 鉢	①北西隅寄りと北壁際と ②床直	残 口縁~体 部1/2 口 13.7	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③明赤褐色	内外面全面にわたるへラ磨き。	
3	土師器 甕	①西壁寄り ②+6	残 底部 底 2.6	①内面に2~4mmの砂粒が10個ほど赤色化している。②酸化・硬質③(外)に黄褐色、(内)明赤褐色	胴部から底部内外面、全面にわたるへラ磨き。	内面は赤彩されているようにきれいな明赤褐色。実にていねいなつくりである。
4	土師器 壺	①北東隅寄り ②床直	残 頸~底部 1/6 底 (4.0)	①1mm以下の白色粒を多く含む。 ②酸化・硬質③明赤褐色	体部外面へラ磨き。内面ナデ。上端へラ磨き。	

No.	土器類別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
5	土師器 器 台	①西壁際と南 西隅寄り ②+12.5	残 口縁～底 部1/2 口 8.2 底 (10.8) 高 7.9	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③明赤褐・によい橙	受部内外面、脚部外面はナダ。	
6	土師器 器 台	①南西隅寄り ②+16	残 受～脚部 上半部 口 8.0 底 12.4	①砂粒を含む。②酸化・硬質③橙	外面と受部内面はいいいなナダ。内面はヘラ削り。	火熱を受けている。
7	土師器 器 台	①中央部南寄 り ②床直	残 脚部4/5 底 12.4	①1～2mmの砂粒を多く含む。②酸化・硬質③によい橙	脚部外面ヘラ磨き。内面上半ヘラ削り。下平刷毛目。	孔は現状で一段で3個。破砕後、炭素吸着。
8	土師器 壹 (二重 口縁)	①北東隅寄り ②+3.5	残 2/3 口 14.2 底 3.9 高 13.6	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③によい橙	口縁部外面は一部に刷毛目を残し横ナダ。胴部外面はいいいなナダ。	胴部下位に焼成前穿孔1孔。径0.5cm。火熱を受けている。
9	土師器 有付壺 (S字状 口縁)	①北壁寄りと 中央部北寄 りと南西隅 寄り ②+12.5	残 口縁～脚 口部2/3 口 16.7 底 11.0 高 30.3	①1mm前後の砂粒・灰物粒を多く含む。②酸化・軟質③によい黄橙・明赤褐	口縁部は横ナダ。胴部外面は刷毛目。内面はナダ。脚部内面もナダ。	

3区2号住居 (第29図、P L 24)

No.	土器類別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考			
1	土師器 壺	①埋込土	残 口縁部破 片	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③灰黄褐・によい黄橙	口縁部は横ナダ。胴部外面には刷毛目を残す。	炭素吸着のため変色。			
No.	器 種	残存状況	材 質	計 測 値			特 徴	出土状況 ① 平面 ② 垂直	
				全長 (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)			重量 (g)
2	磁石	残 1/2	磁石片	<14.7>	4.3	3.4～ 3.8	(311)	断面四角形の棒状を呈する。残存する小口面を含めた各面が使用されているが、特に正面として固した面が研磨のため最も平滑になっている。	①レベル不明

3区4号住居 (第31図、P L 24)

No.	土器類別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土師器 鉢	①南部 ②床直	残 完形 口 10.3 底 7.0 高 9.1	①1～3mmの赤色粒を少量含む。②酸化・硬質③明褐灰	体部外面全面ヘラ磨き。口縁部外面指頭圧痕。内面ナダ。体部内面ヘラ削り。	口縁部内面～体部外面薄い赤色塗彩。
2	土師器 鉢	①柱穴1内 ②柱穴内	残 1/2.底部 完形 口 (25.3) 底 7.2 高 14.0	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③によい橙	内外面ともナダの上に磨きを重ねている。やや粗雑な調整。	
3	土師器 器 台	①南西隅寄り ②+3.5	残 脚部 底 9.7	①灰物粒を含む。②酸化・硬質③によい橙	外面は磨き。内面は刷毛目を削ってナダ、磨き。	透孔は4孔。
4	土師器 壺 (折り返し口縁)	①中央部北寄 り ②床直	残 口縁部破 片 口 (24.0)	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③によい黄橙	外面は口縁部下半から胴部にかけて刷毛目の上に磨きを重ねる。内面とも口縁部は刷毛目、磨き。	

3区4・5・6・7号住居

No.	土器種別 器種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
5	土師器 壺	①西壁寄り ②+6.5	残 完形 口 13.4 底 3.0 高 12.6	①1mm以下の砂粒を微量含む。 ②酸化・硬質③明赤褐	内面は口縁部の先端を除き磨き。内面は口縁部磨き。胴部ヘラナデ。	炭化物付着。
6	土師器 台付壺 (擬S字 口縁)	①西部 ②床直	残 口縁~胴 部破片 口 (12.3)	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③に白・灰褐	口縁部外面は横ナデ。内面の上位は横ナデ。下位は刷毛目により一部磨き。胴部外面の上位は磨き。	外面刺摩著しい。
7	土師器 台付壺 (S字状 口縁)	①埋没土	残 口縁部破 片 口 (16.1)	①1mm以下の砂粒、鉱物粒を含む。②酸化・軟質③に白・黄橙	口縁部横ナデ。胴部外面は粗雑な刷毛目を施す。器面調整時のヘラ削り痕のみえる。	
8	土師器 壺	①埋没土と3 区4住50土 坑埋没土	残 1/3 口 (12.6) 底 5.3 高 17.9	①黒色の鉱物粒を少量含む。②酸化・硬質③(外)暗赤褐、(内)に白・橙	口縁部は外面横ナデ。内面は磨き。胴部外面はていねいなヘラナデ、磨き。内面はていねいなナデ。	

3区5号住居 (第33回、P.L24)

No.	土器種別 器種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土師器 器台	①中央部 ②床直	残 受部完形 脚部3/4 口 9.2 底 12.4 高 9.0	①密、1mm以下の砂粒を多く含む。②酸化・硬質③に白・黄橙・橙	内外面にわたり全面磨き。	
2	土師器 壺	①中央部 ②床直	残 口縁~胴 部上半 1/2 口 (13.6) 口 12.6 底 6.1 高 20.3	①1mm以下の砂粒を多量に含む。②酸化・硬質③(外)橙、(内)に白・黄橙	胴部外面ヘラ削り。内面ナデ。胴部外面刷毛目。内面ヘラ削り。口縁部外面に輪積痕。内面刷毛目。	器面、著しく磨耗。
3	土師器 壺	①9内	残 2/3 口 12.6 底 6.1 高 20.3	①1mm前後の砂粒、赤色粘土粒を含む。②酸化・硬質③に白・橙・明赤褐	口縁部は内外面とも刷毛目後磨き。胴部外面は上位から中位までが磨き。下位はナデ。内面には刷毛目。	下平、器面刺摩。

3区6号住居 (第34回、P.L24)

No.	土器種別 器種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土師器 鉢	①東壁際 ②+6	残 完形 口 16.2 底 3.9 高 6.3	①2~4mmの赤色粒を少量含む。②酸化・硬質③に白・橙	口縁部外面横ナデ。それ以外の器表面全面ヘラ磨き。	内面の一部器底が割れている。

3区7号住居 (第35・36回、P.L24)

No.	土器種別 器種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土師器 器台	①南壁際と北 西隅寄り ②床直	残 脚部2/3	①鉱物粒・緑石を含む。②酸化・硬質③に白・橙	外面、刷毛状のていねいなナデ。内面はヘラ削り。ナデ。	穿孔は4孔と考えられるが、位置が均等でない。器面、磨耗。

No.	土器種別 器種	出土状態 ①平面 ②垂直	残存状況 法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調				成・整形の特徴	備考
				計	額	積	積		
2	土器器 直口壺	①埋没土	残 口縁部完 形 口 13.2	①1mm前後の砂粒を少量含む。 ②酸化・硬質③靑				口縁部内外面ヘラ磨き。	胎土がやや粉状で少し手に付着する。
3	土器器 壺	①埋没土	残 底部完形 底 7.5	①砂粒を含む。②酸化・硬質③靑				外面はいいいなナダ。内面は一部に刷毛目を残す他はナダを施す。	破損後、補修をし二次利用か。
4	土器器 壺	①北西隅寄り ②床直	残 完形 口 9.2 底 2.7 高 7.2	①1mm以下の砂粒を多く、2～4mmの砂粒を少量含む。②酸化・硬質③明赤褐				体部下半ヘラ磨り。上半ナダ。ヘラ磨きはない。体部内面ナダ。多くの指痕圧痕が残る。	
5	土器器 壺	①中央部西寄り と北東隅 ②+7	残 口縁~胴 部1/3 口 (17.5)	①1mm前後の砂粒、軽石を含む。②酸化・硬質③靑				口縁部から胴部上位は横ナダ。以下の胴部外面はヘラナダ。内面もヘラナダ。	器面はやや磨滅している。
6	土器器 壺	①中央部南寄り と南壁隅 ②床直	残 完形 口 24.6 底 7.8 高 35.4	①砂粒の他に2mm前後の軽石を多く含む。②酸化・硬質③靑				口縁部は刷毛目後上半を横ナダ。胴部外面は上位から中位に刷毛目。下位はナダと刷毛目。内面は刷毛目。	
7	土器器 壺 (二重口縁)	①南東隅寄り ②+13	残 口縁部 1/3欠損 口 16.4 底 6.8 高 20.5	①1mm以下の砂粒、軽石を含む。②酸化・硬質③靑				外面は口縁部が横ナダ。胴部はヘラナダにヘラ磨きを重ねる。内面は口縁部、胴部ともヘラナダ後、部分的にヘラ磨き。	内面のヘラ磨きの単位固定不可能。炭化物付着。
No.	器種	残存状況	材質	計 額 積				特 徴	出土状況 ①平面 ②垂直
				全長 (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)		
8	砥石	残 完形 か	変質デイス サイト	10.5	7.4~ 8.2	3.4~ 5.2	666	側面、4面とも使用により平滑な面をなしている。右側面は凸面状を呈する。正面及び右側面に深い磨痕が残る。図、上端の小口面には研面の他に敲打によると思われる痕跡がみられる。下端の小口面は破口であるが、やや磨耗した面が残る。	①埋没土

3区8号住居 (第37図、P.L.25)

No.	土器種別 器種	出土状態 ①平面 ②垂直	残存状況 法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調				成・整形の特徴	備考
				計	額	積	積		
1	土器器 壺	①貯蔵穴際 ②床直	残 口縁部 1/3欠損 口 8.1 底 2.3 高 7.8	①1mm以下の砂粒を多く含む。②酸化・硬質③靑				体部から口縁部外面ヘラ磨き。内面ナダにて磨表面密。	黒斑のないいいなつくりである。
2	土器器 壺	①貯蔵穴内 ②+19.5と3 区7埋没土	残 口縁~胴 部破片 口 (17.6)	①1mm以下の砂粒を大量に含む。②酸化・硬質③靑				胴部外面刷毛目、内面ヘラ磨り。口縁部外面ナダ。内面刷毛後ナダ。	
3	土器器 壺	①貯蔵穴内 ②+19.5	残 口縁部 1/8 胴部2/3 底部完形 口 (12.6) 底 4.0 高 13.3	①1mm以下の砂粒を多く含む。②酸化・硬質③暗赤灰				胴部外面、目の細かい刷毛目。底部付近ヘラ磨り。胴部内面刷毛目。	
4	土器器 壺	①貯蔵穴内 ②+15	残 口縁部上 半欠損 底 4.7	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③靑				外面は全体に磨き。内面はヘラナダを施す。	口縁部先端は破損を補修して使用か。

3区8・12・14号住居

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
5	土師器 壺 (折り返し口縁)	①貯蔵穴内と貯蔵穴際 ②+15と3区7住埋没土	残 口縁~胴部上半 口 12.8	①1~2mmの砂粒をやや多く含む。②酸化・硬質③にぶい褐	外面は口縁部上半が横ナデ。以下、胴部にはたるまでは粗雑な磨き。内面は胴部上位にヘラ削り。他は粗雑な磨き。	

3区12号住居 (第42図)

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土師器 台付壺	①レベル不明	残 脚台部上半 平	①1mm前後の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③明赤褐	外面に刷毛目が少し残るが、大部分ナデ。内面指ナデ、上端に指痕圧痕が残る。	台付壺(単口縁)の脚台部か。
2	土師器 甕	①レベル不明	残 口縁~胴部上位破片 口 (22.6)	①1mm以下の砂粒を大量に含む。②酸化・硬質③にぶい褐	胴部外面刷毛目、その下部ヘラナデに近い弱いヘラ削り。内面も同じ。砂粒が少し移動している。	

3区14号住居 (第44図、P L 25)

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土師器 壺 (折り返し口縁)	①南東隅(小穴1期) ②床直	残 口縁部 1/4欠損 微欠形 口 (12.3) 底 6.5 高 13.9	①1~2mmの砂粒を大量に含む。 ②酸化・硬質③にぶい橙	口縁部先端は横ナデ。下半には刷毛目。胴部外面は上半に刷毛目。下半上位にナデ。下位にヘラ削り。内面はナデ。	
2	土師器 壺	①東壁際 ②+9.5	残 3/4 口 10.0 高 11.1	①1mm前後の砂粒、赤色粘土粒を含む。②酸化・硬質③にぶい赤褐	口縁部内外面とも磨き。胴部は外面が磨き、内面がヘラナデ。	
3	土師器 壺 (小穴1期)	①南東隅 ②床直	残 口縁~胴部上位破片 口 (12.8)	①1mm前後の砂粒、軽石。②酸化・硬質③にぶい橙	口縁部は横ナデ。胴部外面はナデ後、粗雑な磨きを重ねる。内面は刷毛目、ヘラナデ。	
4	土師器 壺	①東壁寄り ②床直	残 2/3 底 4.3	①3~5mmの白色粒をわずかに含む。②酸化・硬質③にぶい赤褐	体部下半へ削り。多くの砂粒が目立つ。内面ナデにて器表面寛。	口縁部は破損部分を補修して使用か。器面は磨耗が著しい。
5	土師器 壺	①北東隅 ②+6	残 口縁部 1/3欠損 口 13.9 底 5.3 高 21.2	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③にぶい黄橙	口縁部横ナデ。胴部外面は上位上半に刷毛目、ナデ、上位下半に磨き。下半にヘラナデ。内面はヘラナデ。	
6	土師器 台付壺 (S字状口縁)	①北東隅 ②+7	残 口縁部一部、他4/5 口 (12.4) 底 8.8 高 26.3	①1mm以下の砂粒。②酸化・軟質③灰黄褐	口縁部横ナデ。胴部外面は刷毛目。肩部に横線がめぐる。胴部内面はいいいなナデ。	外面は刷毛磨耗が著しい。

3区17号住居 (第47～50号、P.L25～28)

No.	土器種別 器種	出土状態 ①平面 ②垂直	残存状況 法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土師器 手取ね	①埋没土	残 宛形 口 7.1 底 4.5 高 4.5	①1mm前後の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③にぶい橙	外面ナデ。内面へう削り、多くの砂粒が目立ち器表面が粗い。	外面が直で、内面が粗い。変わった器である。
2	土師器 鉢	①北東隅 ②+4	残 口縁部 3/4 他宛形 口 7.8 底 2.3 高 7.5	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③にぶい橙	体外外面端かいへう磨き。口縁部横ナデ後、一部へう磨き。内面ナデ。	炭化物付着。
3	土師器 鉢	①埋没土	残 ほぼ宛形 口 12.4 底 2.5 高 6.7	①1mm以下の白色粒を多く含む。 ②酸化・硬質③にぶい橙	体外外面へう磨き。頸部わずかに刷毛目。内面全面にわたり刷毛整形。	底部外面の凹状部分まで磨かれている。
4	土師器 鉢	①中央部南西 寄り ②+10.5	残 ほぼ宛形 口 16.2 底 4.7 高 6.8	①1～2mmの砂粒を少量、1mm以下の砂粒を多く含む。②酸化・硬質③にぶい黄橙・赤橙	体外外面へう磨き。口縁部外面ナデ。内面へう磨き。底部外面へう磨き。	全体に均整のとれた鉢である。
5	土師器 埴	①北西隅寄り ②+14	残 宛形 口 11.3 底 2.5 高 6.0	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③にぶい黄	内外面全面にわたりへう磨き。底部外面中央が深く凹状になっている。	
6	土師器 埴	①埋没土	残 口縁～底部 1/4 口 (12.6) 底 3.2 高 8.7	①1mm前後の砂粒を少量含む。 ②酸化・硬質③(外)にぶい橙、(内)明赤褐	器面全面に磨きを施す。	
7	土師器 埴	①中央部 ②+8	残 口縁～体 部破片 口 (23.2)	①1mm前後の砂粒を少量含む。 ②酸化・硬質③にぶい黄橙	内外面ともていねいに磨いている。	
8	土師器 器台	①西部 ②+13.5	残 宛形 口 8.0 底 12.5 高 8.6	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③にぶい橙	受部内外面、胴部外面は磨き。脚部内面はナデを施す。	
9	土師器 壺	①埋没土	残 口縁～底部 1/2 口 (10.0) 底 3.8 高 11.4	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③(外)明赤褐、(内)褐灰	外面は全て磨き。内面は口縁部が磨き。胴部はナデ、一部磨き。	赤色焼跡、外面、口縁部内面。
10	土師器 直口壺	①中央部北寄 りと北部 ②株直	残 ほぼ宛形 口 11.8 底 5.3 高 16.5	①1mm以下の砂粒、灰物粒を含む。②酸化・硬質③にぶい黄橙	外面は胴部下位にナデ。その他は磨き。口縁部内面も磨き。胴部内面はナデ。	胴部中に焼成後の穿孔3箇所あり。
11	土師器 壺	①埋没土	残 口縁部 1/2 口 (12.8)	①直、白色灰物粒を含む。②酸化・硬質③にぶい赤褐	外面は横ナデ。内面は刷毛目後上半に横ナデ。	
12	土師器 壺 (二重 口縁)	①埋没土	残 口縁部破 片 口 (16.0)	①1mm以下の砂粒を大量に含む。②酸化・硬質③にぶい橙	頸部外面、目の細かい刷毛目。口縁部内外面へう磨き。胴部内面刷毛後、部分的にへう磨き。	外面やや磨耗。
13	土師器 壺 (二重 口縁)	①埋没土	残 口縁～胴 部上位破 片 口 (17.7)	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③にぶい橙	外面は口縁部上段が横ナデ。下段が磨き。内面は口縁部が磨き。胴部はナデ。	
14	土師器 壺	①埋没土	残 口縁～胴 部上位 1/2 口 (16.0)	①1mm前後の砂粒、赤色粘土粒を含む。②酸化・硬質③にぶい橙	外面は、口縁部下半に刷毛目を残す他は粗雑な磨き。内面は口縁部が磨き。胴部は指押さへ。へう削り。	

3区17号住居

No.	土器類別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
15	土師器 直口壺	①南部 ②+13	残 口縁部上 半欠損 底 4.0	①砂粒やや多い。②酸化・硬質 ③にぶい橙	口縁部は内外面とも細かな刷毛目の上に粗 雑な磨き。胴部外面はやや幅広い磨き。内 面はヘラナダ。	一部に炭灰 附着。
16	土師器 壺	①埋没土	残 口縁～胴 部上位 1/3 口 (15.0)	①1mm以下の砂粒を少量含む。 ②酸化・硬質③橙	胴部内面にいいいなナダを施す他は、各 部位とも磨きを重ねている。	
17	土師器 壺	①埋没土	残 口縁～胴 部上位 16.2 口 16.2	①1mm前後の砂粒を少量含む。 ②酸化・硬質③にぶい黄橙	外面は口縁部がヘラ削り。胴部が磨き。内 面は磨き。胴部は刷毛目に磨き。	外面、炭化 物附着。
18	土師器 直口壺	①埋没土	残 口縁部欠 損 底 3.8	①鉱物粒を含む。②酸化・硬質 ③にぶい黄橙	外面、刷毛目後これに粗雑なナダ、磨きを 重ねる。内面は上半に刷毛目、下半にナダ。	
19	土師器 壺	①中央部南東 寄りと中央 部と北西隅 寄り ②床直 ③床直	残 口縁部欠 損 底 4.1	①1mm以下の砂粒・鉱物を多 く含む。②酸化・硬質③(外) にぶい赤褐、(内)黄灰	外面斜方向のヘラ磨き。内面刷毛目。	
20	土師器 壺	①北西隅 ②床直	残 胴部	①1～2mmの砂粒を含む。②酸 化・硬質③黄褐	外面は刷毛目。ヘラ削り後ヘラナダ、磨き。 内面はヘラ削り、ナダ後粗雑な磨きを重ね る。	器形が著しく 歪んでいる。
21	土師器 壺	①中央部南寄 り ②床直	残 胴～底部 口縁部欠 損 底 4.8	①1～2mmの砂粒を含む。②酸 化・硬質③にぶい黄橙	外面は磨き。内面はいいいなナダ。	一部に炭化 物附着。
22	土師器 壺	①西部と中央 部南寄り ②床直	残 口縁部欠 損 底 4.0	①1mm前後の砂粒を含む。②酸 化・硬質③灰黄褐	外面は磨き。内面はヘラナダ、ナダ。	炭化物附着。
23	土師器 壺	①中央部南西 寄り ②+7	残 胴下半～ 底部 底 10.2	①1～2mmの砂粒・軽石・白色 粘土粒を含む。②酸化・硬質③ にぶい黄橙	外面ヘラナダ後粗雑なヘラ磨き。内面、刷 毛目。	上半欠損後 も二次利用 か。
24	土師器 壺 (折り返し口縁)	①南部と北東 と中央部南 寄りと北東 部 ②+8	残 ほぼ完形 口 15.6 底 7.9 高 27.5	①1～2mmの砂粒、赤色粘土粒 を含む。②酸化・硬質③にぶい 赤褐	外面、口縁部は刷毛目。胴部はヘラ磨き。 内面、口縁部は刷毛目後ヘラ磨き。胴部は ヘラナダ。	破砕後炭灰 附着。
25	土師器 壺	①南部と中央 部南東寄り と中央部南 西寄り ②床直	残 胴部中位 ～底部 底 8.3	①1mm以下の砂粒を含む。②酸 化・硬質③明黄褐、(内面上位) 赤褐	外面磨き。内面ナダ後刷毛目。底部外面、 砂底。	内面の磨耗 剥離顯著。 底部外面、 砂底。
26	土師器 壺 (折り返し口縁)	①胴部と中央 部南寄り ②+8	残 完形 口 15.1 底 4.7 高 29.0	①1mm前後の砂粒、白色鉱物を 含む。②酸化・硬質③にぶい赤 褐	外面は口縁部が刷毛目後、下半にヘラ磨き を重ねる。胴部はヘラ磨き。内面は口縁部 がヘラ磨き。胴部には刷毛目。	
27	土師器 壺 (二重 口縁)	①東壁寄りと 東部と中央 部 ②+16	残 口縁～底 部1/2 口 (17.4) 底 (5.0) 高 32.5	①1mm前後の砂粒を含む。②酸 化・硬質③(外)にぶい橙・黒、 (内)黄灰	外面、口縁部に一部刷毛目を残す他は磨き。 内面は口縁部に磨き。胴部はヘラナダ。	
28	土師器 鉢	①伊周辺 ②+8	残 口縁～胴 部下位 1/2 口 (11.4)	①1mm以下の砂粒、鉱物粒を含 む。②酸化・硬質③にぶい褐	口縁部はナダ、下半は磨きを重ねる。胴部 外面もナダ、磨きを施す。内面はヘラナダ。 一部に磨き。	
29	土師器 壺 (輪模 口縁)	①埋没土	残 口縁～胴 部下位 2/3 口 14.3	①1mm前後の砂粒、軽石を含む。 ②酸化・硬質③にぶい橙	口縁部に輪模痕を2条残す。外面は指頭 による押しえ。内面には磨き。胴部外面はヘ ラナダ後粗雑な磨きを重ねる。	

No.	土器類別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
30	土師器 甕	①埋没土	残 口縁部 1/3 胴部4/5 底部完形 口 (16.6) 底 4.2 高 15.5	①1mm以下の砂粒を大量に含む。②酸化・硬質③に白い橙	外面外面ヘラ削り。多くの石が移動し目立つ。肩部に目の細かい刷毛状の痕跡。内面ヘラ削り。	成形、著しく粗雑。
31	土師器 甕	①埋没土	残 口縁～胴部上半 1/4 口 (13.4)	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③に白い橙	外面は口縁部横ナゲ後刷毛目。胴部は上半の刷毛目後下半をヘラ削り。内面、口縁部横ナゲ。胴部ヘラナゲ。	炭素吸着のため変色。
32	土師器 甕	①南部と北西部 ②+18	残 口縁～胴部 中位 1/2 口 (13.5)	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③に白い橙	口縁部横ナゲ。胴部外面は上位にナゲ、中位にヘラ削り、下位に刷毛目、ナゲを施す。胴部内面は中位以下に磨き。	
33	土師器 甕	①西部と中央部 部南西寄り ②+13.5	残 ほぼ完形 口 14.0 底 6.1 高 20.5	①1～2mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③に白い橙	外面口縁部ナゲ。胴部ヘラ磨き。内面、口縁部横ナゲ、粗雑な磨き。胴部上半刷毛目、胴部下半ヘラナゲ。	内外面とも器面はやや磨減している。
34	土師器 甕 (輪縁 口縁)	①貯蔵穴痕 ②味直	残 完形 口 14.7 底 7.9 高 17.7	①1～2mmの砂粒、軽石を含む。②酸化・硬質③に白い黄橙	口縁部横ナゲ。胴部外面は上位に刷毛目。中位から下位にヘラナゲ。内面はていねいなナゲ。口縁部には輪縁状の接合痕を残す。	器面火熱を受けているか。底部外面刷毛目も使用か。
35	土師器 台付甕 (S字状 口縁)	①中央部南寄り ②+8	残 脚台部 底 10.8	①密、1mm以下の砂粒を多く含む。②酸化・軟質③橙	脚台部外面刷毛目、内面指頭圧痕。内面天井部に砂の多い粘土。	
36	土師器 台付甕 (S字状 口縁)	①南部と中央部 部南西寄り ②+8	残 口縁部 2/3 口 14.2	①密、1mm以下の砂粒を含む。②酸化・軟質③に白い黄橙	外面口縁部横ナゲ。胴部刷毛目。内面はていねいに磨いている。	破砕後、炭素吸着。
37	土師器 台付甕 (単口縁)	①西部 ②+4.5	残 脚台部欠損 他ほぼ完形 口 14.1	①1～2mmの砂粒、軽石を含む。②酸化・硬質③に白い橙	外面、口縁部の上半に横ナゲ。下半から胴部上半に刷毛目。下半には磨き。胴部内面は刷毛目。	炭化物付着。
38	土師器 台付甕 (単口縁)	①東部と西部 ②+12	残 ほぼ完形 口 14.5 底 8.7 高 21.1	①1mm前後の砂粒、軽石、赤色粘土粒を含む。②酸化・硬質③に白い橙	外面は口縁部が横ナゲ。胴部は上半がヘラ磨き。下半がヘラナゲ。脚台部は刷毛目にナゲ、磨きを重ねる。胴部内面はヘラナゲ。	器面の刷毛磨耗、顕著。
39	土師器 台付甕 (折り返し口縁)	①中央部 ②+18.5	残 ほぼ完形 口 14.2 底 9.2 高 25.2	①1～2mmの砂粒を含む。②酸化・硬質③明赤褐	外面は口縁部が下位に刷毛目を残し、あとはナゲ。胴部は磨きを基本にナゲを施すと思われる。内面は刷毛目。	外面はやや磨耗、顕著している。
40	土師器 台付甕 (S字状 口縁)	①砂岡辺 ②+20	残 口縁～胴部上位 1/3 口 (16.0)	①炭化物粒を少量含む。②酸化・軟質③明赤褐	口縁部は横ナゲ。胴部外面は刷毛目。肩部に横縁がめぐる。胴部内面、ナゲ、指頭によるナゲ。	外面、炭化物付着。
41	土師器 台付甕 (S字状 口縁)	①砂野と中央部 部東寄り ②+9.5	残 ほぼ完形 口 13.6 底 9.2 高 27.7	①1～2mmの砂粒を含む。②酸化・軟質③に白い橙	口縁部は横ナゲ。胴部外面は刷毛目を重ねる。内面はていねいにナゲを施す。	内外面に黒色の付着物。
42	土師器 有孔鉢	①南部 ②+16	残 ほぼ完形 口 17.0 底 6.0 高 10.0 孔径 1.2	①1mm以下の砂粒を大量に含む。②酸化・硬質③に白い赤	底部外面、胴部外面ヘラナゲ。部分的にヘラ磨き。口縁部は2段。工具を用いた押圧痕多数。	胴部内面、目の粗い刷毛目。

No.	器種	残存状況	材質	計測値				特徴	出土状況 ①平面 ②垂直
				全長 (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)		
43	砥石	残 一部欠損	砂岩	(12.0)	2.8~ 3.7	1.7~ 2.8	(141)	糸巻状を呈する。各側面とも良く使用され平滑になっている。右側面は面が途中で分面されていることから研主体は比較的小型であったか。	①平面 ②垂直

3区22号住居 (第53・54図、P.L.29)

No.	土器種別 器種	出土状態 ①平面 ②垂直	残存状況 法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土器器 手捏ね	①北西隅 ②床直	残 口縁部 2/3欠損 口 (5.3) 高 6.5	①密、1mm以下の砂粒を少量含む。②酸化・硬質③に白い橙	底部外面へラ削り。体部外面ナデ。内面に輪痕あり。	胴部中央に焼成前の穿孔が1個。 0.8×0.7cm。
2	土器器 手捏ね	①埋没土と3区21住居	残 口縁~胴部1/3 口 (8.8)	①1mm以下の砂粒を少量含む。②酸化・硬質③に白い赤褐色	口縁部は横ナデ。胴部は内外面ともナデ。	
3	土器器 埴	①中央部南西寄り ②床直	残 1/2 口 (11.8) 高 6.1	①密、白色鉱物粒少量。②酸化・硬質③に白い橙	口縁部は内外面とも器面調整後磨き。底部外面の下平はへラ削り。	
4	土器器 埴	①埋没土	残 2/3 口 (6.1) 底高 1.7 高 5.1	①1mm前後の砂粒を少量含む。②酸化・硬質③明赤褐色	外面全面へラ磨き。体部内面ナデ。口縁部外面の一部にへラ磨きのない部分がある。	
5	土器器 鉢	①北壁際 ②床直	残 胴~底部 底 2.3	①密、1mm以下の砂粒を少量含む。②酸化・硬質③に白い橙	体部内外面へラ磨き。口縁部との境に明瞭な段が残る。	
6	土器器 器台	①南壁際 ②床直	残 ほぼ完全 口 9.5 底 10.8 高 7.2	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③に白い橙	受部外面、ナデ。内面刷毛目。脚部は内外面とも刷毛目を施す。	台付壁の製作を途中でやめて、焼成前に現状に成・整形を行ったものと考えられる。
7	土器器 器台	①埋没土	残 2/3 口 7.5 底 11.4 高 8.3	①1mm以下の砂粒を少量混入する。②酸化・硬質③に白い橙	器台部内外面、脚部外面は磨き。脚部内面はナデ。	透孔は3孔。
8	土器器 器台	①北部 ②床直	残 受部宛形 脚部上半 2/3 口 8.4	①密、鉱物粒を少量含む。②酸化・硬質③明赤褐色	受部内外面、脚部外面は磨き。脚部内面はナデ。	透孔は3孔。
9	土器器 器台	①埋没土	残 脚部上位	①鉱物粒を含む。②酸化・硬質③に白い橙	外面磨き。内面ナデ。	透孔は2段4箇所ずつ合計8個。 脆弱になっている。
10	土器器 高杯	①埋没土	残 脚部 底 (10.7)	①1~2mmの砂粒を多量に含む。②酸化・硬質③に白い橙	外面は裾部に一部刷毛目を残す他は磨きを施す。内面は上位がへラ削り。裾部は横ナデを施す。	透孔は3孔、均等に配置されていない。
11	土器器 高杯	①埋没土	残 杯部1/2 口 (14.0)	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③明褐色	外面は磨き。内面はついでないナデを施す。磨きも加えているか。	杯部内面や中磨減。
12	土器器 高杯	①貯蔵穴部 ②床直と3区21住居貯蔵穴内	残 杯部1/2 口 (14.4)	①精選、鉱物粒を含む。②酸化・硬質③に白い橙	内外面とも磨きを施す。	

No.	土器種別 器 種	出土状態		残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 ・ 整 形 の 特 徴	備 考		
		① 平面	② 垂直						
13	土師器 壺	①中央部北寄り	②床直	残 頸-胴部 上位1/3	①2mm前後の砂粒、軽石、赤色粘土粒を含む。②酸化・硬質③にぶい橙	外面口縁部、刷毛目。胴部は上位がナブ、中位に刷毛目、下位はヘラ削りを施す。内面はナブ、ヘラナブ。	火熱のためか脆弱になっている。		
14	土師器 直口壺	①西北部と中央部北寄り	②南壁寄り	残 口縁部 1/2 口 (15.6)	①密、1mm以下の砂粒・灰物粒を含む。②酸化・硬質③(外)赤褐、(内)明褐	先端を横ナブ後外面は縦方向に、内面は横方向に磨く。			
15	土師器 直口壺	①南壁寄り	②床直	残 口縁部破片 口 (18.4)	①1mm以下の砂粒を多く含む。②酸化・硬質③(外)明褐(内)にぶい橙	内外面とも縦方向に磨きを施す。			
16	土師器 直口壺	①北壁際	②+4	残 口縁部破片 口 (16.8)	①砂粒を少量含む。②酸化・硬質③明褐	内外面とも断面調整後、縦方向の磨きを施す。			
17	土師器 壺 (二重口縁)	①埋没土		残 口縁部破片 口 (20.2)	①灰物粒を含む。②酸化・硬質③にぶい橙	外面の一部にヘラ削り、ナブがみられる他は内外面とも磨きを施す。			
18	土師器 台付壺 (擬S字口縁)	①柱穴1南	②床直	残 口縁部破片 口 (13.0)	①精選、灰物粒を含む。②酸化・硬質③にぶい赤褐	外面は口縁部下半に刷毛目を残す。胴部はナブ、磨きを施す。内面には磨きがみられる。	内面、炭化物付着。		
19	土師器 壺 (二重口縁)	①埋没土と3区21住埋没土		残 口縁-頸部 1/2 口 (22.8)	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③明赤褐	外面、口縁部上段は刷毛目。中段はヘラ削り後磨き。下段は磨きを施す。内面は磨きを施す。			
20	土師器 台付壺 (S字状口縁)	①中央部北寄り	②床直	残 脚台部 底 8.8	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・軟質③にぶい黄橙	外面はといねいなナブの上に刷毛目を施す。内面はナブ。			
21	土師器 台付壺 (S字状口縁)	①埋没土		残 口縁部破片 口 (16.0)	①1mm前後の灰物粒、軽石を含む。②酸化・軟質③(外)褐、(内)にぶい橙	口縁部は横ナブ。胴部外面は刷毛目。内面は指面による押さえ後ナブ。	炭素吸着のため変色。		
No.	器 種	残存状況	材 質	計 測 値				特 徴	出土状況 ① 平面 ② 垂直
				全長 (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)		
22	壺	残 ほぼ 完形	鉄製	<19.9>			(61)	刃先は平頭で片刃である。刃部幅は1.3cm、刃部厚0.7cmを測る。基部と基部の境は不明瞭である。基部の法量は幅1.2cm、厚さ1.0cmである。肩部は欠損する。	①北壁寄り ②床直

3区24号住居 (第56図、P.L29)

No.	土器種別 器 種	出土状態		残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
		① 平面	② 垂直				
1	土師器 鉢	①中央部北寄り	②+6	残 口縁-底部 1/2 高 6.2 口 (7.6)	①1mm以下の赤色粒を多く含む。②酸化・硬質③にぶい黄橙	体部内外面ヘラナブに近いヘラ削り。口縁部内外面ヘラ磨き。	口縁部の先端は欠損後補正して利用している。口縁部の器肉が特に薄い。
2	土師器 器 台	①中央部北寄り		残 皿部ほぼ 完形 口 8.1	①1mm前後の赤色粒を多く含む。②酸化・硬質③橙	皿部の底部内外面ヘラ磨き。口縁部ナブ。	
3	土師器 ミニチュア ア	①東部	②床直	残 1/4 口 (5.4) 高 3.3	①砂粒を含む量は少ない。②酸化・硬質③にぶい橙	体部外面ヘラ磨き。口縁部横ナブ。内面ナブにて器表面密。	小さくつくりがていねいである。

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
4	土師器 壺	①貯蔵穴内	残 口縁部破 片 口 (11.8)	①1mm以下の砂粒を少量含む。 ②酸化・硬質③にぶい黄褐色	口縁部外面は横ナデ。指頭圧痕を残す。胴部外面は刷毛目、内面はへう磨き。	外面、皮素状着。
5	土師器 壺 (二重 口縁)	①貯蔵穴際 ②味直	残 口縁部破 片 口 (21.4)	①1mm前後の砂粒を少量含む。 ②酸化・硬質③にぶい黄褐色	外面、口縁部上段に刷毛目。下段はナデ、へう磨き。屈曲部に割み。内面はへう磨き。	
6	土師器 器 台	①貯蔵穴際 ②味直	残 脚部 底 (11.0)	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③にぶい橙	外面全面へう磨き。内面下半ナデ、上半へう磨き。	孔は4箇所穿孔されている。
7	土師器 台付甕	①中央部東寄り ②味直	残 脚部 3/4 底 7.9	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③にぶい赤褐色	脚部外面へう磨き。内面ナデ、下部1段の刷毛目。	
8	土師器 台付甕	①中央部と中央部東寄り ②味直	残 脚部 1/2 底 (10.0)	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③明赤褐色	脚部外面指ナデ。内面上半指ナデ、下半目の細い刷毛目。	
9	土師器 壺 (二重 口縁)	①北壁寄り ②味直	残 口縁部破 片 口 (22.6)	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③にぶい橙	内外面全面にわたるへう磨き。	口縁部の小破片のため棒状付文は移動して表現。

3区25号住居 (第58・59図、P L 29・30)

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土師器 鉢	①中央部 ②+3.5	残 2/3 口 15.0	①1mm以下の砂粒を少量含む。 ②酸化・硬質③にぶい赤褐色	内外面ともていねいな磨きを充満する。	捉束後着により変色。
2	土師器 鉢	①中央部と中央部西寄り ②+4	残 1/4 口 (18.8) 底 (4.8) 高 10.5	①砂粒を少量含む。②酸化・硬質③明赤褐色・灰褐色	外面、口縁部から体部はナデ。下位の一部分に磨き。内面はナデに磨きを重ねる。	
3	土師器 鉢	①中央部と中央部西寄り ②味直	残 頸部1/10 体部2/3 底部完形 底 3.0	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③にぶい黄褐色	体部から口縁部外面と、口縁部内面へう磨き。体部内面ナデにて器表面磨。	
4	土師器 直口壺	①北部 ②味直	残 口縁部破 片 口 (18.8)	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③明赤褐色	内外面とも刷毛目後、縦方向に磨きをくり返す。	
5	土師器 壺	①中央部北寄り	残 口縁へ肩 部1/2 口 (18.4)	①1mm前後の軽石、赤色粘土粒を含む。②酸化・硬質③にぶい黄褐色	口縁部は内外面とも磨き。胴部も外面は磨き。内面はナデの上に粗雑な磨き。	
6	土師器 壺	①中央部と中央部東寄り ②味直	残 ほゞ完形 口 15.6 底 7.8 高 29.3	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③にぶい橙	口縁部は内外面に刷毛目を残す。胴部外面は数回に分けてナデ、磨きを施す。内面はていねいなナデ、上位に刷毛目を施す。	
7	土師器 壺 (折り返し口縁)	①中央部西寄りと中央部北寄り ②味直	残 口縁へ胴部 口 15.2	①砂粒を少量、白色鉱物粒を含む。②酸化・硬質③明黄褐色	外面口縁部横ナデ。胴部に刷毛目を残す。胴部は磨き。内面口縁部磨き。胴部刷毛目、ナデ。	
8	土師器 壺 (輪痕口縁)	①柱穴1段と北部と東壁寄り ②+4	残 口縁へ胴部 上位 口 15.8	①2mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③明黄褐色	口縁部先端に輪痕直を残す。外面はていねいなナデを施す。内面もナデ。	

No.	土器種別 器種	出土状態 ①平面 ②垂直	残存状況 法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調			成・整形の特徴	備考	
				全長 (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)			重量 (g)
9	土師器 壺	①中央部東寄り と北部 ②床直	残 口縁～胴 部下位 1/3 口 29.2	①1mm以下の砂粒・軽石を含む。 ②酸化・硬質③にぶい橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は上半に刷毛目を 多く残す。下半はナデ。内面はヘラナデ。				
10	土師器 壺 (二重 口縁)	①北部と柱穴 3際 ②床直	残 口縁～胴 部1/4 口 (22.4)	①1mm前後の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③にぶい黄褐	口縁部外面は刷毛目と横ナデを施す。胴部 は磨き。内面は口縁部が刷毛目後ナデ、磨 きを施す。			内面磨減、 剥落が著し い。	
11	土師器 壺	①中央部と北 部 ②床直	残 胴下部～ 底部1/3 底 (13.0)	①1～3mmの砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③橙	底部～胴部外面ヘラ磨き。胴部内面の器表 面は粗れている。一部にナデの痕跡あり。				
12	土師器 台	①中央部 ②床直	残 脚部上位	①密、白色鉱物粒を含む。②酸 化・硬質③明赤褐	外面はといねいな磨き。内面はナデ。			透孔は2段 に各3孔。	
13	土師器 台	①柱穴1際	残 脚部	①1～2mmの砂粒を含む。②酸 化・硬質③にぶい黄橙	外面は全面に磨きを施す。内面はヘラ削り、 ヘラナデ。他は刷毛目。内面は口縁部がヘ ラ磨き。胴部はヘラナデ。一部にヘラ削り、 ヘラ磨き。			透孔は4孔。	
14	土師器 器台	①埋没土	残 脚部1/2 底 (16.1)	①密、1mm以下の砂粒。②酸化・ 硬質③にぶい橙	外面には磨きを充満する。内面は上位に刷 毛目を残すか、下位は横ナデ。			透孔は5孔 と考えられ る。	
15	土師器 壺	①中央部と中 央部西寄りと 北部 ②+4	残 口縁～底 部2/3 口 13.1 底 6.3 高 16.4	①1mm以下の砂粒、2mm前後の 軽石を含む。②酸化・硬質③に ぶい橙	外面、口縁部横ナデ。胴部は下位にナデ、 ヘラ磨き。他は刷毛目。内面は口縁部がヘ ラ磨き。胴部はヘラナデ。一部にヘラ削り、 ヘラ磨き。			破砕後、火 熱を受けて いる。	
16	土師器 台付壺 (S字状 口縁)	①南東隅寄り ②床直と3区 25位121土 坑埋没土	残 胴～脚台 部上位 2/3	①1mm以下の砂粒を含む。②酸 化・軟質③黄褐	外面刷毛目。内面ナデ、指頭による押さえ、 ナデ。			炭化物付着。	
17	土師器 台付壺 (S字状 口縁)	①北西隅寄り ②床直	残 2/3 口 12.0 底 9.6 高 27.3	①1mm以下の砂粒を含む。②酸 化・軟質③灰褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は刷毛目。内面 は指頭あるいはヘラによるナデを施す。			炭素吸着の ため変色。	
18	土師器 台付壺 (S字状 口縁)	①中央部東寄 り	残 口縁～胴 部下位 1/3 口 11.7	①鉱物粒、特に金雲母の混入多 い。②酸化・軟質③灰黄褐・に ぶい褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は刷毛目。内面 は指頭によるナデ、押さえ。			外面、磨減 顯著。	
19	土師器 台付壺 (S字状 口縁)	①埋没土	残 口縁～胴 部破片 口 (14.2)	①精選、鉱物粒少量。②酸化・ 軟質③灰黄	口縁部は横ナデ。胴部外面は刷毛目。				
20	土師器 台付壺 (S字状 口縁)	①埋没土	残 口縁～胴 部破片 口 (15.0)	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・軟質③にぶい黄褐	胴部外面刷毛目。内面刷毛目による整形後、 指による縦方向のナデ。			炭素付着。	
21	土師器 壺	①南部 ②+6.5	残 2/3 口 15.6 底 5.0 高 19.4	①1mm以下の砂粒・軽石を含む。 ②酸化・硬質③にぶい橙	外面、口縁部は上半が横ナデ。下半が刷毛 目。胴部は下位にヘラ削り、他は刷毛目。 内面は口縁部が横ナデ。胴部の大半はヘ ラナデ。				
No.	器種	残存状況	材質	計 測 値			特 徴	出土状況 ①平面 ②垂直	
22	軽石製品	残 一部 欠損	軽石	9.7	5.0～ 6.0	2.2～ 6.0	(120)	卵形を呈するが、一面は乳鉢状にえぐられている。 器面には幅3mmほどの深い磨痕が複数残る。欠損 後も割れ口を継続して使用か。混入品か。	①埋没土

3区28号住居（第63～67図、P.L.30～34）

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備 考
1	土師器 手捏ね	①柱穴3内 ②床直	残 2/3 口 8.6 底 5.0 高 4.3	①1mm前後の赤色粒を少量含む。②酸化・硬質③に白い橙	外面上半刷毛目、下半指ナゲ、指頭圧痕が残る。内面上半刷毛目、下半ヘラ削り。	
2	土師器 手捏ね	①埋設土	残 口縁へ割 部下位 1/2 口 (7.4)	①密、1mm以下の砂粒を少量含む。②酸化・硬質③に白い黄褐	胴部外面、目の細かい刷毛目。内面に輪轡痕が残る。	
3	土師器 手捏ね	①埋設土	残 口縁へ割 部中位 1/2 口 (10.6)	①密、1mm前後の砂粒はほとんど含まない。②酸化・硬質③に白い橙	内外面指ナゲ。頸部内外面に指頭圧痕あり。	全体にひどく歪んでいる。
4	土師器 片口鉢	①中央部と西 部 ②+4.5	残 2/3 口 8.5 底 5.4 高 6.4	①1mm以下の砂粒を多く含む。②酸化・硬質③に白い黄褐	口縁部外面に指頭圧痕。体部内外面から口縁部内面全面へラ磨き。多く欠損しているが片口である。	全体に白に近い浅黄褐色である。
5	土師器 鉢	①中央部 ②+4	残 2/3 口 9.8 底 3.0 高 8.0	①1mm以下の砂粒を多く含む。②酸化・硬質③(外)に白い黄褐、(内)明赤褐	底部外面ヘラナゲ。中央がわずかに凹状。体部外面ヘラナゲ、内面上半刷毛整形。	全体に歪んでいるやや緩なつくり。
6	土師器 鉢	①埋設土	残 2/3 口 10.9 底 4.0 高 4.1	①1mm前後の砂粒を多く含む。②酸化・硬質③浅黄褐	底部外面ナゲにて中央やや凹状。体部外面ナゲ。下端ヘラ削り。内面全面にわたりヘラ磨き。	黒底全くなく、全体に白に近い浅黄褐色である。
7	土師器 鉢	①中央部西寄 り ②+8	残 1/3 口 (9.8) 底 4.0 高 4.8	①密、1mm以下の砂粒を多く含む。②酸化・硬質③(外)に白い橙	外面下端に一部ヘラ削り、他は全面ヘラ磨き。	
8	土師器 埴	①北東隅寄り と北東部 ②+8	残 ほぼ定形 口 14.6 高 7.8	①1mm以下の白色粒を多く含む。②酸化・硬質③に白い橙	胴部外面に刷毛目整形痕。他の外面ヘラ磨き。口縁部上半刷毛目整形、下半ヘラ磨き。	
9	土師器 埴	①北東隅寄り と中央部北 寄り ②+4	残 2/3 口 11.8 高 5.9	①1mm以下の白色粒を多く含む。②酸化・硬質③に白い赤褐	胴部刷毛目整形後ナゲ。口縁部内面は目の細かい刷毛目状の整形痕。	
10	土師器 埴	①埋設土	残 口縁へ割 部2/3 口 11.4	①1mm以下の白色粒を多く含む。②酸化・硬質③に白い橙	底部から体部外面ヘラナゲ。口縁部内面刷毛目整形。	ヘラ磨きは全くなし。
11	土師器 鉢	①埋設土	残 4/5 口 12.5	①1mm以下の白色粒を多く含む。②酸化・硬質③に白い黄褐	内外面全面にわたるヘラ磨き。口縁部内面に刷毛目の痕跡、その上も磨き。	全体に少し歪んでいる。
12	土師器 埴	①北東隅寄り ②+11	残 ほぼ定形 口 15.8 高 6.5	①3mm前後の砂粒を少量、1mm前後の砂粒を多く含む。②酸化・硬質③明赤褐	底部外面ヘラ削り。多くの砂粒が目立つ。口縁部内外面ナゲ。ヘラ磨きはない。	口縁部がやや玉縁状になっている。
13	土師器 埴	①中央部北寄 り ②+5	残 2/5 口 (12.4) 高 6.2	①1mm以下の砂粒を多く含む。②酸化・硬質③明赤褐	体部外面ヘラナゲ。頸部の一部に刷毛目。口縁部内外面へラ磨き。体部内面へラ磨き。	器面磨耗。
14	土師器 埴	①埋設土	残 1/4 口 (11.0)	①1mm以下の砂粒を多く含む。②酸化・硬質③に白い黄褐	体部外面ヘラ削り。口縁部から内面ナゲにより器表面密。	
15	土師器 鉢	①北東隅寄り と中央部西 寄り ②床直	残 ほぼ定形 口 14.8 底 5.0 高 5.3	①1mm以下の白色粒を多く含む。②酸化・硬質③明赤褐、一部に白い黄褐	内外面の全面にわたるヘラ磨き。	少し底部の位置が片寄っている。

No.	土器種別 器 類	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
16	土師器 鉢	①埋没土	残 1/2 口 (14.8) 高 4.7	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③(外)に黄褐色、(内)明赤褐色	内外面へラ磨き。底部外面は深い凹状となっている。	底部付近灰土による黒色。
17	土師器 鉢	①柱穴3内と中央部西寄り と西部 ②床直	残 2/3 口 13.6 高 6.5	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③に黄褐色	外面全面へラ磨き。口縁部内面は部分的に磨きがあるが、磨きの単位は不明。	内面の一部にへラ磨き。
18	土師器 鉢	①埋没土	残 小破片 口 (12.9) 底 (3.0) 高 5.0	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③に黄褐色	内外表面、全面にわたるへラ磨き。光沢を持つ。	
19	土師器 鉢	①中央部 ②+4.5	残 1/2 口 (14.8) 底 3.7 高 5.8	①鉱物粒を含む。②酸化・硬質③に赤褐色	口縁部は内外面とも横ナゲ後磨き。体部外面は上半に磨き、下半はへラ削り。	
20	土師器 鉢	①埋没土	残 2/3 口 16.1 底 4.0 高 6.0	①1～2mmの砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③明赤褐色	内外表面、全面へラ磨き。	赤色塗彩されているような明赤褐色。
21	土師器 鉢	①北東部 ②+8	残 1/4 口 (15.0)	①1mm以上の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③(外)に黄褐色、(内)赤褐色	内外面、全体にわたるへラ磨きで、器表面磨。平底。	内面に赤褐色に変色している。
22	土師器 鉢	①埋没土	残 1/4 口 (14.8) 底 (4.6) 高 7.7	①1～2mmの砂粒、やや多い。 ②酸化・硬質③に黄褐色	口縁部は横ナゲ。体部外面はへラ削り、へラナゲ。内面はへラナゲを基調に磨きを重ねる。	
23	土師器 器台	①中央部 ②床直	残 口縁～台 部上位 口 (9.8)	①黒色鉱物粒を含む。②酸化・硬質③(外)に黄褐色、(内)赤褐色	受部の内外面・脚部外面は磨き、脚部内面はナゲを施す。	透孔は3孔2段か。
24	土師器 器台	①埋没土	残 2/3 口 9.4	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③黄褐色	頸部外面と皿部口唇部、目の細い刷毛目。皿部内面一部へラ磨き。	
25	土師器 器台	①西部と中央部北寄り ②+6	残 杯部1/4 脚部2/3 口 (9.6) 底 13.2 高 10.8	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③明赤褐色	脚部外面へラ磨き。皿部外面刷毛目、内面へラ磨き。脚部内面下半刷毛目、上半へラナゲ。	穿孔は上下各3個の計6個である。
26	土師器 器台	①中央部北寄り ②+12.5	残 3/4 口 8.8 底 14.6 高 8.9	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③に黄褐色	脚部外面、一部刷毛目が残るが、その上全面へラ磨き。皿部外面へラ磨き。脚部内面ナゲ。	孔は下段に5個、上段に4個穿孔されている。
27	土師器 高杯	①中央部西寄り ②+7	残 口縁部 1/10 脚部1/2 口 (20.4)	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③に黄褐色	表面全面へラ磨きにより、全体に光沢を持つ。脚部内面へラ削り。	脚の穿孔は3個と思われる。
28	土師器 高杯	①中央部北寄り ②+9	残 脚部完形 底 10.6	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③に黄褐色	外面へラ磨き。内面ナゲ。	孔は4箇所穿孔されている。
29	土師器 高杯	①埋没土	残 破片 口 (18.9)	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③に黄褐色	内外面、全面にわたり横方向のへラ磨き。	
30	土師器 埴	①中央部と中央部北寄り ②床直	残 脚部1/2	①密、1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③に黄褐色	体部外面、刷毛目の後に全体へラ磨き。全体に光沢を持つ。内面刷毛目。	外面のへラ磨きが弱いため多くの刷毛目が残る。

3区28号住居

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平 西 ② 垂 直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
31	土師器 壺	①中央部と中央部南西寄り ②+4	残 口縁部破片 胴部2/3 口 (9.5) 高 2.0 底 11.0	①1~2mm前後の砂粒を少量含む。②酸化・硬質③にぶい橙	体部外面、中~下半へラ磨き。上半目の細かい刷毛目。口縁部外面刷毛目。上部ナデ、内面ナデにて器表面密。	口縁部上端近くに1条の花線。ていねいなつくりである。
32	土師器 壺	①中央部西寄りと西部 ②床直	残 ほぼ完形 口 9.0 底 5.4 高 11.2	①1mm以下の砂粒を大量に含む。②酸化・硬質③にぶい橙	底部外面へラ削り。体部外面・頸部刷毛目後へラ磨き。口縁部内面へラ磨き。体部内面ナデ。	全体に歪んでいる。特に底部の歪みがひどい。一部に炭素吸着。
33	土師器 壺	①中央部西寄りと北東隅寄り ②床直	残 口 9.9 底 3.8 高 12.1	①1mm以下の鉱物粒多数。②酸化・硬質③にぶい橙	外面は、胴部中位がやや不整明である他は、縦あるいは横方向の磨き。内面はナデ、磨き。	一部に炭素吸着。
34	土師器 壺	①柱穴3内 ②床直	残 2/3 口 13.0 底 6.0 高 12.3	①砂粒少量。②酸化・硬質③にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は上位の一部に刷毛目を残す他はへラナデ、へラ磨き。内面はナデ。	炭素吸着。
35	土師器 壺	①埋没土	残 胴~底部 底 4.3	①1~2mmの赤色粒を少量含む。②酸化・硬質③淡黄橙	外面、大部分の器表面が粗れており、整形方法不明。底部に近い部分にへラ磨きが残る。	内面に2段の輪痕が残る。
36	土師器 鉢	①西部と南部 ②+5.5	残 2/3 口 8.3 底 3.8 高 7.6	①1mm以下の砂粒を多く含む。②酸化・硬質③にぶい橙	体部外面へラ磨き。口縁部横ナデ。内面へラナデ。	
37	土師器 壺	①柱穴3内と柱穴5内と中央部南西寄り ②床直	残 3/4 口 9.2 底 3.4 高 12.1	①1mm以下の砂粒を多く含む。②酸化・硬質③暗赤褐	底部・体部・口縁部外面へラ磨き。口縁部内面へラ磨き。体部内面に指頭圧痕。	口縁部内面・体部外面・底部外面に赤色塗彩。
38	土師器 壺	①西壁際と西部 ②+4.5	残 2/3 口 11.9 底 2.4 高 12.2	①1mm以下の砂粒を多く含む。②酸化・硬質③にぶい黄橙	体部外面、中央から下半へラナデに近いへラ削り。上半刷毛目。口縁部下半刷毛目、内面ナデにて器表面密。	全体に均整のとれたていねいなつくりである。
39	土師器 壺	①西部 ②+10.5	残 2/3 口 12.2 底 5.3 高 14.5	①1mm以下の砂粒を多く含む。②酸化・硬質③明赤褐	体部外面下半へラ削り、上半ナデ後全面へラ磨き。口縁部内外面へラ磨きにより无沢を持つ。	ていねいなつくりである。
40	土師器 直口壺	①中央部西寄りと中央部南西寄りと柱穴3内と北東隅寄りと南西隅寄り ②床直	残 3/4 口 12.3 底 4.1 高 19.5	①1mm以下の白色鉱物・黒色鉱物粒を含む。②酸化・硬質③にぶい橙	外面は胴部最下位を除き、ていねいな磨きを施す。口縁部内面は横ナデ後へラ磨き。	
41	土師器 壺	①中央部北西寄り ②+4.5	残 口縁部完形 胴部1/3 口 12.0	①砂粒・赤色鉱物粒少量。②酸化・硬質③明褐	外面口縁部上半磨き、下半ナデ。胴部は最上位がナデ。他は磨き。内面口縁部磨き。胴部はナデ。	一部に炭素吸着。
42	土師器 壺	①9明 ②+8.5	残 2/3 口 11.0 底 3.8 高 13.1	①砂粒を多く含む。②酸化・硬質③淡黄橙	口縁部外面は刷毛目後上半を横ナデ。胴部は刷毛目後中位以下を磨き。	破砕後、炭素吸着。
43	土師器 壺	①北東隅寄り ②+11	残 1/2 底 (3.1)	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③にぶい黄橙	外面は胴部上半が刷毛目、下半がへラ削り。内面はへラナデ。	
44	土師器 壺	①西部 ②床直	残 胴~底部 底 2.9	①1mm以下の砂粒を多く含む。②酸化・硬質③(外)にぶい褐、(内)明赤褐	胴部外面は器面調整後、粗雑な磨きを施す。内面はへラナデ。	

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 断面	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
45	土師器 壺	①西部と北部 と中央部北 寄りと中央 部西寄り と北東隅寄り ②+4	残 ほぼ完形 口 13.3 底 2.4 高 17.3	①3～4mmの砂粒を少量含む。 ②酸化・硬質③に黄褐色	体部外面ヘラナデ。ヘラで器表面を押しつけているために、部分的に光沢を持つ。	口縁部内外 面は刷毛目。
46	土師器 壺	①北壁寄りと 中央部と中 央部西寄り と西部 ②床直	残 ほぼ完形 口 13.8 底 5.8 高 18.6	①1mm前後の砂粒を含む。②酸 化・硬質③明赤褐	口縁部は横ナゲ後一部に磨き。内面は磨き。 胴部外面は全面を磨く。胴部内面はヘラナ デ。	
47	土師器 壺 (折り返し 口縁)	①西壁寄りと 北東部と柱 穴3内 ②床直	残 4/5 口 14.1 底 5.6 高 16.7	①1～2mmの砂粒を含む。②酸 化・硬質③灰白	外面は口縁部・胴部下半に磨きを、胴部上 半にていびいなヘラナゲが施されている。	
48	土師器 壺 (折り返し 口縁)	①西部と中央 部西寄り ②床直	残 ほぼ完形 口 14.7 底 5.5 高 17.2	①1～2mmの砂粒を含む。②酸 化・硬質③淡黄	口縁部外面は先端を除き、刷毛目後一部に 磨き。胴部外面は磨きを施す。	
49	土師器 壺 (折り返し 口縁)	①南西隅寄り と西部と北 東隅寄り ②+4.5	残 口縁～胴 部下位 4/5 口 13.8	①1mm前後の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③淡黄	胴部外面ヘラナゲ後へつ磨き。口縁部外面 刷毛目、内面へつ磨き。胴部内面ナデ。	黒斑は全く ない。
50	土師器 壺	①中央部西寄 りと北東隅 寄り ②床直	残 ほぼ完形 口 11.8 底 5.9 高 14.6	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③赤褐	胴部外面へつ磨き。口縁部外面ナデ、内面 へつ磨き。胴部内面上半ナゲ、下半ヘラナ ゲ。	
51	土師器 鉢	①埋没土	残 1/3 口 (9.2) 底 4.3 高 9.5	①1mm以下の砂粒を少量含む。 ②酸化・硬質③橙	胴部外面目の細かい弱い刷毛目。口縁部外 面は目の粗い刷毛目。胴部内面指によるナ デ。	
52	土師器 鉢	①北東隅寄り ②+11	残 1/3 口 (9.5) 底 (3.3) 高 10.5	①砂粒を多く含む。軽石も混入。 ②酸化・硬質③赤褐	口縁部は横ナゲ。内外面ともナデ。胴部下 位はへつ磨り。	火熱を受け ている。
53	土師器 鉢	①埋没土	残 3/4 口 9.9 底 4.0 高 8.3	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③に黄褐色	胴部外面の中央から下半にかけてへつ磨 き。磨きの単位明確でない。	破砕後、炭 灰被着。
54	土師器 鉢	①中央部と北 壁寄り ②床直	残 口縁～胴 部1/3 口 (9.6)	①1mm前後の砂粒、軽石を含む。 ②酸化・硬質③明赤褐	口縁部は横ナゲ。胴部外面は磨き、へつ磨 り。内面はヘラナゲ。	
55	土師器 鉢	①埋没土	残 3/4 口 10.1 底 3.4 高 9.7	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③に黄褐色	底部外面を含め、全面にわたりへつ磨き。	
56	土師器 鉢	①埋没土	残 2/3 口 12.3	①1mm以下の砂粒、炭粉物を含 む。②酸化・硬質③に黄褐色	口縁部の内外面は刷毛目。胴部外面は上半 が刷毛目後ナゲ、磨き。内面はヘラナゲ。	破砕後、炭 灰被着。
57	土師器 壺 (折り返し 口縁)	①西壁寄りと 中央部西寄 りと北壁寄 り ②床直	残 4/5 口 13.7 底 7.2 高 22.0	①1～2mmの砂粒を含む。②酸 化・硬質③に黄褐色	外面、口縁部先端横ナゲ。以下刷毛目。胴 部はへつ磨き。胴部内面はヘラナゲ。	底部に木炭 灰。
58	土師器 広口壺	①埋没土	残 2/3 口 (12.5) 底 5.0 高 11.6	①1mm以下の砂粒を含む。②酸 化・硬質③に黄褐色	口縁部外面は刷毛目後上半に横ナゲ。胴部 外面は磨き。内面はヘラナゲ。	内外面とも 刷毛、炭着。

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 床直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
59	土師器 広口壺	①中央部西寄り と柱穴4 内と北東隅 寄り ②床直	残 ほぼ完形 口 11.3 底 4.6 高 12.2	①2mm前後の砂粒、軽石を含む。 ②酸化・硬質③赤褐色・明赤褐色	口縁部は外面横ナゲ、内面磨き。胴部は外面粗雑な磨き。内面ナゲ。	
60	土師器 壺	①埋没土	残 口縁～胴 部中位 1/2 口 11.6	①1mm以下の砂粒を少量含む。 ②酸化・硬質③明褐色	口縁部外面は横ナゲ。胴部外面は磨き。内面もナゲの上に粗雑な磨き。	炭化物付着。
61	土師器 壺	①中央部北寄り ②+10	残 1/3 口 (11.6) 底 (4.3)	①砂粒を含む。②酸化・軟質③淡黄	外面は刷毛目を施す。内面は口縁部が刷毛目、胴部はナゲ調整を施す。	図上復元。
62	土師器 壺 (輪横口縁)	①中央部西寄り と西部 ②床直	残 4/5 口 (12.6) 底 5.3 高 17.6	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・軟質③に白褐色・褐灰	口縁部外面には1条輪痕を残す。胴部外面はナゲの上に粗雑な磨きを重ねる。内面はていねいなナゲ。	
63	土師器 壺	①西壁寄りと 西部と南部 ②床直	残 1/2 口 (11.0) 底 (6.0) 高 11.7	①1mm以下の砂粒を少量含む。 ②酸化・硬質③に白黄	口縁部の外面は指痕によるナゲ。内面は刷毛目。胴部外面は刷毛目、内面はヘラナゲ。	
64	土師器 壺	①中央部西寄り と中央部 北寄りと南 部 ②床直	残 4/5 口 (13.0) 底 4.7 高 13.3	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③に白黄褐色	口縁部は横ナゲ。一部に刷毛目を残す。胴部外面は刷毛目。内面はヘラナゲ。	
65	土師器 壺 (輪横口縁)	①西部と中央部 と中央部 東寄りと中央部 北寄り ②床直	残 口縁～胴 部下位 2/3 口 12.8	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③明赤褐色	口縁部外面には輪横痕を残す。胴部外面は全体に磨きを施す。	
66	土師器 壺	①埋没土	残 口縁～胴 部中位 1/4 口 (15.4)	①1mm以下の砂粒、鉱物粒を含む。 ②酸化・硬質③に白褐色・明赤褐色	口縁部外面は刷毛目。先端のみ横ナゲ。胴部外面は刷毛目の上に一部磨きを重ねる。内面はヘラナゲ。	
67	土師器 壺	①西部と中央部 北寄りと中央部 西寄り ②床直	残 ほぼ完形 口 15.3 底 6.2 高 21.4	①1～2mmの砂粒を含む。②酸化・硬質③明褐色	口縁部横ナゲ。胴部外面は上半がナゲ、ヘラナゲ。下位が磨き。内面はナゲ、ヘラナゲ。	
68	土師器 壺	①北部と中央部 北寄りと中央部 西寄り ②床直	残 口縁～胴 部4/5 口 16.6	①1～2mmの砂粒、軽石を含む。 ②酸化・硬質③に白褐色	外面口縁部は横ナゲ。胴部は刷毛目。内面は口縁部が刷毛目。胴部はヘラナゲ。	
69	土師器 台付壺 (単口縁)	①埋没土	残 口縁部 1/3 口 (20.6)	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③に白褐色	内外面ほぼ全面にわたるヘラ磨き。	多くの砂粒が目立つ。
70	土師器 壺	①中央部西寄り と北東隅 寄り ②床直	残 2/3 口 (18.2) 底 5.4 高 24.1	①1～2mmの砂粒、軽石を含む。 ②酸化・硬質③に白褐色	口縁部横ナゲ。胴部外面は上位から中位に刷毛目、下位にナゲを施す。内面は最上位に刷毛目、以下はヘラナゲ。	底部外面に木葉痕。
71	土師器 台付壺 (単口縁)	①西壁寄りと 北東隅寄りと 中央部西寄り と中央部 北寄りと柱 穴4内と柱 穴4内 ②+4	残 4/5 口 13.8 底 9.2 高 22.0	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③に白褐色	外面口縁部横ナゲ。胴部は上位に刷毛目を残すがヘラナゲ、ヘラ磨き。胴台部はナゲ、内面は口縁部が刷毛目後磨き。胴部はヘラナゲ。	

No.	土器類別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
72	土器器 台付壺	①埋没土	残 胴部下位 〜脚台部 1/4 底 (7.8)	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③に よい橙	胴台部内面ナデ。胴部内外面全面へう磨き。	
73	土器器 台付壺	①北東隅寄り ②+12.5	残 脚台部 2/3 底 9.4	①1〜3mmの赤色粒を少量含 む。②酸化・硬質③に よい赤褐	外面へう磨き。内面ナデにて器表面密。	
74	土器器 台付壺 (単口縁)	①中央部西寄 りと中央部 北寄りと柱 穴3内と柱 穴4際 ②床直	残 4/5 口 16.0 底 10.7 高 26.2	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③に よい黄橙	外面は口縁部上半が横ナデ。以下、胴部上 半までは刷毛目。下半は磨き。胴部は刷 毛目。内面は口縁部が磨き。胴部内面はへ ラナデ。	
75	土器器 台付壺 (単口縁)	①中央部北寄 り ②+4	残 口縁〜脚 台部3/4 口 14.2 底 8.9 高 23.5	①1〜2mmの砂粒、軽石を含む。 ②酸化・硬質③に よい橙	外面口縁部横ナデ。胴部へう磨き。脚台部 刷毛目、最下部にへう磨り後磨き。胴部内 面はへラナデ。	
76	土器器 台付壺	①中央部西寄 り ②床直	残 脚台部 4/5 底 10.5	①1mm以下の赤色粒を含むが全 体に砂粒の量少ない。②酸化・ 硬質③に よい橙	壺内面底部、目の細かい刷毛目。体部内外 面ナデ。脚台部内面下端に刷毛目。	
77	土器器 台付壺	①中央部北寄 り ②+4	残 胴部下位 1/16 脚台部 1/2 底 (10.5)	①1mm前後の砂粒を含む。②酸 化・硬質③に よい赤褐	脚台部から壺外面刷毛目。脚台部内面弱い 刷毛目、下端横ナデ。	大きな台付 壺(単口縁) と思われる。
78	土器器 台付壺 (S字状 口縁)	①西壁際と柱 穴4内と柱 穴4際と中 央部北寄り と北東隅寄 り ②+5	残 4/5 口 15.2 底 9.9 高 29.2	①1mm前後の砂粒を含む。②酸 化・軟質③に よい黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は刷毛目を施す。 内面はナデ、指頭によるナデ、押しえ。	
79	土器器 台付壺 (S字状 口縁)	①中央部西寄 り ②床直	残 口縁部 1/2 胴部1/4 口 (15.2)	①1mm以下の砂粒。②酸化・軟 質③に よい黄橙	口縁部横ナデ。胴部外面は2方向からの刷 毛目を施す。下位は一部ナデの面を残して いる。内面はナデ、指ナデを施す。	刷上復元。
80	土器器 台付壺 (S字状 口縁)	①埋没土	残 口縁部 1/2、肩部 小破片 口 (15.4)	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・軟質③に よい黄橙	胴部外面刷毛目。内面ナデにて器表面密。	灰濁付着、 器面変色。
81	土器器 台付壺 (S字状 口縁)	①中央部西寄 り ②床直	残 口縁〜胴 部上位 口 12.6	①食物粒を少量含む。②酸化・ 軟質③灰黄褐	口縁部横ナデ。胴部外面は斜縦方向に刷毛 目後、肩部に横位の刷毛目を施す。胴部内 面はナデ。指頭による押しえの痕跡を残す。	
82	土器器 台付壺 (S字状 口縁)	①埋没土	残 脚台部 1/3 底 (9.0)	①密、1mm以下の砂粒を多く含 む。②酸化・軟質③に よい黄橙	脚台部外面上半刷毛目。内面上端に砂の多 い粘土。下端の折り返し部に指頭圧痕。	
83	土器器 台付壺 (S字状 口縁)	①埋没土	残 脚台部 1/2 底 (11.2)	①密、1mm以下の砂粒を多く含 む。②酸化・軟質③に よい橙	脚台部外面上半刷毛目。内面上端に砂の多 い粘土。下端に多くの指頭圧痕。	
84	土器器 台付壺 (S字状 口縁)	①埋没土	残 胴下位〜 脚台部 底 10.2	①1mm以下の砂粒を含む。②酸 化・軟質③(外)に よい黄橙、(内) 黄灰	脚台部外面は器面調整のナデ、刷毛目後、 部分的に指頭によるナデ。	高杯、器台 として二次 利用か。

3区28・29号住居

No.	土器種別 器種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
85	須恵器 壺	①埋没土	残 胴～底部 1/2	①白色磁物粒、黒色磁物粒を含む。 ②還元・硬質③灰	外面の中心以下には叩目を残す。上位は回転をもたうナデ調整。内面にはナデ調整を施す。	
86	土師器 甕	①埋没土	残 完形 口 21.0 底 7.7 高 26.2	①1～2mmの砂粒を少量含む。 ②酸化・硬質③赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面ははいねいなナデ。一部は磨き状を呈す。内面は下位の一部へう磨り、他はヘラナデ。	

3区29号住居 (第70～76図、P L 35～39)

No.	土器種別 器種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土師器 鉢	①埋没土	残 完形 口 10.4 底 2.8 高 4.2	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③明黄褐	底部外面ヘラナデ。口縁部内外面へう磨き。	全体にはいねいなつくりである。
2	土師器 鉢	①貯蔵穴内	残 1/2 口 (12.8) 底 3.4 高 5.4	①磁物粒を多く含む。②酸化・硬質③明褐灰	内外面とも磨きを施す。底部外面はへう削りか。	
3	土師器 鉢	①柱穴3内 ②+5.5	残 ほぼ完形 口 13.9 底 3.7 高 7.2	①砂粒を含む。②酸化・硬質③ にふい橙	底部外面をへう削りの他は全て磨き。底面不安定。	外面、灰化物付着。
4	土師器 鉢	①中央部 ②床直	残 完形 口 17.3 底 3.4 高 6.8	①砂粒を少量含む。②酸化・硬質③橙	口縁部外面の肥厚部分には指頭圧痕による凹みが並ぶ。以下は内外面ともはいねいなナデの上に磨きを重ねている。	
5	土師器 鉢	①中央部と西部 ②+8	残 口縁部 1/2 口 (15.6) 底 3.7 高 5.6	①磁物粒、赤色粘土粒を含む。 ②酸化・硬質③にふい黄橙	口縁部外面の下半に指頭圧痕を残す。体部外面は一部に刷毛目を残すが、全体にナデを施す。	
6	土師器 鉢	①埋没土	残 完形 口 16.6 底 4.5 高 7.8	①1mm前後から1mm以下の砂粒を多く含む。②酸化・硬質③にふい橙	底部外面と口縁部上端外面以外、全面にわたりへう磨き。	全体に並んでいる。器面、鈍黒、紫色。
7	土師器 鉢	①中央部と中央部南寄り と南部 ②+4	残 3/4 口 (12.2) 底 3.8 高 9.3	①磁物粒を含む。②酸化・硬質③にふい橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は上半に刷毛目を多く残すが、全体に磨きを重ねる。	
8	土師器 甕	①南西部 ②+7	残 完形 口 12.2 底 2.3 高 7.2	①密、磁物粒・磁石を含む。②酸化・硬質③にふい褐	外面全面に磨き。内面は横ナデ、ヘラナデ。	
9	土師器 鉢	①中央部 ②+8	残 胴～底部 3.4	①1mm以下の砂粒を大量に含む。②酸化・硬質③明赤褐	外面へう磨き。内面へうによる横ナデ。へうの圧痕が多く残る。	
10	土師器 高杯	①埋没土	残 杯部 口 15.0	①1～3mmの大きな白色粒を少量含む。②酸化・硬質③にふい橙	外面へう磨き。上半に刷毛目が残り、へう磨きなし。口縁部横ナデ。内面全面へう磨き。	
11	土師器 器台	①東壁寄り ②+20	残 受部3/4 9.4	①1mm以下の砂粒を多く含む。②酸化・硬質③橙	外面へう磨き。口縁部内面横方向のへう磨き。	内面底部、器面鈍黒。
12	土師器 器台	①中央部 ②+9	残 受～脚部 上位 口 7.4	①1～3mmの赤色粒を多く含む。②酸化・硬質③にふい橙	脚部外面と器面内面へう磨き。脚部内面にへうの工具痕あり。	破損後、脚部内面、灰化物付着。

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②構成 ③色調	成・整形の特徴	備 考
13	土師器 器 台	①埋没土	残 受部下位 へ脚部上 位	①2～3mmの赤色粒を多く含む。 ②酸化・硬質③橙	外面ヘラ磨き。皿部内部ナダ。脚部内部ヘラ削り。	孔は3箇所穿孔されている。
14	土師器 器 台	①中央部北寄り ②+17	残 ほぼ完形 口 8.8 底 12.9 高 9.8	①紅物粒少量。②酸化・硬質③ ぶい黄橙	外面は受部の先端を除き、全て磨きを加える。受部内面も磨き。脚部内面はヘラ削り、刷毛目。	透孔は上段3孔、下段6孔。
15	土師器 器 台	①埋没土	残 完形 口 8.5 底 10.6 高 11.1	①砂粒を含む。②酸化・硬質③ 浅黄橙	外面は磨きを施す。脚部内面はヘラ削り、ナダ。	器面は磨滅している。
16	土師器 器 台	①中央部と柱 穴2際 ②+5	残 受部1/4 脚部1/3 口 (8.8) 底 (14.2) 高 10.4	①赤、紅物粒少量。②酸化・硬 質③橙	受部内外面、脚部外面は磨きを施す。	
17	土師器 器 台	①柱穴2際 ②+6	残 受部完形 脚部3/4 口 8.6 底 11.4 高 8.9	①1mm以下の砂粒・紅物粒。② 酸化・硬質③ぶい黄橙・明褐	外面は全面にいていぬ磨き。内面は受部が磨き。脚部が指ナダ、横ナダ。	器面はやや磨滅している。
18	土師器 器 台	①埋没土	残 胴部 底 11.1	①紅物粒少量。②酸化・硬質③ ぶい黄橙・橙	脚部外面は刷毛目の上を一部ヘラナダ。内面は刷毛目、ナダ。	脚部に5孔。
19	土師器 鉢	①埋没土	残 口縁部破 片、頸へ 底部1/2 口 (9.6)	①1mm前後の赤色粒を大量に含 む。②酸化・硬質③ぶい黄	底部から胴下半刷毛目。肩部から口縁部横ナダ。体部内面ヘラ削り。	口縁部と胴下半に接点なし。図上復元。
20	土師器 甕 (折り返し口縁)	①埋没土	残 口縁へ胴 部上位 口 13.8	①1～3mmの赤色粒を少量含む。 ②酸化・硬質③ぶい黄	胴部外面ヘラ磨き。頸部に目の細かい刷毛目、内面ナダにて器表面磨。	
21	土師器 甕	①中央部と北 西隅寄り ②床直	残 頸部完形 胴部上位 1/3	①1mm以下の赤色粒を多く含む。 ②酸化・硬質③ぶい黄	胴部外面全面ヘラ磨き。肩部ナダ。頸部ヘラ磨き。胴部内面ナダ。部分的に指頭圧痕が残る。	
22	土師器 甕	①貯蔵穴内と 埋没土	残 口縁へ胴 部1/4 口 (16.8)	①1mm前後の砂粒を含む。②酸 化・硬質③明赤褐	口縁部は横ナダ。胴部外面はヘラナダ。胴部内面は指頭による押しえ、ヘラ削り。	
23	土師器 甕 (二重 口縁)	①南部と貯蔵 穴内 ②+9と貯蔵 穴内	残 胴部一部 欠損 口 16.8 底 7.2 高 26.2	①1～2mmの砂粒を含む。②酸 化・硬質③ぶい黄	外面全面にヘラ磨き。内面口縁部はヘラ磨き。胴部はヘラナダ。	
24	土師器 直口甕	①中央部南西 寄り ②+5	残 完形 口 13.4 底 6.0 高 20.2	①1mm以下の砂粒を含む。②酸 化・硬質③ぶい黄	外面は口縁部・胴部とも磨き。内面は口縁部が刷毛目の上に部分的に磨きを重ねる。胴部はヘラナダ。	外面、黒色の付着物か。
25	土師器 甕 (二重 口縁)	①南部と貯蔵 穴と貯蔵穴内 ②貯蔵穴内と 床直	残 口縁へ胴 部下位 2/3 口 14.0	①1mm前後の砂粒を含む。②酸 化・硬質③ぶい黄橙	口縁部は下半に刷毛目を残す。胴部は外面が磨き。内面は刷毛目を施す。	
26	土師器 甕 (折り返し口縁)	①西部と中央 部北寄り ②床直	残 ほぼ完形 口 13.6 底 6.1 高 26.1	①1mm前後の砂粒を含む。②酸 化・硬質③明赤褐・ぶい黄	外面は口縁部横ナダ。胴部上半が磨き。下半がヘラ削り。口縁部から胴部上半には刷毛目を残す。内面は口縁部が刷毛目、胴部がヘラナダ。	外面はやや磨滅している。
27	土師器 甕	①埋没土	残 口縁へ胴 部上位 1/2 口 (11.8)	①黒色紅物粒混入。②酸化・硬 質③ぶい黄橙	口縁部外面はナダ。胴部は上位に刷毛目を残し、以下はナダ、磨きを重ねる。	外面、炭化物着。

3区29号住居

No.	土器類別 器種	出土状態 ①平面 ②垂直	残存状況 法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
28	土師器 壺	①埋没土	残 口縁～胴 部中位 1/2 口 (11.3)	①2～3mmの赤色粒を少量含む。 ②酸化・硬質③にふい赤褐	胴部外面ナゲ後、一部ヘラ磨き。口縁部外面 縦方向の指ナゲ。胴部内面刷毛目状の整 形あり。	
29	土師器 壺	①埋没土	残 口縁～胴 部下位 2/3 口 12.9	①1～2mmの砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③褐灰	胴部外面細い刷毛後、上半部ヘラ磨き。 内面刷毛目。	全体に黒な つくりである。 外面炭 素吸着。器 面黄褐色。
30	土師器 壺	①中央部と北 西隅寄り ②+7	残 口縁～胴 部下位 2/3 口 11.0	①1mm以下の鉱物粒を含む。② 酸化・硬質③にふい黄橙	口縁部は横ナゲ。胴部外面はナゲ後部分的 に粗雑な磨き。内面はナゲ。	
31	土師器 壺	①埋没土	残 完形 口 12.2 底 5.6 高 13.8	①1mm前後の砂粒を含む。②酸 化・硬質③にふい赤褐	外面粗雑な磨きを施す。内面もナゲ後粗雑 な磨き。	
32	土師器 壺	①中央部と北 西隅寄り ②+8	残 1/2 口 10.1 底 5.0 高 12.3	①1mm前後の砂粒・軽石を含む。 ②酸化・硬質③にふい橙	口縁部は内外面とも磨き。胴部外面は刷毛 目後ナゲ、磨きを重ねるが粗雑。内面はナ ゲ、ヘラナゲ。	器形は歪ん でいる。
33	土師器 壺	①中央部と中 央部西寄り ②+7	残 口縁部 1/2 以下完形 口 (13.6) 底 5.0 高 14.0	①1～2mmの砂粒を少量含む。 ②酸化・硬質③にふい黄	外面は全面はヘラ磨き。胴部内面、接合面 付近刷毛目。	黒煙のない ていおいな つくりである。
34	土師器 壺	①西部と中央 部と中央部 西寄りと貯 蔵穴内と ②貯蔵穴内と 床直	残 ほぼ完形 口 13.3 底 5.7 高 15.1	①1～2mmの砂粒を含む。②酸 化・硬質③明赤褐	外面は口縁部がナゲ。胴部は上半が刷毛目 にヘラナゲを、下半はナゲ後磨きを重ねる。 内面は口縁部から胴部上半に刷毛目。以下 はナゲ、一部に磨き。	
35	土師器 壺	①柱穴3層 ②+9.5	残 ほぼ完形 口 13.4 底 6.0 高 17.8	①2mm前後の砂粒を含む。②酸 化・軟質③にふい黄橙	胴部外面は頸部近くと下半に刷毛目を残 す。他はナゲ、横ナゲ。	底部外面、 砂底。
36	土師器 壺	①中央部東寄 り ②+7	残 ほぼ完形 口 13.5 底 5.1 高 16.7	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③にふい橙	胴部外面刷毛目。その上に一部ヘラナゲ。 その部分は少し光沢を持つ。内面全面ヘラ 磨き。	器形歪んで いる。
37	土師器 壺	①中央部と南 部 ②+8	残 ほぼ完形 口 14.1 底 6.2 高 16.1	①1～2mm前後の砂粒、軽石を 含む。②酸化・硬質③にふい褐	胴部外面は上位にヘラナゲを残す他は、粗 雑な磨きを重ねる。内面は口縁部と胴部下 半に磨き、胴部上半に刷毛目を施す。	器面、炭素 吸着のため 黄褐色。
38	土師器 壺	①西部と貯蔵 穴内 ②+19と貯蔵 穴内	残 口縁～胴 部一部欠 損 口 15.9 底 6.5 高 20.8	①1～2mmの砂粒、赤色粘土粒。 ②酸化・硬質③にふい橙	外面口縁部横ナゲ。胴部上位から中位刷毛 目。下位ヘラ磨り。内面口縁部刷毛目。胴 部ヘラ磨き。	
39	土師器 壺	①東部 ②+20	残 口縁部 1/3 胴部3/4 口 (14.2) 底 5.9 高 22.2	①1～2mmの砂粒、白色鉱物粒 を含む。②酸化・硬質③にふい 橙・にふい褐	外面口縁部横ナゲ。胴部、刷毛目後中位は ナゲ、ヘラ磨き。内面口縁部刷毛目。胴部 上半は刷毛目、ナゲ、指押さえ。下半はヘ ラ磨き。	

No.	土器種別 器種	出土状態 ①平面 ②垂直	残存状況 法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
40	土師器 罎 (輪襷 口縁)	①東壁寄りと 中央部東寄 りと東部と 柱穴1内 ②+16	残 口縁、胴 部一部欠 損 口 15.4 底 6.3 高 22.1	①1~2mmの砂粒、軽石を含む。 ②酸化・硬質③にぶい赤褐	外面、口縁部指押さえ状のナデ。胴部は磨 き。内面はナデ後粗雑な磨き。胴部は上 半が刷毛目、下半がヘラナデ。	底部外面、 砂底。
41	土師器 罎	①中央部西寄 り ②+16	残 口縁~胴 部上位 口 13.0	①1mm以下の砂粒、鉱物粒を含 む。②酸化・硬質③にぶい黄褐色	口縁部内外面、ナデ、ナデ状の刷毛目。胴 部外面、ヘラ磨き。内面ヘラナデ。	実質。火熱 のためか。 炭化物付着。
42	土師器 罎	①埋没土	残 口縁~胴 部上位 1/3 口 (16.0)	①鉱物粒を少量含む。②酸化・ 硬質③にぶい黄褐色	外面は口縁部上半がヘラ磨り。下半が刷毛 目。胴部はヘラ磨き。内面は口縁部が磨 き。胴部が刷毛目。	炭化物付着。
43	土師器 罎	①埋没土	残 口縁~胴 部上位 1/2 口 (14.8)	①1mm以下の砂粒、白色鉱物粒 を含む。②酸化・硬質③にぶい 黄褐色	外面口縁部横ナデ。胴部は刷毛目。内面、 口縁部刷毛目の上に横ナデを施す。胴部は ヘラナデ。	炭化物付着。
44	土師器 罎	①貯蔵穴内と 中央部と北 壁寄りと北 東隅 ②+7	残 口縁~胴 部中位 口 16.3	①1mm以下の砂粒を含む。②酸 化・硬質③明赤褐	外面口縁部刷毛目。胴部は粗雑な磨き。内 面は口縁部、胴部とも刷毛目の上にわずか に磨きを重ねる。	
45	土師器 罎	①西部 ②+19と3区 17埋没土	残 口縁~胴 部1/3 口 (15.8)	①1mm前後の砂粒を含む。②酸 化・硬質③にぶい橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は刷毛目、ナデ 後縦縞模様様に刷毛目。内面はヘラ磨り、 ヘラナデ。	内面、磨耗。
46	土師器 罎	①埋没土	残 口縁~胴 部中位 1/2 口 (17.7)	①1mm以下の砂粒を含む。②酸 化・硬質③にぶい赤褐	口縁部横ナデ。胴部外面刷毛目。内面ヘラ ナデ。	
47	土師器 罎	①西部と東壁 寄りと北東 隅 ②+20	残 口縁~胴 部中位 1/2 口 (16.8)	①1mm以下の砂粒を含む。②酸 化・硬質③にぶい橙	口縁部は横ナデ。内面は刷毛目を残す。胴 部外面は弱いタッチのヘラ磨り、あるいは ヘラナデ。内面はヘラナデ、一部にヘラ磨 り。	
48	土師器 罎	①埋没土	残 口縁~底 部1/2 口 (14.6) 底 5.4	①1mm以下の砂粒、白色鉱物を 含む。②酸化・硬質③にぶい赤 褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は上位から中位 が刷毛目、下位はナデ。内面は下位の刷毛 目を除きナデを施す。	図上復元。
49	土師器 罎 (折り返 し口縁)	①南部と南東 部 ②+11.5	残 底部欠損 口縁~胴 部下位 3/4 口 (15.6)	①1mm前後の砂粒を含む。②酸 化・硬質③にぶい橙	外面、口縁部肥厚部分指押さえ。胴部は刷 毛目、ナデ後粗雑なヘラ磨き。内面は全 面に刷毛目。	破砕後、炭 素吸着をし た破片あり。
50	土師器 罎	①西部と中央 部 ②床直	残 ほぼ完形 口 16.5 底 6.8 高 23.0	①1mm前後の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③にぶい褐	口縁部横ナデ。胴部外面一部にヘラ磨り、 ヘラナデ。内面はていねいなナデ、ヘラナ デ。	
51	土師器 罎	①伊内と南東 隅寄りと南 東部 ②床直	残 ほぼ完形 口 13.3 底 6.8 高 23.5	①1~2mmの砂粒、軽石を含む。 ②酸化・硬質③にぶい黄褐色	外面口縁部横ナデ。胴部胴部近くは刷毛目、 以下はヘラ磨き。内面はヘラ磨き。	
52	土師器 台付罎 (単口縁)	①中央部北寄 りと中央部 東寄りと東 部 ②+16	残 脚台部欠 損 口 12.4	①1mm前後の砂粒を少量含む。 ②酸化・軟質③にぶい黄褐色	口縁部は横ナデ。胴部外面は口縁台付罎(S 字状)と同様の工具の刷毛目。胴部内面はナ デ。	外面火熱の ため茶色、 実質。

3区29号住居

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
53	土器器 台付壺 (単口縁)	①東部 ②+20	残 胴部一部 欠損 口 12.5 底 8.4 高 21.1	①1~2mmの砂粒を含む。②酸化・硬質③に白い橙	外面、口縁部から胴部上半に刷毛目。胴部下半はへら磨き。脚台部はへらナデ。内面口縁部は刷毛目。胴部はへら削り、へらナデ。	
54	土器器 台付壺 (単口縁)	①伊瀬と中央 部北寄り と中央部東寄 り ②+16	残 口縁部 1/3欠損 胴部一部 欠損 口 12.0 底 7.9 高 21.7	①1mm以下の砂粒を少量含む。②酸化・硬質③に白い橙	口縁部横ナデ。胴部は下位をナデ、その他は非常に細い刷毛目を施す。脚台部もナデ。	
55	土器器 台付壺 (折り返し口縁)	①伊瀬と中央 部西寄り ②+5	残 口縁部 2/3欠損 口 (12.3) 底 8.6 高 18.3	①1~2mm前後の砂粒と鉱物粒を含む。②酸化・硬質③に白い橙	外面、口縁部は指頭で押さえるようなナデ。胴部は一部に刷毛目を残すが大半は磨き。脚台部はナデ。内面、胴部は刷毛目、磨き。	外面、炭化物付着。
56	土器器 台付壺 (単口縁)	①南部と南壁 寄り ②+9	残 口縁部 1/3欠損 口 (14.5) 底 9.1 高 20.9	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③に白い橙	胴部外面は粗粒な磨き。内面は上半に刷毛目、下半にナデを施す。	内面刺摩著しい。
57	土器器 台付壺 (単口縁)	①南部と北東 隅寄り ②+5	残 2/3 口 13.0 底 (8.9) 高 23.2	①1mm前後の砂粒、赤色粘土粒を含む。②酸化・硬質③に白い黄橙	外面は口縁部に刷毛目、胴部に刷毛目後粗粒な磨きを重ねる。内面は口縁部から胴部中位まで刷毛目、下位はナデ。	外面、炭化物付着。
58	土器器 台付壺 (単口縁)	①中央部と貯 蔵穴内 ②+9.5と貯 蔵穴内と3 区29号住居 土	残 口縁部 1/2欠損 口 (16.3) 底 9.4 高 32.7	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③に白い黄橙	外面は口縁部が横ナデ。胴部は上位から中位に刷毛目を施し、一部はナデを重ねる。下位はナデ。内面は胴部中位がへらナデ後指押さえ。下位は刷毛目。	刷毛目は5mm幅に9~10本。
59	土器器 台付壺 (単口縁)	①南壁寄り と東部 ②+11.5	残 脚台部 1/2欠損 口 14.1 底 10.2 高 32.0	①1mm以下の砂粒、白色鉱物粒を含む。②酸化・硬質③淡黄・暗灰黄	外面は口縁部が横ナデ。胴部は上半に刷毛目後磨きを施す。下半は刷毛目。内面は口縁部に刷毛目、胴部にへらナデ。内面、胴部最下位には砂粒を多く含む粘土を貼り付けている。	
60	土器器 台付壺 (単口縁)	①埋設土	残 脚台部欠 損 他1/2 口 (18.8)	①1mm前後の砂粒、赤色粘土粒を含む。②酸化・硬質③に白い橙	口縁部は横ナデを施すが刷毛目残す。胴部外面は刷毛目。内面は中位までへらナデ。下位は刷毛目の上磨く。	外面、やや磨減している。
61	土器器 台付壺 (単口縁)	①中央部と中 央部西寄り と西部と東 壁寄り ②+8と貯蔵 穴内	残 脚台部欠 損 口縁部 1/3 胴部3/4 口 (18.4)	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③(外)黒褐、(内)に白い黄	口縁部は横ナデ。胴部外面は刷毛目、中位から下位にかけては磨きを重ねる。内面は下位に刷毛目を残す。	
62	土器器 台付壺 (腰S字 口縁)	①西部と中央 部と中央部 東寄り ②+7	残 口縁部一 部 胴部2/3 口 15.4	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③に白い橙	口縁部は横ナデ。胴部外面はほぼ全面に磨きを施すが、上半部には刷毛目を残す部分も多い。内面はナデ。上位は一部磨きを重ねる。	外面、炭化物付着。2片より図上復元。
63	土器器 台付壺 (腰S字 口縁)	①埋設土	残 口縁一胴 部上位破 片 口 (13.8)	①黒色鉱物粒を多く含む。②酸化・硬質③に白い黄橙	口縁部は横ナデ。胴部は頸部に刷毛目を残す他は磨きを施す。胴部内面はへらナデ。一部磨き。	

No.	土器種類	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
64	土器器 台付壺	①貯蔵穴内と 中央部西寄り と南東隅 寄り ②貯蔵穴内と 床直	残 脚上位～ 脚上部 1/3 底 (9.4)	①1～2mmの砂粒・軽石を含む。 ②酸化・硬質③にぶい橙	胴部外面は粗雑な磨き。脚上部外面には刷毛目が施される。内面は刷毛目、磨き。	
65	土器器 台付壺 (S字状 口縁)	①埋没土	残 口縁～胴 部上位破 片 口 (15.0)	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・軟質③(外)褐色、(内)にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は刷毛目。内面は指頭による押さえ、ヘラナデ。	外面、炭化物付着。
66	土器器 台付壺	①南部と中央 部南寄り と中央部西寄 り ②床直	残 脚下部～ 脚上部 底 (8.6)	①1mm以下の砂粒、白色鉱物粒。 ②酸化・硬質③にぶい橙	胴部外面は磨き。内面は刷毛目。脚上部外面は刷毛目を一部に施す。内面は刷毛目。	脚上部内面の天井部に砂を貼付する。
67	土器器 台付壺	①北壁際 ②+7	残 脚上部 底 5.9	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③にぶい橙	脚上部外面指ナデ、内面横方向の指ナデ。	全体に差なつくりである。
68	土器器 台付壺	①貯蔵穴内	残 脚上部 底 7.0	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③にぶい橙	脚上部外面ヘラナデに近いヘラ削り。ヘラを強く押しつけている。脚上部内面下端の折り返し部分ヘラ削り。	
69	土器器 台付壺 (S字状 口縁)	①埋没土	残 口縁～胴 部上位 1/3 口 (14.4)	①2mm前後の砂粒・軽石を含む。 ②酸化・軟質③明赤褐	口縁部横ナデ。胴部外面は刷毛目を施すが、一部にナデ調整の面を残す。	外面、炭化物付着。
70	土器器 台付壺 (S字状 口縁)	①埋没土	残 口縁～胴 部上位破 片 口 (14.0)	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・軟質③黄橙	口縁部横ナデ。胴部外面は刷毛目を施す。	細かい単位 の刷毛目が 使用されて いる。
71	土器器 台付壺 (S字状 口縁)	①埋没土	残 口縁～胴 部下位 2/3 口 (9.7)	①鉱物粒を含む。②酸化・軟質 ③にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は刷毛目。内面は指頭あるいはヘラによるナデ。	
72	土器器 杯	①貯蔵穴内	残 1/4 口 (11.5) 高 4.1	①2～3mmの赤色粒を少量含む。 ②酸化・硬質③明赤褐	底部外面ヘラ削り。多くの砂粒が目立つ。口唇部はやや内傾し、中央部が凹状となっている。	混入品と考 えられる。

3区31号住居 (第78図、P.L.40)

No.	土器種類	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土器器 手捏ね	①埋没土	残 1/4 口 (9.6) 底 (5.4) 高 3.7	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③にぶい橙	内外面ともナデ、磨きを施すが一部に刷毛目が残る。	
2	土器器 鉢	①埋没土	残 口縁～体 部破片 口 (15.0)	①精選。②酸化・硬質③明赤褐	内外面ともいいいな磨きを施す。	
3	土器器 有孔鉢	①埋没土	残 底部破片 底 (5.5)	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③にぶい橙	焼成前の穿孔が4箇所確認できる。	
4	土器器 鉢	①埋没土	残 口縁～体 部破片 口 (16.2)	①1mm以下の鉱物粒を含む。②酸化・硬質③にぶい橙	口縁部外面の先端のみ横ナデ。他は内外面とも磨きを施す。	内面は器面 が粗れて いる。
5	土器器 壺	①埋没土	残 底部破片 底 (8.6)	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③にぶい橙	内外面ともナデを施す。	

No.	器種	残存状況	材質	計測値				特徴	出土状況 ①平面 ②垂直
				全長 (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)		
6	打製石斧	残 完形	珪質粘板岩	11.4	5.4	0.6	73	撥形に近い形状である。使用のためか、下半は表面とも剝離面が著しく磨耗している。	①埋没土

3区32号住居 (第80回、P L 40)

No.	土器種別 器種	出土状態 ①平面 ②垂直	残存状況 法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土器器 高 杯	①埋没土	残 杯部1/2 口 (24.8)	①1mm以下の砂粒、灰物粒を含む。②酸化・硬質③明赤褐	杯部は内外面ともいねいなナデ後、粗雑な磨きを施す。	
2	土器器 罎	①柱穴2内	残 口縁～体 部上位 1/3 口 (14.2)	①精選。②酸化・硬質③明褐	口縁部の内外面、体部外面は磨き。体部内面はナデ。	
3	土器器 壺	①埋没土	残 口縁部 3/4 口 13.7	①1mm前後の砂粒・赤色粘土粒を含む。②酸化・硬質③明赤褐	内外面とも先端に横ナデを施す。	器面、磨耗している。
4	土器器 有孔鉢	①埋没土	残 胴下位～ 底部 底 4.4	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③いり黄橙	外面下位にへら削り。他はナデ。内面もナデ。	底面の孔は下端で直径2.8×2.5cm 外面に赤色塗彩の可能性あり。
5	土器器 壺	①中央部両寄り	残 口縁部上 位欠損 底 4.0	①1～2mmの砂粒を多く含む。②酸化・硬質③いり黄橙	口縁部の内外面、胴部外面は磨き。胴部内面はナデ。	
6	土器器 壺 (折り返し口縁)	①中央部両寄り ②+7	残 ほぼ完形 口 16.2 底 8.3 高 30.9	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③いり黄橙	外面は口縁部下平にナデ、胴部下位の一部にへら削り。他は磨き。内面は口縁部が磨き。胴部は上半が指ナデ。下半がナデ。	底部外面、砂底。
7	土器器 壺	①埋没土	残 胴中位～ 底部1/2 底 (6.4)	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③いり黄橙	外面は最下位を除き磨き。内面はいねいなナデ。	

3区33号住居 (第84～87回、P L 40・41)

No.	土器種別 器種	出土状態 ①平面 ②垂直	残存状況 法量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土器器 手捏ね	①東部 ②+8.5	残 口縁部 1/3欠損 他完形 口 5.4 底 3.9 高 3.2	①1mm以下の砂粒を多く含む。②酸化・硬質③いり黄橙	内外面とも指による成形および整形。	全体に歪んでおり不整形。外面に布目痕あり。平縁。
2	土器器 手捏ね	①埋没土	残 1/2 口 (8.2) 底 3.0 高 3.9	①密、1mm以下の砂粒を少量含む。②酸化・硬質③いり赤褐	外面ナデ、一部へら磨き。内面の一部へら磨き。	全体に歪んでいる。
3	土器器 手捏ね	①中央部両寄り	残 1/2 口 (8.3) 底 4.7	①密、1mm以下の砂粒を少量含む。②酸化・硬質③いり黄橙	口縁部外面、目の細かい刷毛目。内面ナデ。	
4	土器器 鉢	①南西隅 ②+5	残 1/3 口 (9.6) 底 3.2 高 4.2	①砂粒を少量。②酸化・硬質③浅黄橙	底部外面のへら削りを除き、内外面とも器面を磨いている。	

No.	土器類別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②構成 ③色調	成・整形の特徴	備考
5	土師器 鉢	①北壁寄り ②+10	残 口縁部 3/4 口 14.6 底 3.0 高 4.0	①砂粒含む。②酸化・硬質③に よい黄橙	内外面ともいいいなナダ、磨き。	
6	土師器 高 杯	①埋没土	残 1/2 口 (18.8)	①砂粒、軽石を含む。②酸化・ 硬質③によい黄橙	口縁部は上半を横ナダ。下半をナダ。底部 外面はヘラ削り。	内面割離。 火熱を受け ている。
7	土師器 鉢	①北壁端と北 部と中央部 北寄り ②床直	残 口縁～体 部1/3 口 (20.0)	①1mm以下の砂粒を多く、赤色 粒を少量含む。②酸化・硬質③ によい橙	体部外面へラ磨き。頸部から口縁部刷毛目。 口縁部内面刷毛目。体部内面へラ磨き。	ていねいな つくりであ る。
8	土師器 有孔鉢	①中央部と中 央部北寄り と中央部西 寄り ②床直	残 3/4 口 15.9 底 2.9 高 7.5	①1mm弱の鉱物粒多数。②酸化・ 軟質③によい黄橙	外面は粗雑なヘラナダ。内面は横方向の刷 毛目。底部の孔は径1.2cm。	外面やや磨 減。火熱の ためか。
9	土師器 器 台	①埋没土	残 完形 口 9.8 底 8.7 高 8.3	①1mm以下の砂粒、赤色粘土粒 を含む。②酸化・硬質③によい 黄橙	受部は内外面とも横ナダ、ナダ。脚部外面 には刷毛目。内面はヘラナダ。	
10	土師器 壺 (二重 口縁)	①北部と北西 隅寄り ②床直	残 口縁部 口 21.7	①2mm前後の砂粒、赤色粘土粒 を含む。②酸化・硬質③によい 橙	外面口縁部先端はナダ。上段は刷毛目、下 段は刷毛目後ナダ。内面は上段に刷毛目、 下段にナダ後へラ磨き。	
11	土師器 器 台	①中央部東寄 り ②+20	残 台部 底 12.0	①1mm以下の砂粒を多く含む。 角閃石粒を含む。②酸化・硬質 ③によい橙	脚部外面へラ磨き。上端は頸部との接合の ために杓状になる。脚部内面下半、目の細 かい刷毛目。	孔は上下2 段で、位置 をずらし6 個穿孔され ている。
12	土師器 壺 (二重 口縁)	①中央部 ②床直	残 口縁部 1/2 口 (19.6)	①0.5～1mmの白色粒を多く、赤 色粒を少量含む。②酸化・硬質 ③によい橙	内外面とも目の細かい刷毛目により整形。内 面の一部に磨きあり。	
13	土師器 壺	①北壁際 ②+7	残 胴～底部 1/4 底 (7.9)	①1～2mmの砂粒、赤色粘土粒 を含む。②酸化・硬質③によい 黄橙	外面はへラ磨き。内面は上半が刷毛目。下 半が刷毛目後やや粗雑なヘラ磨き。砂底。	底部外面、 砂底。
14	土師器 埴 壇	①埋没土	残 体～底部 1/3	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③によい橙	体部外面下半へラ削り。上半の一部刷毛目。 体部内面ナダにて器表面磨。	
15	土師器 埴 壇	①埋没土	残 体～底部 底 2.4	①角閃石粒を多く含む。②酸化・ 硬質③によい黄橙	体部下半へラ削り。底部凹状。胴部外面わ ずかに刷毛目。内面ナダ。内面底部にヘラ の痕跡あり。	
16	土師器 台付壺	①中央部と中 央部東寄り ②床直	残 胴下位～ 脚台部 1/3 底 8.3	①1mm以下の砂粒を大量に含 む。②酸化・硬質③によい橙	脚台部内外面目の細かい刷毛目。胴部外面 ナダ。内面は磨表面が粗れている。	台付壺(単 口縁)と思 われる。
17	土師器 台付壺 (単口縁)	①中央部東寄 り ②+4	残 口縁～胴 部下位 1/3 口 (13.4)	①1mm前後の砂粒を少量含む。 ②酸化・硬質③によい赤褐	口縁部は横ナダ。内面には刷毛目。胴部外 面は刷毛目を消すようにナダ、磨き。内面 はいいいなナダ。	
18	土師器 壺	①埋没土	残 口縁～胴 部下位 1/2 口 (13.8)	①鉱物粒、1mmの軽石を含む。 ②酸化・硬質③明赤褐	口縁部外面はナダ後磨き。胴部外面は上 位から中位はナダ後磨き。下位にへラ削り を残す。	器面はやや 磨減してい る。
19	土師器 埴 壇	①埋没土	残 口縁～体 部中位 1/3 口 (8.6)	①1mm前後の砂粒を少量含む。 ②酸化・硬質③によい赤褐	外面はナダにて、ヘラナダやヘラ磨き等な し。内面ナダ。接合痕あり。	

No.	土師種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
20	土師器 台付壺	①埋没土	残 胴部1/3	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③にぶい橙	胴部下半弱いヘラ削り、上半ナデ。内面にヘラの工具痕多くあり。	
21	土師器 台付壺	①中央部と東部 ②+4	残 胴上部 1/2 底 (9.3)	①1mm以下の白色粒を多く含む。 ②酸化・硬質③浅黄	胴台部外面ナデ後、ヘラ磨き。内面下半刷毛目。上半に多くの砂を含んだ粘土が付着。	
22	土師器 台付壺	①埋没土	残 胴上部 1/2 底 (10.8)	①1mm以下の白色粒を大量に含む。 ②酸化・硬質③にぶい黄橙	胴台部外面刷毛目の後に、縦方向のヘラナデ(磨きとはなっていない)。内面刷毛目。内面上端に砂粘土。	全体に粗ら く雑なつくりである。
23	土師器 壺	①柱穴3箇所と柱穴内と埋没土	残 口縁部欠損 10.4	①1～2mm前後の砂粒、軽石を含む。 ②酸化・硬質③にぶい黄橙	外面は最上位に刷毛目。以下はヘラナデ。一部にヘラ削り。内面は割縁が著しいが、ヘラナデを施すと思われる。	
24	土師器 台付壺 (単口縁)	①南寄り ②南寄りと中央部 ③南寄りと中央部	残 2/3 口 (13.2) 底 7.7 高 23.4	①1mm以下の砂粒を少量含む。 ②酸化・硬質③にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面はていねいなナデ。内面もヘラナデ。	
25	土師器 台付壺	①北西と東部と南部と中央部と中央部北寄り ②床直	残 胴部2/3	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③暗赤褐	胴部外面目の細かい刷毛目。内面上位刷毛目、中位ナデ。胴部下半と中位の接合面付近刷毛目。	
26	土師器 壺	①北西隅と中央部北西寄り ②+10	残 口縁～胴部上位 1/2 口 (14.1)	①1mm前後の砂粒を含む。 ②酸化・硬質③明赤褐	外面は口縁部が横ナデ。胴部は刷毛目の上に粗雑な磨きを加える。胴部内面はていねいなヘラナデ。	外面、炭化物付着。
27	土師器 壺	①埋没土	残 口縁～胴部破片 口 (13.1)	①1mm前後の砂粒を少量、1mm以下の砂粒多く含む。 ②酸化・硬質③明赤褐	胴部外面ヘラ磨き。口縁部外面刷毛目。内面磨き。	
28	土師器 壺	①埋没土	残 2/3 口 (14.2) 底 8.1 高 35.8	①1mm前後の砂粒、軽石を含む。 ②酸化・硬質③にぶい橙	口縁部は横ナデ。胴部内外面は下位の接合部分にヘラ削りを施す他、ていねいなナデ、ヘラナデを行っている。	
29	土師器 壺	①埋没土	残 口縁～胴部破片 口 (18.4)	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③明赤褐	胴部外面ヘラナデ、内面ナデにて器表面密。	
30	土師器 壺	①埋没土	残 口縁～胴部上位 1/3 口 (18.4)	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③にぶい橙	胴部外面ヘラナデ。砂粒がわずかに存続。口縁部ナデ。内面ヘラナデにて器表面密。	胴部下半の器表面が内外面とも粗れている。
31	土師器 壺	①埋没土	残 口縁～胴部中位 1/2 口 18.7	①1mm前後の砂粒、赤色粘土粒を含む。 ②酸化・硬質③にぶい橙	口縁部は内外面とも横ナデ。胴部外面は上半がていねいなナデ。下半に弱いヘラ削りを施す。	
32	土師器 壺	①埋没土	残 口縁～胴部上半 1/2 口 (17.8)	①1～2mmの砂粒を少量含む。 ②酸化・硬質③にぶい黄橙	胴部外面指ナデ。胴部外面粘土を追加して指ナデ。口縁部横ナデ。胴部内面ヘラナデ。	内外面とも器表面密。炭化物付着。
33	土師器 壺	①埋没土	残 口縁～胴部下位 1/2 口 (16.0)	①1mm以下の砂粒を含む。 ②酸化・硬質③明赤褐	外面は口縁部から胴部上位が横ナデ。以下はヘラナデ。胴部内面もヘラナデ。	外面の一部火熱を受け変色。
34	土師器 壺	①中央部と中央部北寄りと東部 ②床直	残 ほぼ完整 口 15.4 底 6.6 高 23.4	①1mm前後の砂粒を含む。 ②酸化・硬質③明赤褐	口縁部横ナデ。胴部外面は二種類の刷毛目。中位はナデ。ヘラ磨きを重ねる。内面は刷毛目とヘラナデ。	外面、炭化物付着。
35	土師器 壺	①柱穴3箇所 ②柱穴内と埋没土	残 底部欠損 口 19.2	①1mm前後の砂粒、5mm前後の赤色粘土粒を含む。 ②酸化・硬質③明赤褐	口縁部横ナデ。胴部外面上位、刷毛目。中位以下はヘラ削り。一部にヘラ磨きを重ねる。内面上半はヘラ削り、下半は刷毛目。	外面、火熱を受け器面変色。

No.	土器類別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調				成 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
				計	測	値			
36	土器器 壺	①埋没土	残 底部 底 (7.1)	① 1～3mmの砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③にふい橙	① 1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・軟質③にふい橙	① 1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・軟質③にふい橙	胴部外面ナデ。接合痕あり。その部分に刷毛目。内面全面に深い刷毛目。 肩部刷毛目。胴部内面に指頭圧痕。	外面、炭化物付着。	
37	土器器 台付壺 (S字状 口縁)	①北西隅 ②床直	残 口縁部完 形 口 12.2						
38	土器器 台付壺 (S字状 口縁)	①中央部と中 央部西寄り ②+4.5	残 脚台部 3/4 底 10.2	① 1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・軟質③にふい橙	① 1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・軟質③にふい橙	① 1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・軟質③にふい橙	脚台部外面刷毛目。内面上端砂粒土、上半指頭圧痕、下端折り返し。		
39	土器器 台付壺 (S字状 口縁)	①中央部北寄 り ②床直	残 脚台部 1/2 底 (10.4)						
40	土器器 台付壺 (S字状 口縁)	①中央部南寄 り ②+18	残 脚台部 1/2 底 9.2	① 1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・軟質③にふい褐	① 1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・軟質③にふい褐	① 1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・軟質③にふい褐	脚台部外面刷毛目。内面上端に特に砂を多く含む粘土はない。上半指ナデ、下端折り返し。		
41	土器器 壺	①東部 ②+17	残 胴部下位 ～底部 底 10.0						
No.	器 種	残存状況	材 質	全長 (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特 徴	出土状況 ① 平面 ② 垂直
42	砥石	残 完形	粗粒輝石 安山岩	43.4	15.6～ 24.0	13.0	14,150	偏平な礫であるが、表面面に長軸に平行して幅3～4cmの使用面が矩形状に認められる。表面には直径8.5cmの凹状の窪みが磨面としてある。深さ1mmほどの刃傷状の磨痕も見られる。	①中央部東寄り ②+5.5

3区35号住居 (第88図)

No.	土器類別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調				成 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
				計	測	値			
1	土器器 埴	①北部	残 底部3/4	① 1mm以下の砂粒を少量含む。 ②酸化・硬質③にふい橙	① 1mm以下の砂粒を少量含む。 ②酸化・硬質③にふい橙	① 1mm以下の砂粒を少量含む。 ②酸化・硬質③にふい橙	内外面ともていねいな磨きを施す。		
2	土器器 壺	①中央部 ②床直	残 口縁～胴 部上位 1/2 口 (10.0)						
3	土器器 台付壺 (S字状 口縁)	①北部 ②床直	残 口縁～胴 部上位破 片 口 (15.2)	① 1mm以下の砂粒を含む。②酸化・軟質③灰黄褐	① 1mm以下の砂粒を含む。②酸化・軟質③灰黄褐	① 1mm以下の砂粒を含む。②酸化・軟質③灰黄褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は刷毛目。内面は指ナデ、ナデ。	口縁部外面に炭化物付着。	

3区36号住居 (第90～92図、P.L42～43)

No.	土器類別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調				成 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
				計	測	値			
1	土器器 ミニチュ ア	①中央部東寄 り ②+4.5	残 はば完形 底 8.6 口 4.9 高 8.9	① 1mm前後の砂粒・紅石を少量含む。②酸化・硬質③にふい橙・暗褐	① 1mm前後の砂粒を少量含む。②酸化・硬質③にふい橙・暗褐	① 1mm前後の砂粒を少量含む。②酸化・硬質③にふい橙・暗褐	口縁部は内外面とも磨き。胴部外面は上半が磨き、下半がナデ。内面はヘラナデ。		

3区36号住居

No.	土器種類	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
2	土器 鉢	①中央部東寄り と南東部 ②+8.5	残 1/2 口 (12.9) 底 3.6 高 5.4	①1mm前後の砂粒を少量含む。 ②酸化・硬質③に よい黄橙	内外面とも磨きを重ねる。砂底。	底部外面、 砂底。
3	土器 鉢	①中央部 ②+6	残 完形 口 13.9 底 3.2 高 6.6	①1mm前後の砂粒、鉱物粒を 含む。②酸化・硬質③に よい黄橙	内外面とも磨きを重ねる。	
4	土器 鉢	①中央部 ②+5	残 ほぼ完形 口 17.8 底 4.8 高 8.3	①1mm以下の砂粒、鉱物粒を 含む。②酸化・硬質③に よい黄橙	口縁部は横ナデ後磨き。胴部外面は磨き。胴部のくびれに刷毛目を残す。	外面の一部 に炭素附着 底部外面、 砂底。
5	土器 器台	①中央部 ②味直	残 脚部下半 欠損 口 7.8	①1mm以下の砂粒、鉱物粒を 含む。②酸化・硬質③に よい橙	受部外面は上半が横ナデ、下半が刷毛目。脚部外面は上半に刷毛目、下半にヘラナデ。内面はヘラケズリ。	透孔3孔。
6	土器 器台	①埋没土	残 杯部2/3 脚部一部 欠損 口 (8.4) 底 10.3 高 7.7	①1mm前後の砂粒を含む。② 酸化・硬質③に よい黄橙・明 赤褐	受部内外面、脚部外面は磨き。脚部内面はナデ、胴部に刷毛目を施す。	透孔は上下 2段合計6 個。
7	土器 壺	①北西部 ②+5.5	残 口縁-胴 部上位 口 (12.1)	①1～2mmの砂粒、軽石を含 む。②酸化・硬質③に よい橙	口縁部外面はナデ、横ナデ。内面は刷毛目に一部磨き。胴部外面は磨き。内面は刷毛目。	
8	土器 高杯	①東部 ②+6	残 杯部 口 11.0	①1mm前後の砂粒を含む。② 酸化・硬質③褐	口縁部の外面先端を除き、内外面ともきれいに磨いている。	
9	土器 直口壺	①中央部 ②+4	残 口縁部 1/2欠損 口 (12.6) 高 14.5	①1mm以下の砂粒、黒色鉱物 粒を含む。②酸化・硬質③明 赤褐	内面口縁部ヘラ磨き。胴部ヘラナデ。	外面刺磨。
10	土器 壺	①中央部東寄 り ②味直	残 口縁-胴 部上半 1/3 口 (13.3)	①1mm以下の砂粒を含む。② 酸化・硬質③に よい橙・明赤 褐	外面は一部に刷毛目を残すが磨きを施す。口縁部内面は磨き。胴部内面はヘラナデ。	
11	土器 直口壺	①中央部と中 央部東寄 りと東部と南 東部 ②+8	残 ほぼ完形 口 13.7 高 19.5	①1mm以下の砂粒を少量含 む。②酸化・硬質③に よい橙	外面全てヘラ磨き。内面口縁部ヘラ磨き。胴部ていねいなナデ。	
12	土器 壺	①中央部東寄 り ②味直	残 口縁-底 部2/3 口 11.5 高 15.8	①1mm以下の砂粒を含む。緑 泥片岩も含む。②酸化・硬質 ③明赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
13	土器 壺	①中央部と中 央部南寄り ②味直	残 ほぼ完形 口 8.8 底 4.2 高 9.6	①1mm以下の砂粒、鉱物粒を 含む。②酸化・硬質③に よい橙	口縁部横ナデ。胴部外面は最下位をヘラナデ。他は磨き。胴部内面はヘラナデ。	
14	土器 有孔鉢	①柱穴2内と 中央部と中 央部南寄り ②+3.5と柱 穴内	残 ほぼ完形 口 14.5 底 3.4 高 6.9	①1mm前後の砂粒・赤色粘土 粒。2mm以上の軽石。②酸化 ・硬質③に よい橙	外面、口縁部はヘラ削り。以下磨き。底部はナデ。内面は刷毛目後粗雑な磨き。	底部小孔。
15	土器 壺	①南部 ②+14	残 1/2 口 (9.4) 底 2.9 高 9.2	①1mm前後の砂粒、軽石を含 む。②酸化・硬質③に よい橙	口縁部横ナデ。胴部外面は粗雑な磨き。内面はナデに一部磨きを重ねる。	
16	土器 壺	①中央部 ②+9.5	残 口縁部 1/2 口 (14.7)	①1mm以下の砂粒を含む。② 酸化・硬質③に よい褐	外面は頸部に刷毛目を残す他はナデ、磨き。内面は口縁部に刷毛目、胴部にナデを施す。	

No.	土器類別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
17	土師器 壺	①中央部 ②床直	残 3/4 口 14.4 底 6.8 高 22.3	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③明赤褐・ぶい橙	外面、口縁部から胴部上位には刷毛目。胴部の中位以下はへら磨き。内面は全面、ていねいなナデ。	底部外面、砂底。
18	土師器 広口壺	①中央部南寄り ②床直	残 ほぼ完形 口 15.0 底 6.3 高 18.5	①1～2mmの砂粒を少量含む。②酸化・硬質③明赤褐	口縁部は上半を横ナデ、下半は内外面とも刷毛目を残す。胴部外面は粗雑な磨き。内面はナデ。	底部外面、砂底。
19	土師器 壺	①東部 ②+4	残 口縁～底部2/3 口 14.1 底 7.5 高 22.8	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③ぶい橙	口縁部は上半を横ナデ、下半を刷毛目。胴部は外面を粗雑なへら磨き。内面へらナデ。	器形は著しく歪んでいる。破砕後、炭素吸着。底部外面、砂底。
20	土師器 壺	①南東部と中央部と中央部東寄り ②+8	残 胴部一部欠損 口 17.0 底 9.3 高 27.9	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③ぶい橙	外面は胴部上位に刷毛目を残す他は、ナデを施す。内面もへら削り、ナデ。	器面、やや磨滅している。破砕後、炭素吸着。底部外面、砂底。
21	土師器 壺	①中央部 ②+4	残 4/5 口 14.3 底 6.9 高 24.6	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③ぶい橙	外面口縁部横ナデ。頸部に刷毛目を残すが、以下はへら磨き。内面口縁部は刷毛目、以下はナデ。	破砕後、炭素吸着。底部外面、砂底。
22	土師器 台付壺 (折り返し口縁)	①貯蔵穴内	残 脚台部分損 口 14.5	①1mm前後の砂粒、白色鉱物粒を含む。②酸化・硬質③ぶい橙	外面口縁部、ナデ、刷毛目。胴部刷毛目にナデ、へら磨きを重ねる。内面口縁部は刷毛目に、一部へら磨き。胴部は刷毛目。	
23	土師器 台付壺 (凝S字口縁)	①柱穴2内と南東部と中央部東寄り ②+6.5と柱穴内	残 ほぼ完形 口 14.8 底 9.2 高 24.1	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③ぶい黄橙	口縁部外面横ナデ。内面は磨き。胴部外面は粗雑な磨き。内面はていねいなナデ。胴部内面の最下部、脚台部内面の最上位に砂粒を多く含む粘土を貼付。	
24	土師器 台付壺 ②+5	①東部	残 脚台部 底 9.2	①1mm以下の砂粒多い。②酸化・硬質③ぶい黄橙	脚台部の内外面とも刷毛目を残す。脚台部内面に砂粒を多く含む粘土を貼付。	
25	土師器 台付壺	①南部 ②+15	残 脚台部 底 9.4	①1～2mmの砂粒を含む。②酸化・硬質③ぶい橙	脚台部外面はていねいなナデ、磨き。内面は刷毛目、ナデ。脚台部内面を砂粒を多く含む粘土を貼付。	
26	土師器 台付壺 (S字状口縁)	①中央部東寄りと東部 ②床直	残 口縁～脚台部上位 胴部一部欠損 口 11.9	①1mm以下の砂粒を多く含む。②酸化・軟質③灰黄褐	口縁部横ナデ。胴部外面は刷毛目。内面は上位近くまでへらナデを施す。	
27	土師器 台付壺 (S字状口縁)	①中央部 ②床直	残 脚台部欠損 口 14.1	①1～2mmの砂粒を含む。②酸化・軟質③褐灰・明赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は刷毛目。内面は上位から中位が指ナデ、指押さえ。下位はへらナデ。	破砕後、炭素吸着と思われる。
28	土師器 台付壺 (S字状口縁)	①中央部東寄り ②床直	残 口縁～胴部上位 1/3 口 (12.0)	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・軟質③灰黄褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は刷毛目。内面は指押さえ、ナデ。	外面、炭化物付着。
29	土師器 台付壺 (S字状口縁)	①東部 ②+7	残 脚台部 底 (8.6)	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・軟質③ぶい黄橙	胴部外面はへら削りか。脚台部外面は刷毛目後指ナデ。	

3区36・38・39・40号住居

No.	土器種類 器種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
30	土師器 台付壺 (S字状 口縁)	①中央部と柱 穴1期 ②+4	残 口縁~割 部一部欠 損 口 14.8 底 9.9 高 27.9	①1mm以下の砂粒、鉱物を含 む。②酸化・軟質③浅黄	口縁部は横ナデ。胴部外面は刷毛目。内面は 指頭による押さえ、ナデ、ヘラナデ。	
31	土師器 台付壺 (S字状 口縁)	①東部と東壁 寄り ②+12	残 ほぼ完形 口 14.2 底 10.3 高 29.4	①1mm前後の砂粒・軽石。② 酸化・軟質③よい黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は刷毛目。内面は 下半にヘラナデ、中位から上位に指頭による ナデ、押さえが施される。	

3区38号住居 (第94図)

No.	土器種類 器種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土師器 壺 (折り返 し口縁)	①埋没土	残 口縁部破 片 口 (16.4)	①1mm以下の黒色鉱物を含 む。②酸化・硬質③よい橙	口縁部は折り返し口縁。内外面とも横ナデ。 内面はこれに横方向の磨きを重ねる。	
2	土師器 台付壺 (S字状 口縁)	①埋没土	残 胴上部破 片 底 (8.0)	①1mm以下の砂粒少量含む。 ②酸化・軟質③よい黄橙	外面一部に刷毛目がみられる。内面はナデ。	

3区39号住居 (第95図)

No.	土器種類 器種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土師器 高杯	①南壁寄り ②+8	残 杯部破片	①1mm前後の砂粒を含む。② 酸化・硬質③よい黄橙	内外面ともていねいな刷毛目を充満する。	
2	土師器 壺	①埋没土	残 胴部下位 底部完形 底 5.8	①1mm以下の砂粒を含む。② 酸化・硬質③よい褐	胴部外面はヘラ削り。内面はヘラナデ。	

3区40号住居 (第100~105図、P L 44~47)

No.	土器種類 器種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土師器 埴	①西壁際 ②+5.5	残 完形 口 6.9 高 4.2	①精選、鉱物粒を散見。②酸 化・硬質③よい黄橙	内外面ともていねいに磨く。	
2	土師器 埴	①埋没土	残 1/4 口 (10.4) 高 5.3	①1mm前後の砂粒を含む。② 酸化・硬質③よい橙	外面、口縁部内面は磨き。胴部内面はナデ。	
3	土師器 鉢	①北東隅 ②床直	残 1/3 口 13.3	①精選、鉱物粒少量。②酸化 ・硬質③よい黄橙	内外面ともていねいに器面調整。その後各部 位とも斜方向の磨きを充満する。	
4	土師器 鉢	①南西隅 ②+3.5	残 2/3 口 (13.2)	①1mm以下の砂粒、鉱物粒を 含む。②酸化・硬質③(外) 明赤褐、(内)よい橙	外面は磨き。内面は口縁部は磨き。みこみ部 分はナデ。	外面、赤色 塗彩。内面 に砂粒を多 く含む粘土 を貼付した 痕跡あり、 補修痕か。

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 断面	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
5	土師器 鉢	①埋没土	残 口縁部 1/4欠損 口 10.0 底 4.0	①1mm以下の砂粒、軽石を含む。 ②酸化・硬質③よい橙	口縁部は横ナデ。以下は内外面とも磨き。	
6	土師器 鉢	①西部 ②+3.5	残 口縁部 1/4欠損 口 10.2 底 5.0 高 5.5	①1mm以下の砂粒・鉱物粒を含む。 ②酸化・硬質③よい橙	口縁部は横ナデ。胴部上半はナデ、下半はヘラ削り。胴部内面はナデ。	
7	土師器 鉢	①北壁際 ②床直	残 ほぼ完形 口 15.2 高 5.6	①1mm以下の砂粒・鉱物粒を含む。 ②酸化・硬質③明赤褐	内外面とも磨きを施す。	
8	土師器 鉢	①西部 ②+13.5	残 口縁部 1/4欠損 口 15.8 底 2.6 高 5.4	①2mm前後の軽石を少量含む。 ②酸化・硬質③明赤褐・赤	口縁部は横ナデ。外面は磨きを重ぬるか、体部はナデ。	
9	土師器 甕	①中央部西寄り と中央部 北寄り ②床直	残 1/2	①鉱物粒を含む。②酸化・硬質③よい橙	胴部外面は上半が刷毛目後ナデ。下半はヘラ削り。内面はナデ、ヘラ削り。	
10	土師器 鉢	①埋没土	残 1/5 口 (17.0)	①多くの赤色粒を含む。②酸化・硬質③明赤褐	体部外面〜口縁部内外面ヘラ磨き。体部内面ナデ。	
11	土師器 鉢	①埋没土	残 1/2 口 (17.0) 底 5.1 高 7.4	①1mm前後の石英、鉱物粒を含む。 ②酸化・硬質③明赤褐	口縁部先端を除き、内外面とも磨きを充満するが全体にやや粗面。	
12	土師器 甕	①西壁寄り ②床直	残 口縁部 1/2欠損 口 (10.9) 高 7.5	①1mm以下の砂粒、鉱物粒を含む。 ②酸化・硬質③よい黄橙	外面の口縁部上半は横ナデ。下半は刷毛目。胴部はていねいなナデ。	
13	土師器 甕	①北部 ②+7	残 ほぼ完形 口 19.1 底 6.4 高 12.5	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③明赤褐	内外面は底部も含めて全て磨きか施される。	器面、やや磨耗している。
14	土師器 高 杯	①埋没土	残 杯部1/2 口 (21.8)	①2mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③よい黄橙	口縁部上位、横ナデ、ナデ。基部はヘラ削り、ナデ。	内面、剥離顕著。
15	土師器 高 杯	①中央部西寄り と中央部 南寄り ②床直	残 杯部〜脚部 上位 1/2 口 11.1	①白色鉱物粒を含む。②酸化・硬質③灰黄褐	杯部内外面、脚部外面は磨き。脚部内面はナデ。	
16	土師器 直口壺	①中央部 ②床直	残 口縁部 1/6 胴部上半 3/4 口 (11.0)	①1mm前後の赤色粘土粒を含む。 ②酸化・硬質③よい橙	口縁部の内外面、胴部外面は磨き。胴部内面はナデ。指押さえ。	18と同一個体か。
17	土師器 器 台	①柱穴4内 ②床直	残 脚部 底 13.4	①1mm前後の砂粒、軽石を含む。 ②酸化・硬質③よい黄褐	外面は磨き。内面刷毛目を充満。	粘土の比重重い、外面、炭化物付着。
18	土師器 壺	①柱穴4内と 中央部と中 央部南寄り と中央部東 寄り ②床直	残 胴〜底部 1/2 底 3.1	①1mm以下の赤色粘土粒を含む。 ②酸化・硬質③よい橙	外面、ていねいな磨き。一部にヘラ削りを残す。内面はナデ。	16と同一個体の可能性が高い。

3区40号住居

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
19	土師器 直口壺	①埋没土	残 口縁部 1/4 胴部中位 破片 □ (18.1)	①1mm以下の砂粒、鉱物粒を含む。②酸化・硬質③浅黄	口縁部は内外面とも磨き、胴部は外面が磨き、内面がヘラナデ。	図上復元。
20	土師器 壺	①貯蔵穴部と柱穴3期 ②味直	残 頸～胴部 下位1/4 □	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③浅黄	口縁部は内外面とも磨き、胴部は外面を磨き、内面をナデ。	
21	土師器 壺	①北部と南部と中央部と中央部東寄りと中央部北寄り ②味直	残 口縁部 1/4 頸～胴部 下位3/4 □ (12.4)	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③明赤褐・にぶい橙	胴部は内外面とも磨きを施している。	口縁部は断面が磨耗。
22	土師器 壺 (二重口縁)	①中央部 ②味直	残 口縁部破片 □ (21.4)	①密、1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③(外)にぶい橙、(内)にぶい黄橙	外面の一部に刷毛目が残るが、ほぼ全面へう磨き。口唇部は平らに削られている。	炭化物が付着している。
23	土師器 壺 (折り返し口縁)	①東部 ②+6.5	残 口縁部 □ 14.4	①1mm以下の砂粒を少量含む。②酸化・硬質③淡黄橙	外面、口縁部の上半、横ナデ。下半から胴部はヘラナデ。内面は口縁部が磨き、胴部がヘラ削り。	器面、磨耗している。
24	土師器 壺	①西部 ②+18.5	残 口縁部欠損 高 4.0	①1～2mmの砂粒を含む。②酸化・硬質③明赤褐	外面は断面に刷毛目を残す他は磨き、胴部内面はナデ。	胴部下半に焼成前穿孔あり。
25	土師器 壺	①南壁寄り ②味直	残 口縁部欠損 高 4.5	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③にぶい橙	外面は粗雑なナデの上に磨きを施す。内面はていねいにナデを施す。	
26	土師器 壺	①北部と柱穴1内と貯蔵穴内 ②+7	残 口縁部 2/3 □ 16.1	①1mm以下の砂粒、鉱物粒を含む。②酸化・硬質③(外)にぶい橙、(内)にぶい黄橙	口縁部外面は上半を横ナデ。下半を刷毛目、内面も同様。	
27	土師器 壺	①柱穴4期と中央部西寄り ②味直	残 口縁～胴部上半 2/3 □ (15.6)	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③にぶい橙	口縁部は刷毛目後先端を横ナデ。胴部外面は刷毛目後、部分的にナデを重ねる。内面はヘラナデ。	
28	土師器 壺	①西部 ②+6	残 口縁部完形 胴部中位 1/2 □ 14.2	①1mm前後の砂粒を多く含む。②酸化・硬質③にぶい黄橙	口縁部外面は下半に刷毛目を残す。胴部外面は弱い刷毛目、ナデが混在する。内面はていねいなナデ。	
29	土師器 壺	①西壁際と西部と中央部西寄り ②+4	残 胴～底部 2/3 高 (6.5)	①2mm前後の砂粒、白色軽石を含む。②酸化・硬質③橙	外面、へう磨き。内面ヘラナデ。	器面、磨耗している。
30	土師器 壺	①中央部と北部と中央部西寄りと中央部南寄りと中央部北寄り ②味直	残 口縁部 1/8 胴～底部 ほぼ完形 高 5.9	①密、1mm以下の鉱物粒を含む。②酸化・硬質③明赤褐、にぶい橙	口縁部は下位に刷毛目を残し上位を横ナデ。胴部外面はていねいに磨く。	外面には赤色塗彩を施す。口縁部の先端が欠損した後も使用しつづけたか。
31	土師器 壺	①中央部西寄り ②+6	残 口縁～胴部上位破片 □ (15.2)	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③にぶい黄橙	口縁部外面、上半は横ナデ。下半には刷毛目、これに胴部から粗雑な磨きを重ねる。胴部外面も刷毛目に粗雑な磨きを重ねる。	火熱を受け器面焼剥になっている。

No.	土器類別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・形 状 の 特 徴	備 考
32	土師器 壺	①中央部と中央部西寄り ②+12.5と土坑内	残 胴部下半 1/3 底 (5.8)	①精選、氣物粒少量。②酸化・硬質③淡黄	外面刷毛目後ていぬいなナダ、磨き。内面粗かい単位刷毛目。	粘土紐の接合部分で欠損、二次利用の可能性もあるか。
33	土師器 壺	①西部と中央部西寄り ②+4	残 口縁～胴部上半 2/3 口 14.8	①密、1mm以下の氣物粒を含む。②酸化・硬質③ぶい橙	外面、ていぬいなへう磨き。内面、口縁部へう磨き。胴部はへらナダ。	
34	土師器 壺	①西部と中央部南寄り ②+7	残 胴部下部 1/2 底部完形 底 8.1	①1mm以下の砂粒を大量を含む。②酸化・硬質③赤褐	胴部外面中央刷毛目、下半ナダ。内面へらナダ。へうの年輪による凹凸が刷毛目状に残る。	底面、木葉痕。
35	土師器 壺 (折り返し口縁)	①中央部 ②土坑内と3区25住埋没土	残 口縁部完形胴部 1/2 口 25.2	①1mm前後の砂粒、赤色粘土粒を含む。②酸化・硬質③ぶい黄橙	外面は全体を磨き、あるいは磨き状のナダ。内面は口縁部が磨き。胴部は刷毛目。	
36	土師器 壺	①埋没土	残 口縁～底部1/8 (14.4) 口 (4.2) 底 13.2 高 21.1	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③(外)黒褐、(内)ぶい橙	口縁部は横ナダ。胴部に刷毛目を残す。胴部外面は下位にへう磨りを施す位はへらナダ。内面もへらナダ。	外面、炭化物付着。
37	土師器 壺	①埋没土	残 1/4 口 (16.0) 底 5.0 高 21.1	①1～2mmの砂粒を含む。②酸化・硬質③ぶい黄褐	口縁部は横ナダ。胴部外面は上半が刷毛目、下半がていぬいなナダ。胴部内面は刷毛目。一部に粘土紐の接合痕を残す。	
38	土師器 壺	①中央部東寄り ②+13	残 口縁～胴部上半 1/4 口 (12.3)	①1mm以下の砂粒、氣物を含む。②酸化・硬質③ぶい橙	口縁部外面は刷毛目の一部をナダ。胴部外面は刷毛目を消してへらナダ。内面は口縁部が刷毛目、内面がへらナダ、へう磨り。	
39	土師器 壺	①埋没土	残 口縁～胴部下位 1/2 口 (16.0)	①1～2mmの砂粒を含む。②酸化・硬質③ぶい橙	口縁部横ナダ。胴部外面、上半へらナダ。下半へう磨り。内面も上半へらナダ。下半へう磨り。	
40	土師器 壺	①埋没土	残 口縁～胴部下位 2/3 口 (16.4)	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③ぶい橙	口縁部横ナダ。胴部外面、へらナダ。内面もへらナダ。	外面、炭化物付着。
41	土師器 壺	①柱穴3際 ②床直	残 口縁～胴部上位 口 15.0	①1mm以下の砂粒を多く含む。②酸化・硬質③淡黄	外面口縁部はナダ。胴部はナダ、刷毛目後斜方向にへう磨き。内面、横方向に刷毛目。粘土紐の接合痕を残す。	外面、炭化物付着。
42	土師器 壺	①埋没土	残 口縁～胴部上位破片 口 (13.5)	①氣物粒を少量含む。②酸化・硬質③ぶい褐	口縁部の外面は磨ナダ。輪轍痕を残す。内面は刷毛目。胴部の外面は頸部に刷毛目を残し、以下は磨き。内面はへらナダ、ナダ。	口径、胴部の裏りに変更あり。
43	土師器 壺	①中央部南寄り ②-2	残 口縁～胴部上位 1/4 口 (20.2)	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③灰褐	口縁部、横ナダ。胴部外面は刷毛目。内面はへらナダ。	
44	土師器 壺	①埋没土	残 口縁～胴部上位 1/2 口 (17.5)	①1～2mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③ぶい黄褐	口縁部は横ナダ。胴部外面はへらナダか。内面はへう磨り、へらナダ。	外面は火熱を受け磨滅している。外面に炭化物付着か。
45	土師器 壺	①中央部西寄りと中央部北寄り ②+6	残 口縁～胴部上位 1/2 口 (16.5)	①1～2mm前後の砂粒、軽石を含む。②酸化・硬質③ぶい橙	口縁部は横ナダ。胴部外面は頸部にへらナダ、胴部以下は一部にへう磨り。	外面に炭化物付着。

No.	土器種類 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
46	土師器 壺	①埋没土	残 口縁～胴 部上位破 片 口 (18.2)	①黏土を少量含む。②酸化・硬質③明赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面はナデ、ヘラナデ。内面はヘラナデ。	
47	土師器 壺	①中央部と貯蔵穴際 ②床直	残 口縁～胴 部上半 1/6 口 (19.6)	①1mm前後の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③にぶい赤褐	外面、口縁部横ナデ。胴部上半、二方向の刷毛目。下半ヘラ削り後刷毛目。内面ヘラ削り、ヘラナデ。	
48	土師器 壺	①北壁際と中央部西寄り ②+6	残 口縁～胴 部上半 1/3 口 (19.6)	①1mm前後の砂粒、赤色粘土粒多数含む。②酸化・硬質③にぶい褐	口縁部横ナデ。胴部内外面、刷毛目、ヘラナデ。	内面、磨滅著しい。
49	土師器 壺 (輪横口縁)	①中央部と柱穴2際 ②+7	残 口縁～胴 部 口 14.9	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③にぶい橙	口縁部には輪横直を残す。胴部外面は刷毛目の上にヘラ削り、ヘラナデを重ねる。内面は口縁部に刷毛目。胴部にナデを施す。	
50	土師器 壺	①中央部南西寄り ②+9	残 口縁～胴 部上位 1/6 口 (18.2)	①1mm以下の白色黏土粒を多く含む。②酸化・硬質③暗赤褐	口縁部は横ナデ。胴部は外面を刷毛目、内面にヘラナデを施す。	
51	土師器 壺 (輪横口縁)	①柱穴3周辺と南壁寄りと中央部南寄りと貯蔵穴際 ②床直	残 口縁～胴 部中位 1/6 口 (16.2)	①1mm以下の砂粒、軽石を含む。②酸化・硬質③にぶい黄橙	外面は口縁部の上半に指頭による押さえを残す。頸部には刷毛目。胴部は磨きが施される。内面は口縁部に刷毛目。胴部にヘラナデを施す。	
52	土師器 壺	①埋没土	残 口縁～胴 部4/4(口縁部先端欠損)	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③にぶい褐	外面は口縁部から胴部上半に刷毛目を、胴部下半にヘラ削りを施す。内面は口縁部に刷毛目、胴部にヘラナデを施す。	外面、灰化物付着か。
53	土師器 壺	①柱穴3際と中央部西寄り ②床直	残 口縁部欠損 底 6.8	①1～2mm前後の砂粒、軽石を含む。②酸化・硬質③にぶい褐	外面は刷毛目、ヘラナデにヘラ磨きを重ねる。内面はヘラナデの一部ヘラ削りか。	器面の磨滅顕著。
54	土師器 壺	①柱穴3際と中央部西寄り ②床直	残 口縁～胴 部下位 1/3 口 (18.4)	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③灰黄褐	口縁部横ナデ。胴部外面は上半がヘラナデ、下半が刷毛目。内面も上半ヘラナデ。下半刷毛目。	
55	土師器 台付壺	①北壁際 ②+15	残 脚台部一 部欠損 底 7.8	①1mm以下の砂粒を少量含む。 ②酸化・硬質③明赤褐	脚台部外面はナデ後刷毛目。胴部は横ナデ。内面は指ナデ、ナデ。	
56	土師器 台付壺	①中央部 ②+3.5	残 脚台部 底 (8.6)	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③にぶい橙	外面刷毛目。内面ナデ。脚台部下端ほぼ平らに削られている。	
57	土師器 台付壺	①北部 ②+8	残 脚台部 底 9.1	①1mm前後の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③(外)にぶい橙	台部外面ナデ。内面に一部刷毛目。	底部が厚い。
58	土師器 壺	①埋没土	残 ほぼ完形 口 17.1 底 6.2 高 25.7	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③にぶい橙	口縁部横ナデ。胴部外面は上半がヘラナデ、ナデ。下半はナデ、指頭による粗雑なナデ。	内面刺磨著しい。
59	土師器 台付壺 (S字状口縁)	①北壁寄りと中央部北寄り ②+6	残 口縁部完形 脚部1/3 口 13.2	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・軟質③にぶい黄橙	口縁部横ナデ。胴部外面は刷毛目。内面上半部は指頭による押さえ、ナデ。下半はナデを施す。	図上復元。
60	土師器 台付壺 (S字状口縁)	①埋没土	残 口 10.7 底 7.1 高 20.4	①黏土粒を含む。②酸化・軟質③灰黄	口縁部は横ナデ。胴部外面は刷毛目を施すが、脚台部近くにはヘラ削りのままの面を残す。脚台部はナデ後上半部にヘラ削りを施す。胴部内面はナデ、指頭による押さえ。	

No.	土器類別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備 考			
							計 測 値	特 徴	出土状況 ① 平面 ② 垂直
No.	器 種	残存状況	材 質	全長 (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特 徴	出土状況 ① 平面 ② 垂直
61	土師器 台付壺 (S字状 口縁)	①柱穴3際と 中央部北寄り ②床直	残 口縁部破 片 口 (14.0)	①密、1mm以下の砂粒を多く含む。②酸化・軟質③にぶい橙	胴部刷毛目後、頸部横ナデで刷毛目を消している。口唇部中央やや凹状となっている。				
62	土師器 台付壺 (S字状 口縁)	①埋込土	残 口縁部破 片 口 (14.5)	①密、1mm以下の砂粒を多く含む。②酸化・軟質③灰黄褐色	胴部刷毛目。口縁部内外面ナデにて器表面密。				
63	土師器 台付壺 (S字状 口縁)	①中央部 ②床直	残 脚台部 底 9.9	①密、1mm以下の砂粒を多く含む。②酸化・軟質③にぶい黄橙	脚台部外面刷毛目。内面天井部に砂の多い粘土下地の折り返し部分に指頭圧痕。				
64	土師器 台付壺 (S字状 口縁)	①北壁寄り ②床直	残 口縁～胴 部1/3 口 (15.2)	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・軟質③にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。胴部には斜縦方向の刷毛目を施す。胴部には横位の刷毛目がみられる。内面は指頭によるナデ、ヘアナデを施す。				
65	土師器 台付壺 (S字状 口縁)	①柱穴1内と 北壁寄り ②床直	残 胴～脚台 部上位 1/4	①密、1mm以下の砂粒を多く含む。③にぶい黄橙	外面刷毛目。内面ナデにて器表面密。脚台部上端に砂の多い粘土。				
66	土師器 壺 (蓋)	①埋込土	残 つまみ部 完形 裾部1/6 底 高 7.1	①1mm前後の砂粒、赤色粘土粒を含む。②酸化・硬質③にぶい橙	天井部は外面が刷毛目。内面が刷毛目およびナデ。つまみ部は粗雑にナデる。				
67	管玉	残 完形	蛇紋岩	1.1	0.6		0.6	側面は平滑に仕上げている。径0.5cm、一方の小口面は主軸に対してやや斜めをなしている。穿孔は両面から行われているか。	①北部 ②床直
68	軽石製品	残 完形	軽石	6.6	5.7	2.5	41	扁平な餅状を呈する。器面に径4～6mmの小孔が中位まで穿たれる。表面に6孔。裏面に2孔である。	①埋込土 ②最下層

3区41号住居 (第107図、P.L47)

No.	土器類別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備 考			
							計 測 値	特 徴	出土状況 ① 平面 ② 垂直
No.	器 種	残存状況	材 質	全長 (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特 徴	出土状況 ① 平面 ② 垂直
1	土師器 埴	①南東隅 (小穴2際) ②床直	残 口縁部 1/3欠損 口 11.8 高 5.5	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③にぶい黄橙	内外面ともヘア磨き。				
2	土師器 鉢	①埋込土	残 口縁～胴 部上位ほ ぼ完形 胴部下位 1/2 底部欠損 口 7.4	①1mm以下の砂粒を少量含む。②酸化・硬質③にぶい赤褐色	外面、口縁部は横ナデ、ナデ。胴部上半は刷毛目、下半は粗雑なナデ。内面、口縁部上半横ナデ。下半は刷毛目。胴部はナデ。				
3	土師器 壺	①埋込土	残 口縁～胴 部上位破 片 口 (19.0)	①1mm以下の砂粒を多く含む。②酸化・硬質③(外)黒褐色、(内)にぶい橙	胴部外面刷毛目、部分的に指ナデ。口縁部内面刷毛目。胴部内面、ヘアを押しつけるようなナデ。				

3区41・42号住居

No.	土器類別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
4	土師器 壺 (折り返し口縁)	①埋没土	残 口縁部破 片 口 (24.0)	①1～3mmの砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③に よい橙	口縁部外面へラ磨き。折り返し口縁部に指 頭圧痕。口唇部と口縁部内面へラ磨き。	内面、器表 面が少し剝 離して粗れ ている。
5	土師器 壺	①埋没土	残 口縁部欠 損 底 2.6	①1mm以下の砂粒を含む。②酸 化・硬質③に よい橙	外面へラ磨き。内面、ヘラナデ。	口縁部欠損 後も磨成し て使用か。

3区42号住居 (第110図、P.L47)

No.	土器類別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	計 測 値				特 徴	出土状況 ① 平面 ② 垂直
				全長 (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)		
1	土師器 用	①南壁際 ②+4	残 ほぼ完形 口 20.7 底 4.6 高 11.5	①1mm以下の砂粒、2mm前後の 赤色粘土粒。②酸化・硬質③に よい橙	内外面ともへラ磨き。			灰素を附着 し、黄色。	
2	土師器 台付壺 (S字状 口縁)	①埋没土	残 口縁部破 片 口 (13.8)	①1mm以下の砂粒・灰物粒を含 む。②酸化・軟質③に よい黄褐色	口縁部は横ナデ。胴部外面は刷毛目、内面 はナデを施す。				
3	土師器 台付壺 (S字状 口縁)	①南壁際と小 穴7内	残 口縁部 1/2 口 (15.6)	①1mm以下の砂粒少量含む。② 酸化・軟質③灰褐	口縁部内外面横ナデ。胴部外面は刷毛目。				
4	土師器 台付壺 (S字状 口縁)	②+16.5と小 穴7内と 南西隅寄り ②小穴7内と 床直	残 胴一腳台 部上位	①1mm以下の砂粒を含む。②酸 化・軟質③に よい黄褐色	胴部外面は刷毛目。台部外面は刷毛目、ナ デ。				
5	こも編石	残 一部 欠損	粗粒輝石 安山岩	13.9	5.6	5.3	451	先端の一部が欠損している。断面は隅丸の三角形 である。器面に特別使用痕等は認められない。	①埋没土
6	こも編石	残 完形	粗粒輝石 安山岩	14.0	5.8	5.6	612	一部に磨耗した部分がある。	②+5
7	こも編石	残 完形	粗粒輝石 安山岩	16.7	8.0	5.4	971	全体が磨耗し、光沢を持つ。	②+7
8	こも編石	残 完形	粗粒輝石 安山岩	17.2	7.6	4.2	697	断面は偏平な形状をなす。	②+5
9	こも編石	残 完形	粗粒輝石 安山岩	16.8	6.4	6.1	748	不整形の棒状を呈する。	②+5
10	こも編石	残 完形	粗粒輝石 安山岩	16.5	6.7	5.7	738	棒状を呈する。両小口に敲打痕がある。各側面の 隅部分にも敲打痕が見られる。	②+10
11	こも編石	残 完形	粗粒輝石 安山岩	18.6	8.5	3.7	919	偏平な形状をなす。	①埋没土
12	こも編石	残 完形	黒色頁岩	19.0	8.4	5.5	1,269	不整形な石である。一部に磨耗した面を持つ。	②+6

3区43号住居 (第112図、P.L47)

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備 考
1	土師器 埴 埴	①埋設土と 3区43住 177坑埋設 土	残 口縁部 1/2欠損 体部一部 欠損 口 (10.7) 高 10.8	①1mm以下の砂粒を含む。②酸 化・硬質③にぶい橙	外面は口縁部から体部上半がナデ。体部下 半がへう削りである。	口縁部先端 に刻線の文 様が一周す る。
2	土師器 鉢	①東壁寄り ②+3.5と3 区44住埋設 土	残 1/2 底部完形 口 (26.4) 底 6.5 高 14.5	①1～2mmの砂粒を含む。②酸 化・硬質③明赤褐	外面口縁部は横ナデ。体部は最下位にナデ。 他は刷毛目。内面も口縁部を横ナデ。以下 は刷毛目。	
3	土師器 有孔鉢	①南壁際 ②床直と3区 44住埋設土 と3区43住 177坑埋 設土	残 ほぼ充形 口 15.7 底 4.9 高 9.7	①1～2mmの砂粒、軽石を多く 含む。②酸化・硬質③明褐	外面ナデ。内面、刷毛目。口縁部先端面 にも刷毛目。	
4	土師器 壺	①中央部 ②床直	残 ほぼ充形 口 13.6 底 5.1 高 13.3	①1mm前後の砂粒を含む。②酸 化・硬質③にぶい橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は中位最下位に へう削り、他はへうナデ。胴部内面は上位 に指痕によるナデ、以下は刷毛目。	
5	土師器 壺	①中央部東寄 り ②床直	残 口縁～底 部1/3 口 (19.2) 底 (7.6) 高 27.3	①1～2mmの砂粒と赤色粘土粒 を含む。②酸化・硬質③にぶい 褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は上半に刷毛目、 下半にへうナデ、へう削り。胴部内面の上 半はへう削り。	内面、やや 磨滅。

3区44号住居 (第114図、P.L48)

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	計 測 値				特 徴	出土状況 ① 平面 ② 垂直
				全長 (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)		
1	土師器 壺 (二重 口縁)	①埋設土3区 44住13溝埋 設土	残 口縁部 1/2 口 (17.6)	①1mm前後の砂粒を含む。②酸 化・硬質③明褐				口縁部外面は上段が磨き。下段がへうナデ。 内面は全面ナデ、磨き。	火熱のため 変色か。
2	磁石	残 破片	地質粘板 岩	<3.2>	4.5	1.4	(31)	断面形は板状を呈する。同小口は割れ口。各面と も使用している。	①埋設土

3区47号住居 (第117図、P.L48)

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備 考
1	土師器 鉢	①西壁際 ②+9	残 1/2 口 (13.0) 底 4.7 高 (7.0)	①1～2mmの砂粒、赤色粘土粒 を含む。②酸化・硬質③褐	内外面ともへう磨き。	
2	土師器 鉢	①北西隅寄り ②床直	残 胴下半～ 底部1/2 底 3.0	①1mm以下の砂粒を含む。②酸 化・硬質③明赤褐	胴部外面刷毛目。底部近くはへうナデ。胴 部内面刷毛目。底部近くはナデ。	

3区47・48号住居

No.	土器類別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
3	土師器 壺	①北西側と西 部と貯蔵穴 内 ②貯蔵穴内と 床直	残 2/3 (口縁部 3/4欠損) 口 (13.8) 底 5.4 高 16.7	①1～3mmの砂粒を含む。②酸 化・硬質③に白い橙	外面は横ナダ、ナダ後粗雑な磨きを重なる。 内面の口縁部も磨き。胴部はヘラナダ後一 部分磨き。	
4	土師器 甕 (輪積 口縁)	①西壁部と北 西部 ②床直	残 口縁～胴 部上半 1/2 口 (13.4)	①1mm前後の砂粒を少量含む。 ②酸化・硬質③褐	口縁部外面は指頭によるナダ、押しえ。胴 部外面は粗雑な磨き。胴部内面はナダ、中 位に磨き。	
5	土師器 壺	①北西側 ②床直	残 ほぼ完形 口 11.9 底 4.4 高 13.0	①1mm以下の砂粒を含む。②酸 化・硬質③に白い橙	外面、口縁部は先端に横ナダ。以下刷毛目。 胴部は上半がナダ。下半上位に磨き。下位 にヘラ削り。胴部内面はヘラナダ。	口縁部は受 け口状に立 ち上がる。
6	土師器 甕	①北部 ②+6.5	残 ほぼ完形 口 15.5 底 6.1 高 13.8	①1～2mmの砂粒、軽石を含む。 ②酸化・硬質③に白い橙	外面は口縁部上半が横ナダ。下半は押しえ。 胴部はナダ、刷毛目が混在。胴部内面 はヘラナダ。	
7	土師器 甕	①西部と北西 部 ②床直	残 ほぼ完形 口 14.8 底 5.4 高 13.5	①1mm以下の砂粒を多量に含 む。②酸化・硬質③明赤褐	口縁部は横ナダ。胴部外面は上位に刷毛目 を施し、以下は粗雑なヘラ削り、ヘラナダ を施す。	上部外面、 砂底のみ。
8	土師器 台付壺	①内と北西 隅寄りと東 部 ②床直	残 胴下位～ 底部1/2 底 (8.0)	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・軟質③に白い橙	胴部外面は刷毛目。脚部外面は刷毛目後 ナダ、横ナダ。台部は低い。	外面、流化 物付着。

3区48号住居 (第119図、P.L.48)

No.	土器類別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土師器 鉢	①中央部 ②+16	残 口縁部一 部 胴～底部 ほぼ完形 口 (9.5) 底 5.5 高 7.6	①1～2mmの砂粒を含む。②酸 化・硬質③に白い橙	成形は粗雑。口縁部は横ナダ。胴部外面は 粗雑なナダ。内面もナダ、ヘラナダ。	
2	土師器 鉢	①中央部 ②+15	残 ほぼ完形 口 9.1 底 4.6 高 8.1	①1mm以下の砂粒、赤色粘土粒 を含む。②酸化・硬質③明赤褐	口縁部は横ナダ。胴部外面はナダと思われ る。	器面は磨耗 が著しい。
3	土師器 高 杯	①埋没土	残 杯～胴部 上位2/3 口 13.3	①1mm以下の砂粒を少量含む。 ②酸化・硬質③に白い橙	内外面ともいまいちな横ナダ、ナダを施す。	杯部内面に 帯状の刺蝟 痕がみられ る。
4	土師器 高 杯	①埋没土	残 杯部1/2 脚部1/2 口 (18.2) 底 13.4	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③赤褐	脚部外面へラ磨き。内面上半は縦方向指ナ ダ。	杯部と脚部 は接点があ い。器上で 同一個体復 元。
5	土師器 壺 (折り返 し口縁)	①埋没土	残 口縁～胴 部上位 1/2 口 (13.6)	①1～3mmの赤色粒を少量含 む。②酸化・硬質③に白い赤褐	胴部外面へラ磨き。頸部内外面刷毛目。折 り返し口縁部外面に指頭圧痕。	胴部内面ナ ダにて器表 面密。

No.	土器種別 器種	出土状態 ①平面 ②垂直	残存状況 法量 (cm)	計測値				成・整形の特徴	備考
				①粘土 ②焼成 ③色調	全長 (cm)	幅 (cm)	高さ (cm)		
6	土器器 罍	①埋没土	残 口縁部破 片 口 (17.8)	①1～2mmの砂粒、軽石を含む。 ②酸化・硬質③にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。胴部は内外面ともナデを施す。			外面、灰化 物付着。	
7	土器器 查	①中央部 ②+10	残 胴～底部 1/2 底 (6.4)	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③(外)にぶい橙	内外面ともいいいなナデ後、粗粒な磨きを重ねている。			外面砂底。	
8	土器器 罍	①埋没土	残 胴下位～ 底部2/3 底 8.0	①1mm前後の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③にぶい橙	外面はナデ、ヘラ磨り。内面はナデ状の刷毛目、ナデを施す。				
9	土器器 高杯	①中央部 ②+13.5	残 脚部完形 器部一部 残存 底 (17.9)	①黒色鉱物粒を含む。②酸化・硬質③にぶい黄橙	脚部上位はヘラ磨りをかかたナデ。下半はいいいなナデに磨きを重ねる。器部は横ナデ。内面には指頭によるナデが明確に残る。				
10	土器器 罍	①埋没土	残 胴下平～ 底部1/3 底 (2.0)	①1～3mmの白色粒を少量含む。 ②酸化・硬質③にぶい黄橙	胴部外面は輪轡幅が2段残る。上段の輪轡の上からヘラ磨き。			内外面はナ デによる整 形。	
11	土器器 罍	①中央部と南 部 ②+3.5	残 口縁～胴 部上半 1/2 口 20.7	①1～2mmの砂粒を含む。②酸化・硬質③浅黄	口縁部外面はいいいなナデをくり返す。内面は刷毛目。胴部は内外面とも刷毛目を施す。				
12	土器器 罍	①中央部 ②+15	残 胴部下位 1/2 底部完形 底 7.4	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③にぶい橙	外面はいいいなナデ。一部磨き状を呈する。内面もいいいなナデ。			底部は砂底。	
13	土器器 台付罍 (S字状 口縁)	①南部 ②+3.5	残 脚台部一 部欠損 底 4.1	①1mm前後の軽石をわずかに含む。 ②酸化・軟質③にぶい橙	内外面ともナデ、指押しを施す。				
14	土器器 台付罍 (S字状 口縁)	①中央部 ②11.5	残 脚台部完 形 底 8.6	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・軟質③にぶい赤褐	脚台部外面刷毛目。内面指ナデ痕。内面天井部に砂の多い粘土。				
No.	器種	残存状況	材質	計測値				特 徴	出土状況 ①平面 ②垂直
				全長 (cm)	幅 (cm)	高さ (cm)	重量 (g)		
15	勾玉	残 完形	土製	5.2	1.6	1.7	29	棒状の粘土紐をくの字に折って整形している。面に一孔を穿っている。	①埋没土

3区49号住居 (第120図、P.L48)

No.	土器種別 器種	出土状態 ①平面 ②垂直	残存状況 法量 (cm)	計測値				成・整形の特徴	備考
				①粘土 ②焼成 ③色調	全長 (cm)	幅 (cm)	高さ (cm)		
1	土器器 手捏ね	①南東隅 ②+5	残 口縁～底 部1/2 口 (4.8)	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③にぶい赤褐	口縁部は指頭による押しえ。他は内外面とも指ナデ。口縁部は砂状を呈する。				
2	土器器 鉢	①東壁寄り ②+7.5	残 口縁～底 部1/3 口 (12.1)	①1～2mm前後の砂粒、軽石を含む。 ②酸化・硬質③にぶい橙	口縁部は横ナデ。胴部外面はナデ、ヘラナデ。内面も指押し、ナデ。			形状は著し く歪む。	
3	土器器 罍	①南東隅 ②+5	残 口縁～胴 部上位破 片 口 (14.5)	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③陶灰	口縁部～頸部外面、目の細かい刷毛目。その下部ヘラ磨り。口縁部内面ヘラ磨き。頸部内面刷毛目。胴部内面ヘラ磨き。				

3区49号住居、2区4・6号住居、3区1・3号住居

No.	土器種類 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考		
4	土師器 台付椀 (S字状 口縁)	①埋没土	残 口縁部破 片 □ (14.0)	①1mm以下の砂粒を少量含む。 ②酸化・軟質③浅黄	内外面とも横ナデ。			
No.	器 種	残存状況	材 質	計 測 値			特 徴	出土状況 ① 平面 ② 垂直
5	砥石	破片	砥石	全長 (cm) (2.0)	幅 (cm) 2.6	厚さ (cm) 0.7		

2区4号住居 (第124図)

No.	土器種類 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土師器 杯	①西壁寄り ②床直と2区 3住埋没土	残 1/3 □ (12.0)	①1mm前後の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③明赤褐	底部へラ削り。砂粒の移動が目立つ。口唇部が平らで、中央がやや凹状になっている。	
2	土師器 杯	①窠内	残 1/5(口縁 ～底部一 部欠損) □ (12.0)	①1mm前後の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③にぶい橙	底部外面へラ削り。口唇部が平らで中央部が凹状になっている。	

2区6号住居 (第125図)

No.	土器種類 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土師器 杯	①埋没土	残 口縁部破 片 □ (12.0)	①鉱物粒を含む。②酸化・硬質 ③灰黄褐	口縁部横ナデ。底部外面、へラ削り。	
2	土師器 手取ね	①埋没土	残 口縁～体 部破片 □ (6.0)	①1mm前後の砂粒を含む。②酸 化・硬質③にぶい黄褐	内外面ともナデを施す。	

3区1号住居 (第126図、P L50)

No.	土器種類 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土師器 鉢	①窠左脇 ②壘構築材	残 口縁～体 部破片 □ (10.5)	①鉱物粒、特に黒色鉱物粒顕著。 ②酸化・硬質③にぶい褐	口縁部は横ナデ。胴部外面はへラ削り。内面はナデ。	従来報告のため黄色。
2	土師器 甕?	①窠左手前 ②床直	残 口縁～胴 部上位 □ 23.0	①器面、密。1mm以下の砂粒、 鉱物粒を含む。②酸化・硬質③ にぶい橙	口縁部は横ナデ。胴部外面はへラ削り。内面はへラナデ。	

3区3号住居 (第129図、P L50)

No.	土器種類 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土師器 杯	①窠内	残 口縁部 1/4欠損 □ 11.1 高 4.7	①1mm以下の白色粒を多く含む。 ②酸化・硬質③にぶい橙	底部外面へラナデ。一部にへラ磨きに近いものあり。砂粒の移動は少ない。内面は放射状暗文。	

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調			成・整形の特徴	備考		
				計	測	値				
No.	器 種	残存状況	材 質	全長 (cm)	幅 (cm)	厚さ (区)	重 量 (区)	特 徴	出土状況 ① 平面 ② 垂直	
2	土師器 杯	①貯蔵穴内	残 1/3 口 (12.4)	10.4	3.9	1.7	87	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
3	土師器 杯	①埋没土	残 1/4 口 (11.4)							
4	土師器 甕	①壺内	残 口縁～底 部2/3 口 14.0 底 6.6 高 14.0							
5	土師器 甕	①壺内	残 口縁～胴 部1/2 口 (17.4)							
6	土師器 甕	①貯蔵穴内	残 2/3 口 21.7 底 8.9 高 26.7							
7	土師器 甕	①壺内と貯蔵 穴内	残 胴下位～ 底部 底 7.8							
8	土師器 壺	①埋没土	残 口縁～体 部上位 1/3 口 (8.3)							
9	土師器 高 杯	①南西隅 ②床直	残 胴部下半 欠損 口 17.4							
10	土師器 器 台	①埋没土	残 杯部1/3 口 (8.4)							
11	土師器 壺 (折り返 し口縁)	①埋没土	残 口縁部 1/4 口 (18.6)							
12	土師器 台付甕	①南西部 ②+16	残 脚上部 底 11.3							
13	打製石斧	残 完形	流紋岩	10.4	3.9	1.7	87	知爾形を呈す。	①埋没土	

3区11号住居 (第132・133図、P.L.50・51)

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調			成・整形の特徴	備考	
				計	測	値			
1	土師器 杯	①埋没土	残 ほぼ完形 口 12.7 高 6.5						
2	土師器 杯	①貯蔵穴内	残 ほぼ完形 口 11.5 高 5.3						

No.	土器類別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 残 量 (cm)	①粘土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備 考
3	土器器 杯	①甕内	残 完形 口 12.4 高 4.8	①1mm前後の砂粒を多く、2～3mmの砂粒を少量含む。②酸化・硬質③にぶい橙	底部外面へう削り。砂粒の移動は少ない。内面ナデにて器表面密。	口唇部は内傾し、中央部が少し凹状。
4	土器器 杯	①柱穴4際 ②床直	残 ほぼ完形 口 12.1 高 4.5	①1～2mmの砂粒を多く含む。②酸化・硬質③明赤褐	底部外面強いへう削り。多くの砂粒が移動し器表面が粗れている。	
5	土器器 杯	①貯蔵穴際 ②-10.5と貯蔵穴内	残 完形 口 12.3 高 4.7	①1mm以下の砂粒を多く含む。②酸化・硬質③にぶい橙	底部外面へうナデに近いへう削り。砂粒の移動少ない。一部にへう磨きの箇所あり。	へう磨き後、へう削り。
6	土器器 杯	①南東隅 ②+20	残 口縁部一部欠損 口 12.3 高 4.9	①1mm以下の砂粒を多く含む。②酸化・硬質③明赤褐	底部外面へう削り。砂粒の移動は少ない。内面はナデにて器表面密。	口唇部は内傾し、中央部が凹状となっている。
7	土器器 杯	①西壁寄り ②+14	残 口縁部一部欠損 口 10.5 高 3.3	①1～3mmの赤色粒を少量含む。②酸化・硬質③明赤褐	底部へうナデに近いへう削り。砂粒の移動は少ない。	底面に2個孔が穿孔されている。蓋として使用か。
8	土器器 杯	①中央部東寄り ②床直	残 完形 口 13.8 高 4.4	①1mm以下の赤色粒を多く含む。②酸化・硬質③明赤褐	底部外面へう削り。全体に多くの砂粒が目立つ。内面へう磨き。	内面剝離著しい。
9	土器器 杯	①甕内	残 4/5 口縁部一部欠損 口 12.4 高 4.5	①1～3mmの砂粒を大量に含む。3mm前後の赤色粒を含む。②酸化・硬質③明赤褐	底部外面へう削り。へうの単位不明瞭。	全体に器表面が粗れている。
10	土器器 高 杯	①甕内	残 ほぼ完形 口 15.3 底 11.9 高 13.6	①3～5mmの白色粒を少量含む。②酸化・硬質③にぶい橙	脚部外面へう磨き。杯部内面は放射状へう磨き。その端文部分は黒色となっている。	大きな白色粒が目立つ。器表面が粗れている。
11	土器器 高 杯	①貯蔵穴内	残 口縁部一部欠損 口 20.1 底 11.7 高 20.6	①1mm割の白色臍物を含む。②酸化・硬質③明赤褐	杯部は内外面とも横方向のナデ。脚部中位はていねいなナデ。胴部は横ナデ。脚部内面はへう削り。	
12	土器器 壺	①レベル不明	残 口縁部ほぼ欠損 口 (7.8) 底 6.3	①精選。1mm以下の赤色粘土粒を含む。②酸化・硬質③にぶい橙	外面はナデ、へう削りか。内面はナデ。	内外面とも磨滅、剝離。
13	土器器 壺	①西壁寄りと甕内 ②+4と甕内	残 口縁部1/2欠損 口 (8.0) 高 10.3 口 11.8 底 6.0 高 14.0	①1～2mmの赤色粒を多く含む。②酸化・硬質③明赤褐	体部へうナデ。へう磨きに近くやや光沢を持つ。内面もナデにて器表面密。	全体にていねいなつくりである。
14	土器器 壺	①南東隅 ②-6.5	残 口縁部一部欠損 口 11.8 底 6.0 高 14.0	①1mm前後の砂粒、赤色粘土粒。②酸化・硬質③にぶい橙	口縁部は横ナデ。胴部外面はへう削り。内面はナデ。	器面はやや磨滅。
15	土器器 壺	①貯蔵穴内	残 2/3 口 (10.8) 高 11.8	①1mm以下の砂粒、赤色粘土粒を含む。②酸化・硬質③明赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は磨き。内面はへうナデの上に部分的に磨きを施す。	炭化物付着。
16	土器器 鉢	①甕内	残 ほぼ完形 口 19.1 底 7.0 高 14.2	①1mm前後の砂粒を含む。②酸化・硬質③橙	口縁部は横ナデ。体部はていねいなへう削り、ナデ。内面は横ナデ、ナデ。器面は比較的密。	

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
17	土師器 壺	①壺内	残 ほぼ完形 口 17.2 底 7.0 高 28.6	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③に黄褐色	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラナデ。一部に磨きやヘラ削りがあるか。内面はつねいなナデ。	内外面とも磨面は磨耗している。
18	土師器 甌	①貯蔵穴内	残 完形 口 24.8 底 8.8 高 28.2	①2mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③に黄褐色	口縁部横ナデ。胴部外面は上半がヘラナデ、下半が弱いヘラ削り。内面はヘラナデ、ナデ。	
19	土師器 甕	①中央部東寄り と西壁寄り ②床直	残 口縁部 1/4 胴部2/3 底部破片 口 (16.6) 底 (6.6) 高 30.0	①1～5mmの砂粒を多く含む。②酸化・軟質③に黄褐色・に黄褐色	口縁部横ナデ。胴部外面はヘラ削り。内面はヘラナデ。	内面磨耗。
20	土師器 甕	①壺内	残 完形 口 16.7 底 6.6 高 29.9	①1mm前後の砂粒、黒色鉱物粒を多く含む。②酸化・硬質③淡黄褐色	口縁部は横ナデ。胴部外面はナデに近いヘラ削り。内面はヘラナデ。	外面は磨耗している。
21	土師器 甕	①埋没土	残 胴部下位 1/4 底部完形 底 6.7	①1mm以下の砂粒を大量に含む。②酸化・硬質③淡黄	底部外面砂底。内面ナデ。胴部外面全面ヘラ磨き。内面ナデ。	全体に大量の砂が目立つ。

3区13号住居(第134図)

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土師器 杯	①甕袖左上	残 破片 口 (12.0)	①密、1mm前後の砂粒はほとんど含まない。②酸化・硬質③明赤褐色	底部外面ヘラ削り。砂粒の移動はほとんどない。	
2	土師器 杯	①北東隅寄り ②床直	残 1/4 口 (13.2)	①2～4mmの赤色粒を少量含む。②酸化・硬質③明赤褐色	底部外面ヘラ削り。内面ナデの後にヘラ磨き。	
3	土師器 甕	①北壁際 ②+9	残 口縁部破 片 口 (14.2)	①1～3mmの砂粒を多く含む。②酸化・硬質③に黄褐色	胴部外面ヘラナデに近いヘラ削り。砂粒の移動少ない。口縁部内面ヘラ磨き。	

3区15号住居(第135図、P.L.52)

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土師器 手捏ね	①北東隅 ②+5	残 ほぼ完形 口 6.3 底 4.2 高 3.4	①1mm以下の砂粒を多く含む。②酸化・硬質③明褐色	体部内外面指ナデ。	全体に歪んでいる。
2	土師器 杯	①貯蔵穴内	残 ほぼ完形 口 11.2 底 5.4	①1mm前後のやや大きな砂粒を多く含む。②酸化・硬質③明赤褐色	底部外面ヘラ削り。周辺部ナデ。内面ナデにて器表面密。底部内面にヘラの工具痕。	口唇部は内傾し、中央部がやや凹状となっている。
3	土師器 杯	①南東隅 ②床直	残 口縁部 1/3次損 口 12.0 高 5.3	①1mm前後のやや大きな砂粒を多く含む。②酸化・硬質③明赤褐色	底部外面ヘラナデ。砂粒の移動少ない。底部内面にヘラの工具痕。	口唇部は平ら、またはやや外傾し口唇部中央が凹状。

3区15・16号住居

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備 考			
4	土器 杯	①南東隅 ②床直	残 完形 口 12.5 高 4.3	①1~2mmの赤色粒を多く含む。②酸化・硬質③明赤褐	底部外面中央部へう削り。砂粒がやや移動。周辺部ヘラナダ。器表面にやや光沢を持つ。	黒度がなく全体に赤褐色のきれいな黄色である。			
5	土器 杯	①北東隅寄り ②+7	残 完形 口 13.0 高 4.3	①1~2mmの砂粒を多く含む。②酸化・硬質③明赤褐	底部外面ヘラナダに近いへう削り。内面ナダ。内面器表面粗れている。	2~4mmの大きな砂粒も含む粗い粘土。内面の剝離顕著。			
6	土器 杯	①南東隅 ②床直	残 完形 口 12.6 高 5.9	①2~3mmの赤色粒を多く含む。②酸化・硬質③にぶい橙	底部外面へう削り。多くの赤色粒が目立つ。内面に放射状の喙文。	胎土は粗らいが、つくりはていねいである。			
7	土器 鉢	①南東隅 ②床直	残 口縁部破片 体~底部ほぼ完形 口 (10.3) 底 3.8 高 5.2	①1mm以下の赤色粒を多く含む。②酸化・硬質③明赤褐	外面ヘラナダに近いへう削り。内面へう磨き。				
8	土器 壺	①電周辺と電内 ②床直と電内	残 口縁部完形 斜部中位まで1/4 口 13.8	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③赤褐	口縁部は横ナダ。胴部外面はヘラナダ、一部磨き状を呈する。内面もヘラナダ。				
No.	器 種	残存状況	材 質	計 測 値				特 徴	出土状況 ① 平面 ② 垂直
				全長 (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)		
9	紡錘車	残 一部欠損	土製	5.6 (半径)		2.5	(54)	平面形はやや長円形を呈する。器面は全体にやや磨耗びみであるが、顕著な使用痕はみられない。軸孔は0.8cmを測る。側面は棒状の工具で磨いている。	①埋没土
10	砥石	残 一部残存	砥沢石	<10.0>	6.5	3.7 ~5.3	(535)	小口は一方が原形面、他方が破断面である。側面は右側面が原形面に近い状態である他は、3面とも使用により平滑な面を形成する。各面とも部分的に磨痕を残す。	①西壁際 ②床直

3区16号住居 (第138・139図、P.L52・53)

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備 考
1	土器 杯	①電内	残 1/4 口 (12.0)	①1mm前後の赤色粒を多く含む。②酸化・硬質③(外)にぶい橙、(内)橙	底部外面へう削り。砂粒の移動少ない。内面放射状のへう磨き。	
2	土器 杯	①電内	残 3/4 口 11.8 高 4.5	①2~3mmの赤色粒を多く含む。②酸化・硬質③明赤褐	底部外面ナダ後へう磨き。口縁部横ナダ。内面ナダにて器表面密。	
3	土器 杯	①電内	残 1/2 口 (13.6) 高 4.2	①1mm前後の赤色粒を多く含む。②酸化・硬質③(外)明赤褐、(内)にぶい橙	底部外面へう削り、一部へう磨き。多くの砂粒が目立つが移動は少ない。内面指ナダ。	
4	土器 杯	①南壁寄り ②+6	残 3/4 口 12.6 高 4.7	①1mm以下の白色粒を多く含む。②酸化・硬質③明赤褐	底部へう削り。口縁部に2条のへう磨き。内面に放射状のへう磨き。	口縁部は水平にへう削りされている。

No.	土器類別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調				成 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
				全長 (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)		
5	土師器 杯	① 甕左手前 ② 床直	残 口縁～底 部3/4 口 (15.0) 高 5.5 底 1/3 (12.5)	① 1mm以下の砂粒を多く含む。 ② 酸化・硬質③ 白い橙	底部外面へラ削り。器表面が粗れている。 他の器表面ナダにて器面密着。				内面底面に へらの工具 痕。
6	土師器 高 杯	① 北西隅寄り ② +14.5	残 口縁～底 部3/4 口 (15.0) 高 5.5 底 1/3 (12.5)	① 1mm以下の砂粒を多く含む。 ② 酸化・硬質③ 白い橙	器部外面へラナダ後、全面へラ磨き。杯部 内面は器表面が粗れている。				4箇所穿孔 されている。 口縁部の欠 損を補修し ているか。
7	土師器 高 杯	① 埋没土	残 口縁～脚 部1/2 口 (16.8)	① 1～2mmの砂粒を含む。② 酸化・硬質③ 橙	杯部は口縁部の下に、一部へラ削りが施 される他は横ナダ、ナダ。器部外面もてい ねいな調整。器面密着。				
8	土師器 壺	① 埋没土	残 4/5 口縁部 1/3 口 (11.1) 底 5.5 高 14.1	① 砂粒を多く含む。② 酸化・硬 質③ 白い橙	口縁部は横ナダ。器部は外面がへラナダ。 内面がナダ、へラナダ。				
9	土師器 壺	① 甕内と甕左 手前 ② 甕内と床直	残 ほぼ完形 口 14.0 底 5.6 高 14.9	① 1～2mmの砂粒を多く含む。 ② 酸化・硬質③ 白い橙	器部外面へラナダに近いへラ削り。下半部 は強くへラを押しつけているが、口縁部近 くはナダに近い。				均整のとれ たていねい なつくりで ある。
10	土師器 甕	① 南壁寄りと 甕内 ② 床直と甕内	残 完形 口 20.6 底 4.2 高 34.9	① 1mm前後の砂粒、ガラス質の 鉱物を多く含む。② 酸化・硬質 ③ 白い黄橙	口縁部は横ナダ。器部外面はへラ削り。 内面はナダ、へラナダ。				器面はやや 磨減になっ ている。
11	土師器 甕	① 甕左手前と 中央部 ② 床直	残 ほぼ完形 口 17.7 底 7.2 高 34.8	① 2mm前後の砂粒・軽石を多く 含む。② 酸化・硬質③ 明赤褐	口縁部は横ナダ。器部外面はへラナダ、へ ラ削り。内面はへラナダ、指痕によるナダ。				
12	土師器 甕	① 南壁寄り ② 床直	残 完形 口 27.3 底 9.8 高 28.8	① 2mm前後の砂粒を多く含む。 5mmのチャートを散見。② 酸化・ 硬質③ 白い黄橙	口縁部は横ナダ。器部外面はへラ削り、一 部上位はへラナダ。				
13	土師器 甕	① 甕左手前と 中央部 ② 床直	残 完形 口 15.8 底 6.6 高 31.1	① 1～2mmの砂粒を含む。② 酸 化・硬質③ 白い橙	口縁部は横ナダ。器部外面はていねいなへ ラ削り。上位はへラナダ。内面は横方向に へラナダ。				器内厚く、 重い。
No.	器 種	残存状況	材 質	計 測 値				特 徴	出土状況 ① 平面 ② 垂直
				全長 (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)		
14	石 鉢	残 完形	黒曜石	2.9	1.6	0.5	1.4	無茎。	① 北壁際 ② +15

3区19号住居 (第144図、P L53)

No.	土器類別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調				成 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
				全長 (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)		
1	土師器 杯	① 南西隅と中 央部西寄り ② 床直	残 完形 口 12.0 高 5.1	① 砂粒を含む。② 酸化・硬質③ 明赤褐	口縁部は横ナダ。底部外面はへラ削り。内 面はていねいなナダ。				
2	土師器 杯	① 北部 ② +6	残 4/5 口 11.7 高 5.0	① 砂粒を含む。② 酸化・硬質③ 白い橙・ 白い赤褐	口縁部は横ナダ。底部外面はへラ削り。				器面はやや 磨減。
3	土師器 杯	① 貯蔵穴内	残 完形 口 12.9 高 4.0	① 1mm前後の赤色粒を多く含 む。② 酸化・硬質③ 明赤褐	底部外面弱いへラ削り。底部周辺はへラ削 りではなくナダ。				全体に器内 の厚い杯で ある。

3区19・21・23号住居

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備 考
4	土器器 杯	①東部 ②床直	残 1/2 口 (11.9)	①1～2mmの砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③明赤褐・にぶい赤褐	底部外面ヘラナデに近い弱いヘラ削り。砂粒の移動少ない。	内面と口唇部の器表面が粗れている。
5	土器器 杯	①南部 ②床直	残 1/2 口 (12.2) 高 4.3	①1mm前後の赤色粒を多く含む。 ②酸化・硬質③明赤褐	底部外面ヘラナデに近い弱いヘラ削り。砂粒の移動ほとんどなし。	底部の器内の厚い杯である。
6	土器器 杯	①埋没土	残 1/4 口 (11.8)	①1mm以下の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③にぶい橙	底部外面ヘラ削り。多くの砂粒が目立つ。内面ナデにて器表面密。	
7	土器器 杯	①貯蔵穴内	残 完形 口 11.8 高 5.2	①1～3mmの赤色粒を多く含む。 ②酸化・硬質③明赤褐	底部外面ヘラを押しつけたようなヘラ削り。砂粒の移動少ない。内面放射状のヘラ磨き。	ヘラ磨きの部分が特に赤く発色している。
8	土器器 壺	①壺内	残 完形 口 14.3 底 6.6 高 16.9	①1mm前後の砂粒・軽石。②酸化・硬質③にぶい橙・にぶい黄褐	口縁部横ナデ。胴部外面はヘラ削り。内面はヘラナデ。	内面に黒色の付着物。
9	土器器 壺	①中央部と北 部 ②床直	残 完形 口 16.6 底 4.0 高 31.2	①1mm以下の砂粒。黒色鉱物を多く含む。 ②酸化・硬質③洗黄橙・黄灰	口縁部は横ナデ。胴部外面ヘラ削りに近いヘラナデ。内面もナデ、ヘラ削りに近いナデを施す。	炭化物付着。
10	土器器 壺	①壺左脇と中 央部と中央 部北西寄り と中央部北 寄り	残 ほぼ完形 口 18.8 底 7.0 高 33.6	①1mm前後の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③にぶい橙	口縁部横ナデ。胴部外面はヘラ削り後、下位をヘラナデ。胴部内面は底部寄りを指ナデ、他はヘラナデ。	
11	土器器 瓶	①中央部南寄 り ②床直	残 完形 口 24.8 底 8.6 高 26.3	①2mm前後の砂粒・軽石を多く含む。 ②酸化・硬質③明赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラ削り後、下位及び中位から上位の一部をヘラナデ。内面はヘラナデ。	

3区21号住居 (第145図)

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備 考
1	土器器 瓶	①甕手前と貯 蔵穴内と貯 蔵穴際と西 壁寄り ②貯蔵穴内と 床直	残 口縁～底 部1/3 口 22.8 底 (9.2) 高 (26.0)	①1mm前後の砂粒、赤色粘土粒を含む。 ②酸化・硬質③明赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラ削り後、一部に磨き。内面は口縁部以下全面に磨きを施す。	2片から因上復元。
2	土器器 瓶	①掘り方と埋 没土と3区 22住貯蔵穴 内	残 胴部下位 ～底部 1/3 底 (6.4)	①1mm前後の赤色粘土粒を含む。 ②酸化・硬質③明赤褐	外面ナデ。内面ナデ。下端寄りはヘラ削り。	

3区23号住居 (第148図、P.L.54)

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備 考
1	土器器 壺	①壺左脇 ②壺構築材	残 口縁～底 部4/5 口 14.6 底 5.4 高 20.3	①1mm以下の砂粒を含む。軽石多い。 ②酸化・硬質③明赤褐・にぶい黄橙	口縁部横ナデ。胴部の外面は、一部ヘラ削りの他はヘラナデ。内面も下位ヘラ削りの他はヘラナデ。	器面、やや磨耗している。

No.	土器類別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備 考
2	土師器 甕	①貯蔵穴径 ②床直	残 口縁～胴 部上位 1/4 口 (23.6) 残 口縁一部 欠損 口 16.3 底 7.9 高 17.9	①1～2mmの砂粒・軽石を多量 に含む。②酸化・硬質③灰黄・ 灰灰	口縁部横ナデ。胴部外面はヘラナデ。内面 はヘラナデ。	
3	土師器 瓶	①西壁際と南 西隅よりと 中央部西寄 り ②床直	残 口縁部 欠損 口 16.3 底 7.9 高 17.9	①密、1mm以下の砂粒を含む。 ②酸化・硬質③赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラナデ後、 一部に磨きを重ねる。内面はナデ後、下半 を中心に一部分をヘラ削り。	
4	土師器 甕	①中央部南寄 り ②床直	残 口縁部 1/4 胴部上位 2/3 胴下位～ 底部完形 口 (20.2) 底 7.2 高 33.9	①1mm前後の赤色土粒、2mm前 後の軽石を多く含む。②酸化・ 軟質③よい黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラ削り。内 面はヘラナデ。一部にヘラ削り。	火熱のため 脆弱になっ ている。
5	土師器 甕	①貯蔵穴内	残 口縁～胴 部中位 2/3 口 14.0	①少量の軽石を含む。②酸化・ 硬質③よい橙・明赤	胴部上半ナデは、一部にヘラ磨き。中位か ら下半ヘラ削り。内面ナデにて器表面密。	
6	土師器 瓶	①北壁寄り ②床直	残 完形 口 23.4 底 9.8 高 32.0	①砂粒を多量に含む。特に3mm 前後の軽石の混入が顕著。②酸 化・軟質③よい黄	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラ削り。内 面は上～中位はナデ、下位に一部ヘラ削り。	3区27住6 と胎土同質。

3区26号住居 (第150図、P L 54)

No.	土器類別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備 考
1	土師器 杯	①東南隅と西 部 ②床直	残 4/5 口 11.9 高 5.0	①砂粒・赤色粘土粒を含む。② 酸化・硬質③明赤褐	口縁部横ナデ。底部外面はヘラ削り。口縁 部の先端は内面を向いて傾斜する。	
2	土師器 杯	①中央部西寄 り ②+13.5	残 口縁～底 部1/4 口 (12.2)	①1mm以下の赤色粒を多く含 む。②酸化・硬質③よい橙	底部外面ヘラ削り。砂粒の移動少ない。外 面ナデにて器表面密。	
3	土師器 杯	①埋込土	残 口縁～底 部1/5 口 (11.7)	①密、1mm以下の砂粒を少量含 む。②酸化・硬質③赤褐	底部外面ヘラ削り。砂粒少なく移動少ない。 内面ナデにて器表面密。	底部の器内 が厚い。
4	土師器 杯	①埋込土	残 1/3 口 (16.1) 底 5.0 高 5.8	①砂粒を含む。②酸化・硬質③ 明赤褐	口縁部は横ナデ。体部外面はヘラ削り。内 面はナデ後、間隔をあけて放射状に磨きを 重ねる。	
5	土師器 片口鉢	①中央部北寄 り ②床直	残 口縁部 1/2	①砂粒を含む。②酸化・軟質③ 黄黄橙	外面は細かな刷毛目。内面はナデの上に一 部磨き。	
6	土師器 甕	①東南隅と中 央部東寄り ②床直	残 口縁～胴 部上位 1/4 口 (16.6)	①1mm以下の砂粒を大量に含 む。②酸化・硬質③よい黄橙	胴部外面ヘラ削り。多くの砂粒が移動し、 器表面が粗い。内面ナデにて器表面密。	
7	土師器 甕	①東南隅 ②床直	残 胴～底部 2/3 底 6.3	①1mm前後の砂粒を多く含む。 ②酸化・硬質③よい灰黄	胴部外面ヘラ削り。多くの砂粒が移動し、 器表面が粗い。胴部内面、器表面が粗れて いる。	

3区27号住居 (第152図、P L 54)

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土器 杯	①甕手前 ②+4.5	残 3/4 口 12.0 高 7.0	①砂粒少量。黒色鉱物粒。②酸化・軟質③によい赤褐	口縁部横ナデ。底面外面は上半にナデの部面を残し、下半にへら削り、ナデを残す。器面、密。	
2	土器 杯	①東壁際 ②株直	残 1/2 口 (12.4)	①1mm以下の赤色粒を多く含む。②酸化・硬質③橙・明褐	体部外面へら磨き。口縁部横ナデ。	
3	土器 碗	①甕左脇 ②株直	残 完形 口 11.7 高 8.4	①器面、密。砂粒を少量含む。②酸化・硬質③橙	口縁部は横ナデ。体部外面は上半が磨き。下半がへら削り。	
4	土器 高 杯	①甕左脇 ②株直	残 杯部 口 (17.5)	①1mm以下の砂を多く、赤色粒を少量含む。②酸化・硬質③橙	杯部外面へら削り。口縁部内外面横ナデ。	
5	土器 壺 (二重 口縁)	①柱穴3際 ②+8	残 口縁~胴 部上位 2/3 口 (19.0)	①1mm前後の砂粒と黒色鉱物粒を含む。②酸化・硬質③によい橙・によい褐	外面、各部位ともへら磨き。内面は口縁部がへら磨き。内面がへらナデ。	
6	土器 壺	①甕壁際と南 部 ②株直	残 1/2 口 18.2 底 3.5 高 32.4	①砂粒を多量に含む。特に3mm前後の軽石を含む。②酸化・軟質③によい黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は3回に分けてへら削り。胴部内部はへらナデ。下位は一部へら削りを施す。	軽石は標名八崎ナツラ(Hr-P)と思われる。

3区30号住居 (第154図、P L 54)

No.	土器種別 器 種	出土状態 ① 平面 ② 垂直	残存状況 法 量 (cm)	①胎土 ②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土器 杯	①貯蔵穴内	残 1/2 口 12.1 高 5.2	①精選、砂粒微量。②酸化・硬質③橙	外面口縁部は横ナデ。底部へら削り。内面横ナデ。	
2	土器 杯	①貯蔵穴内	残 口縁~底 部1/5 口 (11.8)	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③明赤褐	口縁部横ナデ。底部外面はへら削り。	
3	土器 壺	①北西隅 ②+13と3区 32住埋没土	残 2/3 口 (14.4) 底 4.7 高 11.3	①1mm前後の砂粒・赤色粘土粒を含む。②酸化・硬質③によい橙	口縁部は横ナデ。胴部外面はナデ後、粗雑な磨き。内面はへらナデ。	
4	土器 壺	①甕壁寄り ②株直	残 口縁~底 部1/3 口 (18.2) 底 4.6 高 30.4	①1mm以下の砂粒を含む。②酸化・硬質③によい橙	口縁部は横ナデ。胴部外面はナデに近いへら削り。砂粒の動き、あまりない。内面はナデ。	
5	土器 壺	①甕部 ②株直と貯蔵 穴内	残 1/2 口 22.9 底 (10.1) 高 27.7	①1mm前後の砂粒、軽石を含む。②酸化・硬質③によい黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は下端寄りにへら削りを施す他は、ていねいなへらナデ。内面も胴部の大半がへらナデ。	

財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
調査報告書第304集



荒砥諏訪西遺跡 I 〈竪穴住居
遺物観察表編〉

昭和58年度県宮園地整備事業荒砥北部
地区に係わる埋蔵文化財発掘調査報告書

平成14年10月21日 印刷

平成14年10月27日 発行

編集・発行／群馬県教育委員会

〒371-8570

前橋市大手町1丁目1番1号

電話 (027) 223-1111 (代表)

財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

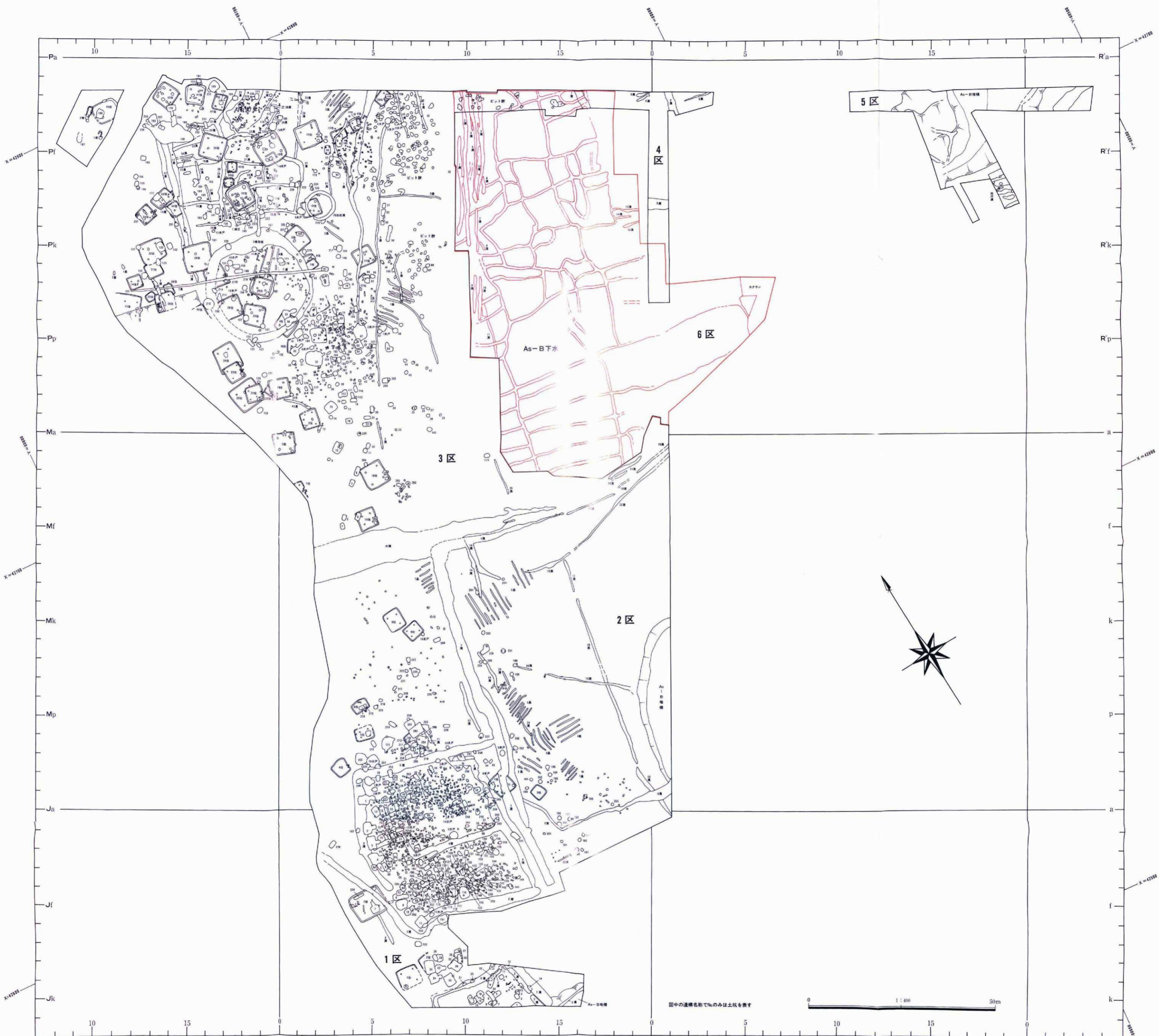
〒377-8555

勢多郡北橋村大字下箱田784番地の2

電話 (0279) 52-2511 (代表)

ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org/>

印刷／上毎印刷工業株式会社



付図 荒砥諏訪西遺跡の遺構

図中の遺構名称でNoのみは土坑を表す

0 1 : 400 50m